

柏崎市こども・若者計画の骨子案について

1 はじめに

「柏崎市こども・若者計画」と「第三期柏崎市子ども・子育て支援業計画（令和 7（2025）年 3 月策定）」の比較について

計画名（関係法令）	計画の対象者	計画期間	目的
柏崎市こども・若者計画 （子ども・若者育成支援 推進法）	乳幼児期 0 歳から青年期 29 歳まで ただし、施策によっては対 象をポスト青年期 39 歳ま でに拡大	令和 8 (2026) 年 4 月 1 日 ～令和 12 (2030) 年 3 月 31 日（4 年間）	すべてのこども・若者 が自らの居場所を得 て、成長・活躍できる 社会を目指し、こど も・若者の意見表明や 社会参加の機会と確保 を促進しつつ、社会全 体でこども・若者の健 全育成に取り組んでい くための計画
第三期柏崎市子ども・子 育て支援事業計画（子ど も・子育て支援法）	0 歳～おおむね 18 歳まで のこどもとその家庭（妊 娠・出産期を含む）を中心 に、取組によっては地域や 事業所、関係団体、行政機 関など、本市の子ども・子 育てに係る全ての個人と団 体	令和 7 (2025) 年 4 月 1 日 ～令和 12 (2030) 年 3 月 31 日（5 年間）	こどもの健やかな成長 に向けた環境や体制の 確保と、多様化する子 育てニーズを踏まえ、 子ども・子育て支援を 総合的に推進していく 計画

○「柏崎市こども・若者計画」においては、「こども」、「若者」等をそれぞれ以下のとおり定義します。

- ・こども：年齢に関わらず、心身の発達の過程にある者
- ・若 者：青年期 19 歳から 29 歳までの者
- ・ポスト青年期：青年期を過ぎ、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている者や円滑な社会生活を営む上で困難を有する 39 歳までの者

【参考】

- ・子ども：乳幼児期（義務教育年齢に達するまで）、学童期（小学生）及び思春期（中学生からおおむね 18 歳まで）の者

2 計画の目的

すべてのこども・若者が自ら居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指し、こども・若者の意見表明や社会参加の機会と確保を促進しつつ、社会全体でこども・若者の健全育成に取り組んでいくことを目的とします。

3 計画期間

令和 8 (2026) 年 4 月 1 日～令和 12 (2030) 年 3 月 31 日までの 4 年間

4 計画の根拠法令等

- ・ 子ども・若者育成支援推進法（以下、子若法）

本計画は、子若法第 9 条第 2 項に基づく市町村計画です。

こども大綱及び都道府県子ども・若者計画を勘案して、市町村区域における子ども・若者育成支援に関する計画「市町村子ども・若者計画」を定めるよう努力義務が課されています。

- ・ 新潟県こども計画

こども政策に係る県の取組姿勢等を明らかにするとともに、県民意識の向上や社会全体の気運醸成を図るため、「新潟県こども条例」を令和 6 (2024) 年 3 月に制定。令和 7

(2025) 年 3 月、本条例に基づき、こども施策を総合的かつ計画的に推進するため「新潟県こども計画」を策定。

5 柏崎市こども・若者計画(案)の策定方針

本計画では、本市におけるこども・若者の課題及びこども・若者に関連する施策の状況を明らかにし、こども・若者に関する育成支援施策を総合的に推進します。また、いじめ・不登校・ひきこもり等の困難を有する子ども・若者への支援の充実を図ります。

6 関連計画との位置づけ

子ども・若者支援推進法に基づく「子ども・若者計画」と子ども・子育て支援法に基づく「第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画（以下、第三期支援事業計画という。）」を相互に関連計画として位置づけ、内容に応じて適宜参照しあうなど整合を図ることで、これらの計画を「市町村こども計画」として位置づけることが可能です。

本市では「柏崎市こども・若者計画」を令和 7 (2025) 年に策定し、令和 8 (2026) 年度から施行することで、第三期支援事業計画と一体のものとして推進する「柏崎市こども計画」として運用していきます。

7 計画の対象者

乳幼児期から青年期（0 歳～29 歳まで）を対象とします。

※ ただし、施策によっては対象をポスト青年期（39 歳まで）に拡大します。

なお、0 歳～18 歳までの支援については、第三期支援事業計画の中で取り上げているため、本計画では、特に 19 歳～29 歳に関する支援を重点的に取り上げます。

8 計画策定に係る基礎調査について

こども基本法第11条において、こども施策の策定、実施、評価に当たっては、その対象となるこども等の意見を反映させるために必要な措置を講ずることが義務付けされています。

本計画の策定に当たり、市内在住の若者が日頃どのような生活を営み、どのような意識を持っているかを把握することで、今後の若者支援施策を進める上での参考資料とするため、令和7(2025)年5月に「若者の意識に関するアンケート調査（基礎調査）」を実施しました。また、基礎調査を補完する目的で市内2大学の学生へのヒアリング調査、困難を有するこども・若者への意見聴取も合わせて実施します。

【基礎調査の方法】

(1) 若者の意識に関するアンケート調査 **【実施済み】**

- ・対象 令和7(2025)年4月1日現在、住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の19歳から29歳の男女2,200人（対象年齢19歳～29歳 4月末現在で約6,500人）
- ・方法 自記式アンケート調査、郵送配布・郵送回収、webアンケート
- ・期間 令和7(2025)年5月2日～5月23日まで
- ・回収結果 回答数 506人 回収率 23.0%

(2) 市内2大学 学生ヒアリング調査

- ・ヒアリングテーマ 「柏崎市について」、「仕事について」、「恋愛・結婚観」
- ・ヒアリング終了後、アンケート実施

① 新潟工科大学 実施日令和7(2025)年6月18日（水曜日）**【実施済み】**

場所 新潟工科大学内
参加者 12人（男性9人、女性3人）
実施方法 グループワーク方式

② 新潟産業大学 実施日令和7(2025)年7月11日（金曜日）**【実施予定】**

場所 新潟産業大学内
参加予定者 未定
実施方法 グループワーク方式

(3) 困難を有するこども・若者へのヒアリング（意見聴取）**【随時実施中】**

- ① 不登校状態にあるこどもへの聴き取り調査（適応指導教室（ふれあいルーム））^{注1}
- ② ひきこもり状態にある若者への聴き取り調査（ひきこもり支援センター）^{注2}

^{注1} 適応指導教室（ふれあいルーム）は、様々な理由で学校に行くことが難しい小・中学生及び高校生が、個人学習や交流・体験活動を通して学校復帰や集団生活への適応、社会生活への自立を目指すための教室です。（市役所分館3階 子ども発達支援課）

^{注2} ひきこもり支援センター（アマ・テラス）は、ひきこもり状態にある方とそのご家族への支援に特化した専門機関です。社会福祉士や精神保健福祉士などの専門相談員が不安や悩みに寄り添います。（元気館2階 健康推進課）

9 計画骨子案

(1) 若者の意識に関するアンケート結果について

資料 1-2 若者の意識に関するアンケート調査集計（速報版） 参照

(2) 基本理念

資料 1-3 柏崎市こども・若者計画の体系【骨子案】参照

「すべてのこども・若者が尊重され、安心して住み続けたいと思えるまち・柏崎」

（参考 他計画理念等）

- ・次期柏崎市総合計画【基本理念】

「市民とともに育むまちづくりを推進し、市民の幸福の実現をめざします」

- ・第三期子ども・子育て支援事業計画【基本理念】

「こどもはみんなの宝物」～安心してこどもを産み育てられるまち・柏崎」

- ・新潟県こども計画【基本方針の目指す方向性】

「誰もが安心してこどもを生み、子育てに喜びを感じ、未来を担うこどもが希望や夢に向かい取り組み、こどもの笑顔があふれる社会の実現」

(3) 基本方針

基礎調査結果を踏まえ、以下の3項目を基本方針として掲げます。

基本方針1 こども・若者の豊かな人間力と社会を生き抜く力の育成

【方向性】

- ・交流・活動の場の充実、居場所づくり（余暇の充実・交流の場の充実）
- ・多様なこども・若者のチャレンジの促進

基本方針2 こども・若者の夢や希望が叶えられる環境づくり

【方向性】

- ・若者の就労支援・働きやすい職場環境づくりの推進
- ・結婚・こどもを産むことを希望する若者への支援

基本方針3 困難を有するこども・若者やその家族への支援

【方向性】

- ・複合的な課題を有するこども・若者への重層的支援の充実（いじめ、不登校、貧困、ひきこもり、ヤングケアラー等）
- ・非行・ネットトラブル等の予防・啓発

令和 7 (2025) 年 7 月 4 日

子ども未来部子どもの発達支援課

10 策定スケジュール

時期	子ども・子育て会議	基礎調査/策定事務（予定）	
4 月	《書面協議》・アンケート調査案について		
5 月		アンケート調査実施	
6 月		不登校児童生徒ヒアリング 学生ヒアリング（工科大）	骨子案作成
7 月	【第 1 回】・アンケート結果報告（速報版） ・計画骨子案説明	ひきこもり当事者ヒアリング 学生ヒアリング（産大）	素案作成
8 月		庁内関係課説明会	
9 月	《書面協議》・計画素案について		
10 月	【第 2 回】・基礎調査結果報告（詳細版） ・計画案説明		計画案作成
11 月			
12 月		パブリック・コメント実施	
1 月		パブリック・コメントの反映	最終案作成
2 月	【第 3 回】計画案説明		
3 月	【第 4 回】計画完成版配布		印刷・製本

【担当】

945-0064 柏崎市中央町 5 番 8 号（柏崎市役所分館 3F）

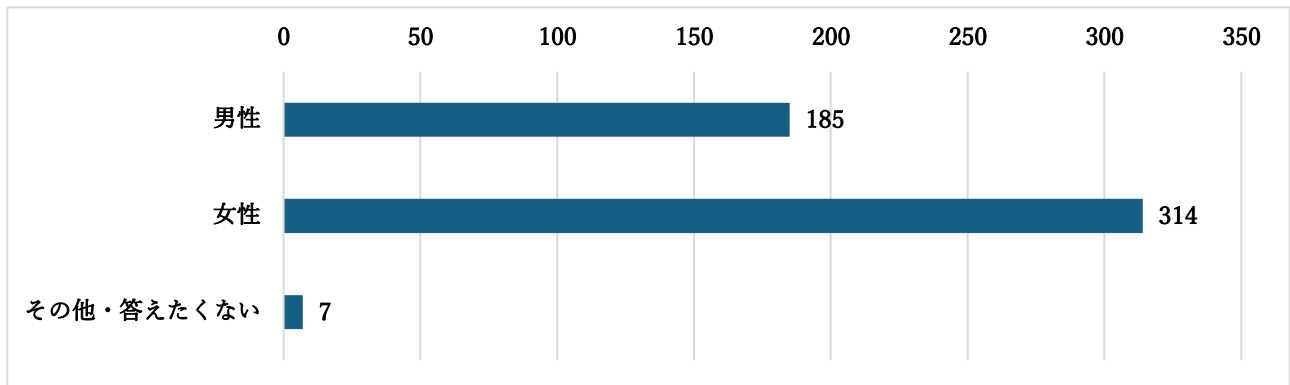
子ども未来部 子どもの発達支援課 相談支援係 担当 小山

電 話 0257-32-3397

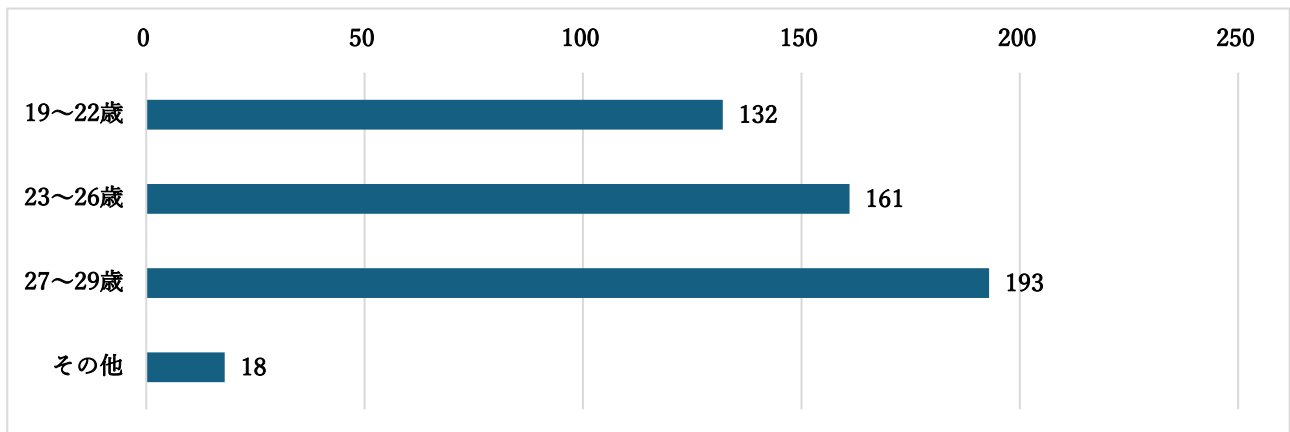
メー ル hattatsushien@city.kashiwazaki.lg.jp

柏崎市 若者の意識に関するアンケート調査 集計（速報版）

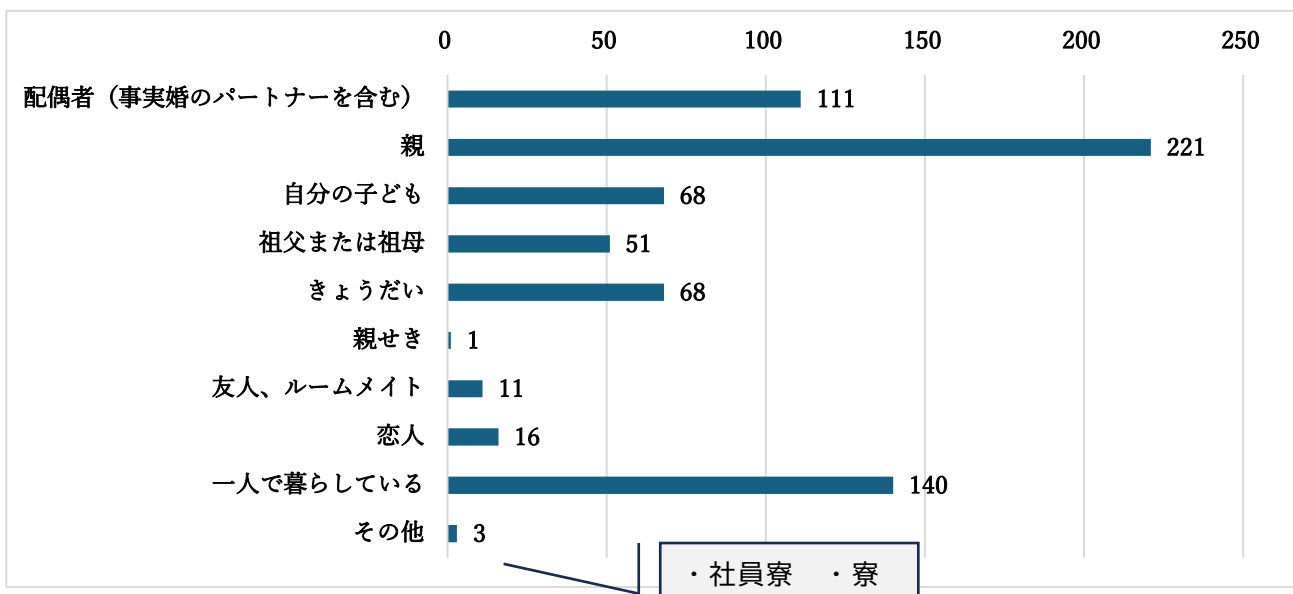
問 1 性別をお答えください。



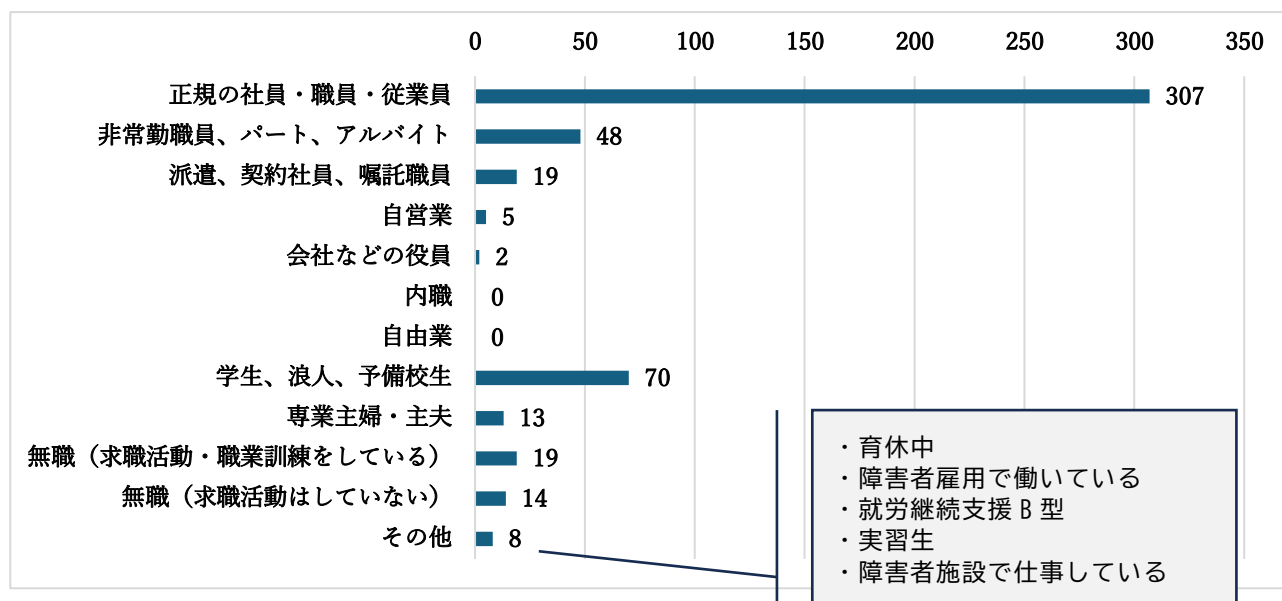
問 2 年齢を教えてください。※回答日現在



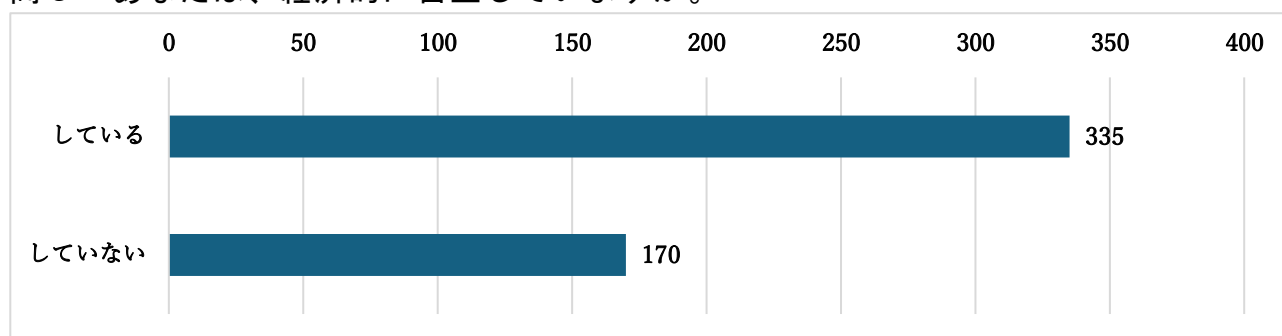
問 3 誰と一緒に暮らしていますか。（複数回答）※ 一時的に単身赴任している家族含む。



問 4 あなたの現在の職業等を教えてください。

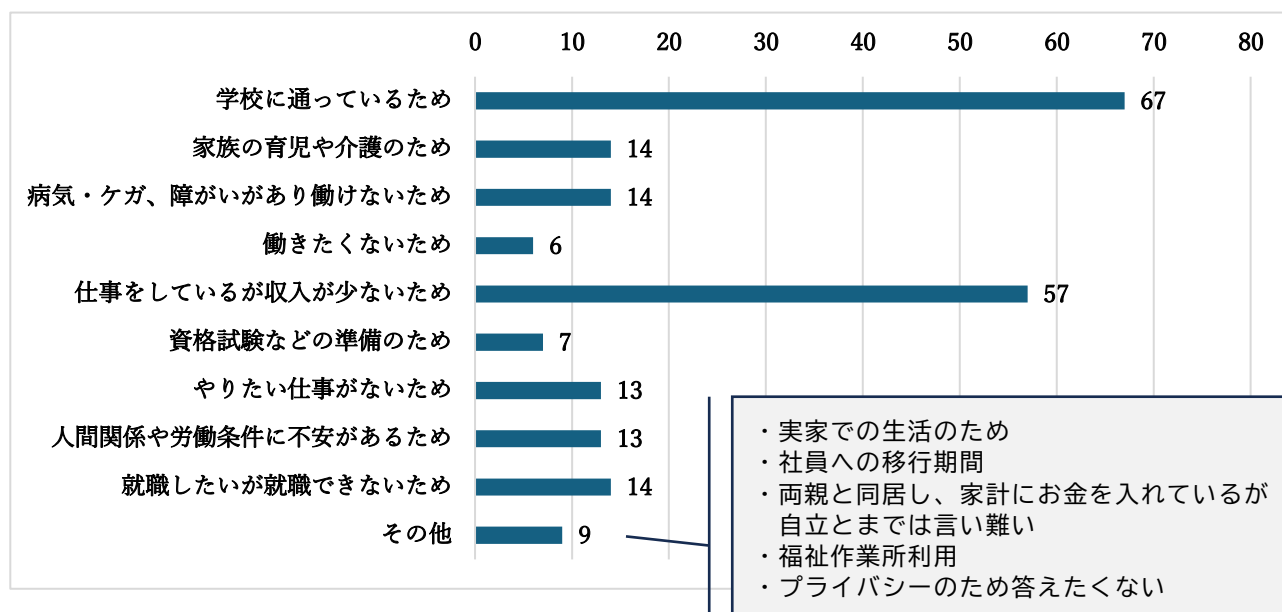


問 5 あなたは、経済的に自立していますか。

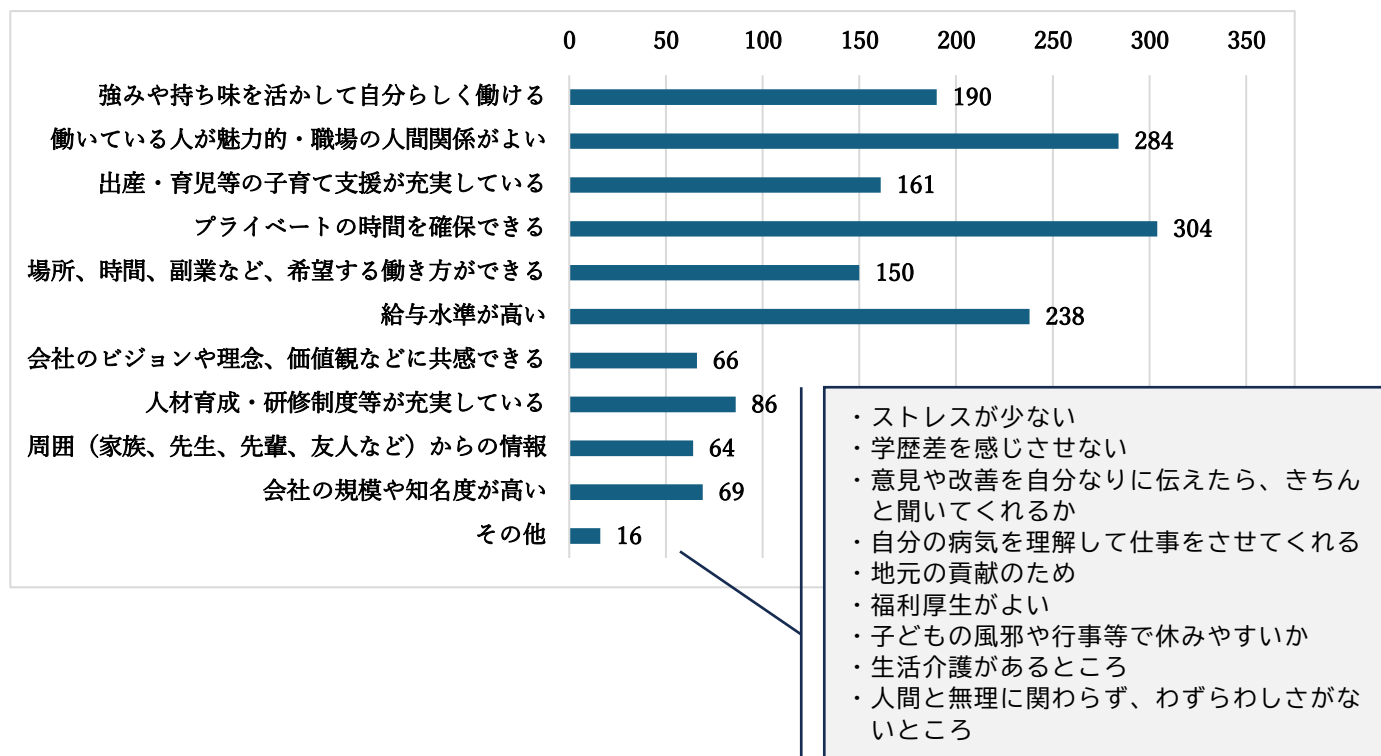


問 5 で「2 していない」と答えた 170 名について

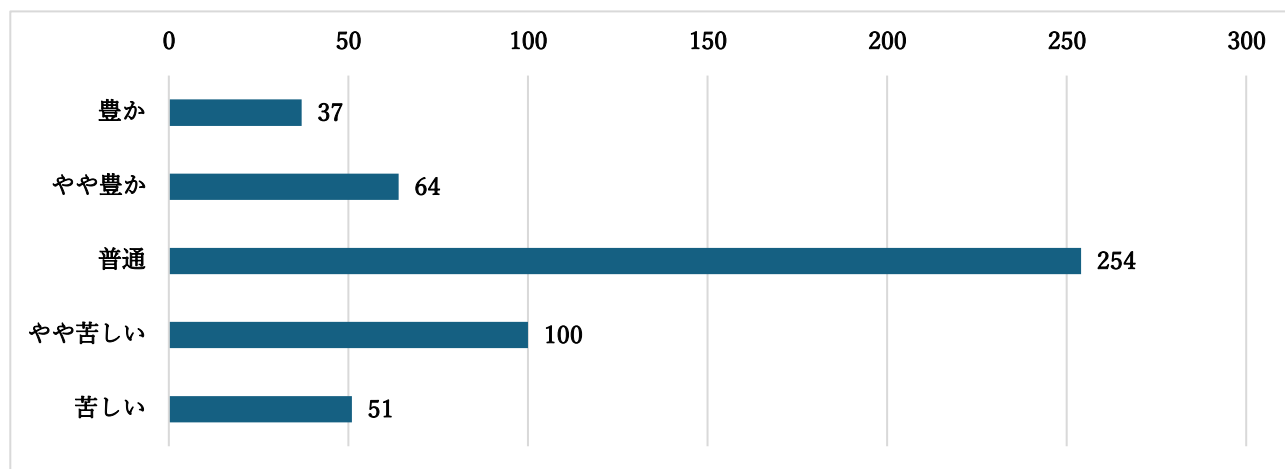
問 6 経済的に自立していない理由は何ですか。（複数回答）



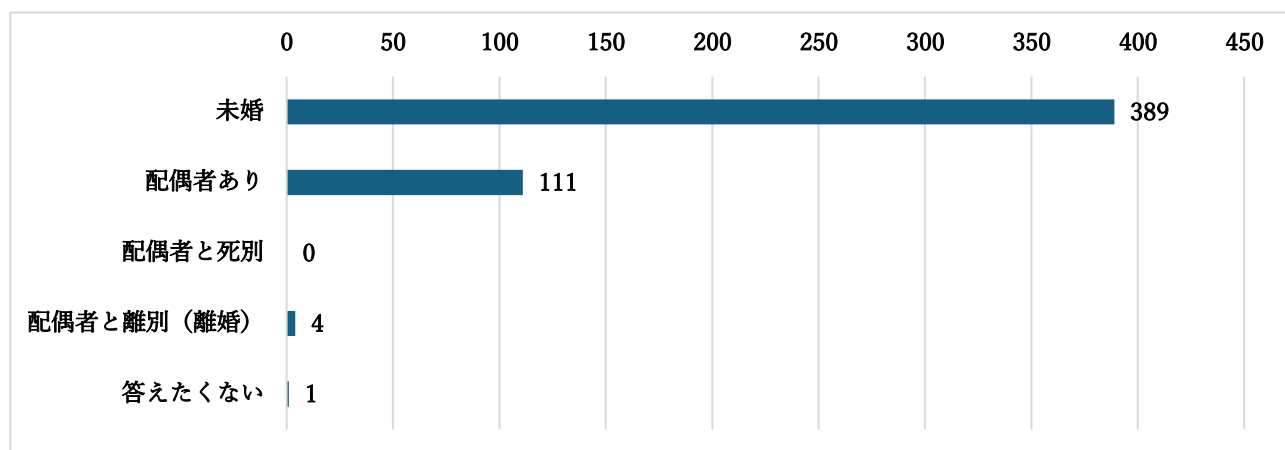
問7 就職先を選ぶうえで重視したい点（重視した点）は何ですか。（複数回答）



問8 あなたは、現在の経済的な暮らし向きをどのように感じますか。

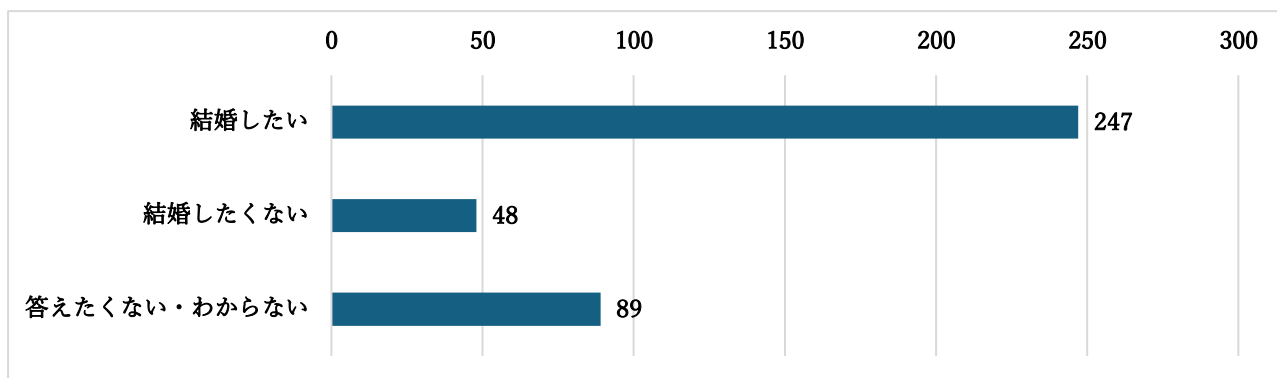


問9 あなたの現在の婚姻状況を教えてください。

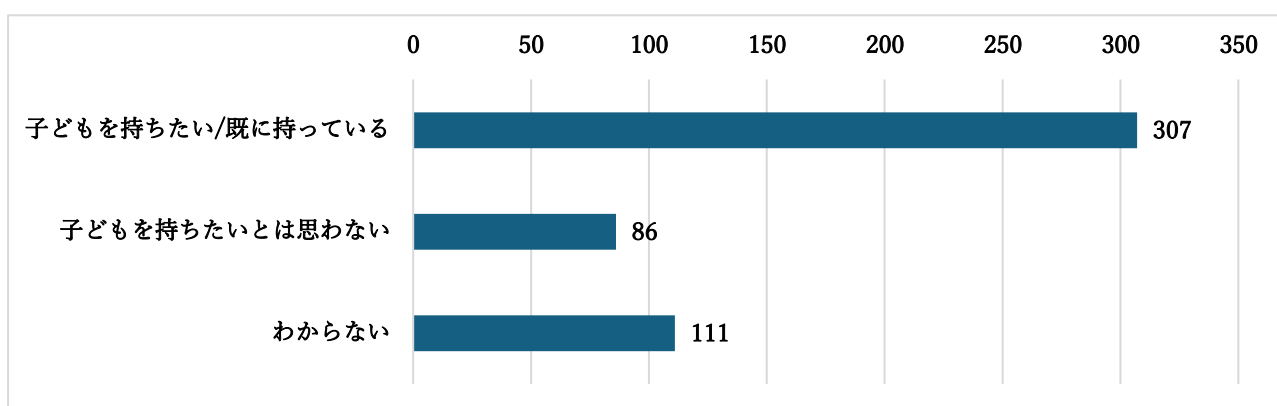


問9で「未婚」と答えた方へ389名について

問10 自分の一生を考えたとき、結婚への考えはどちらですか。

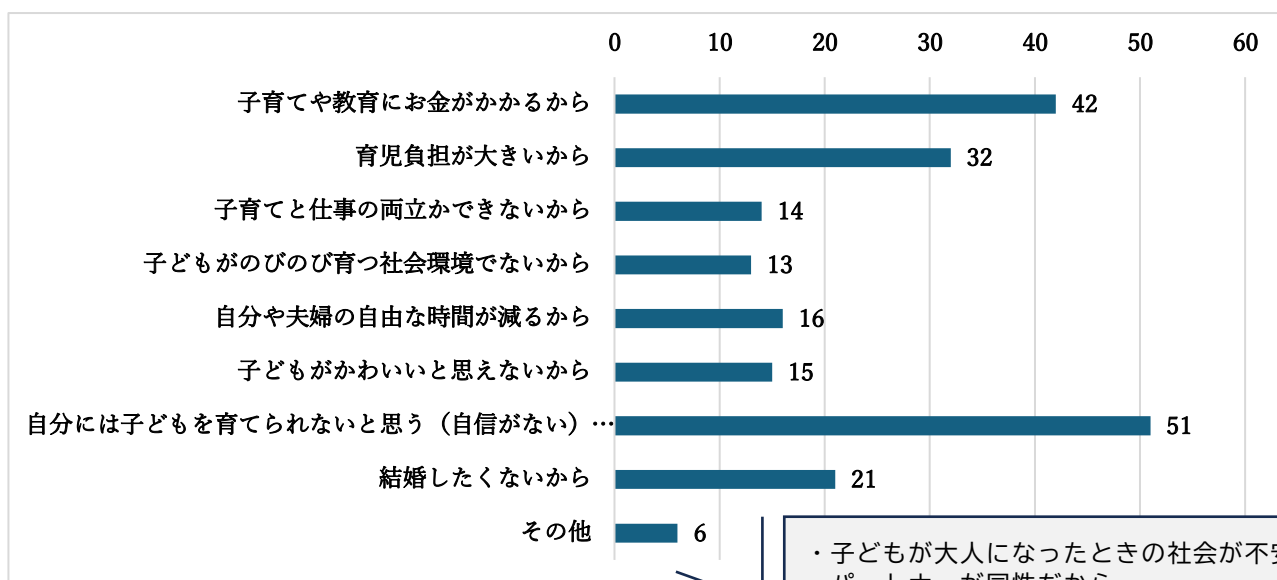


問11 あなたが子どもを持つことについて、どのように思いますか。



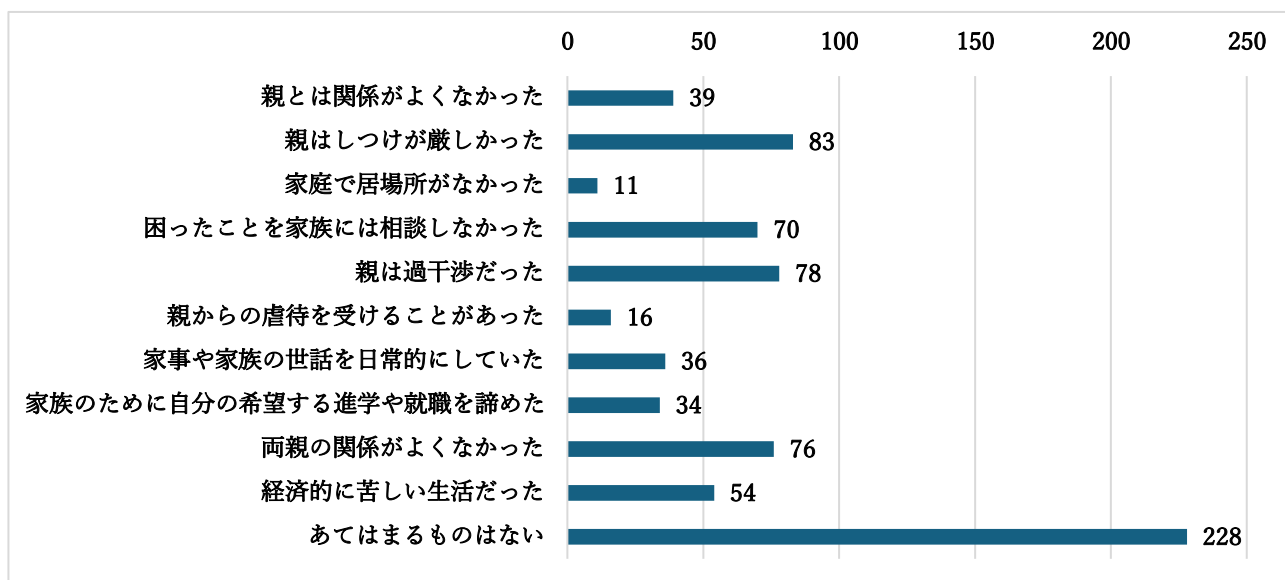
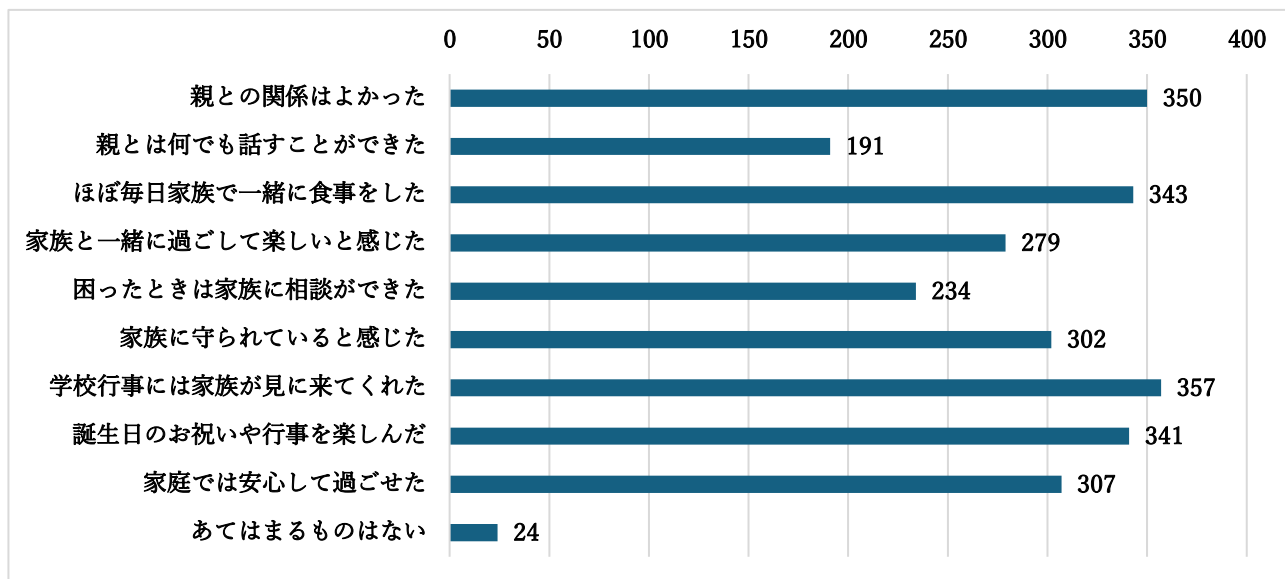
問11で「2 子どもを持ちたいとは思わない」と答えた86名について

問12 その理由は何ですか。(3つまで回答)

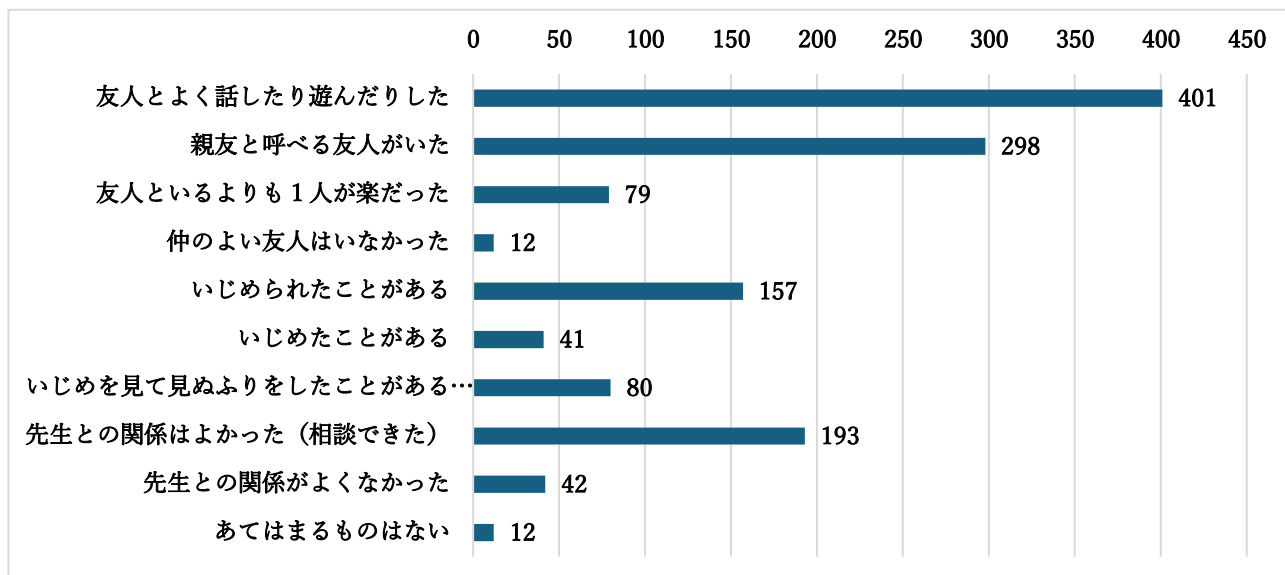


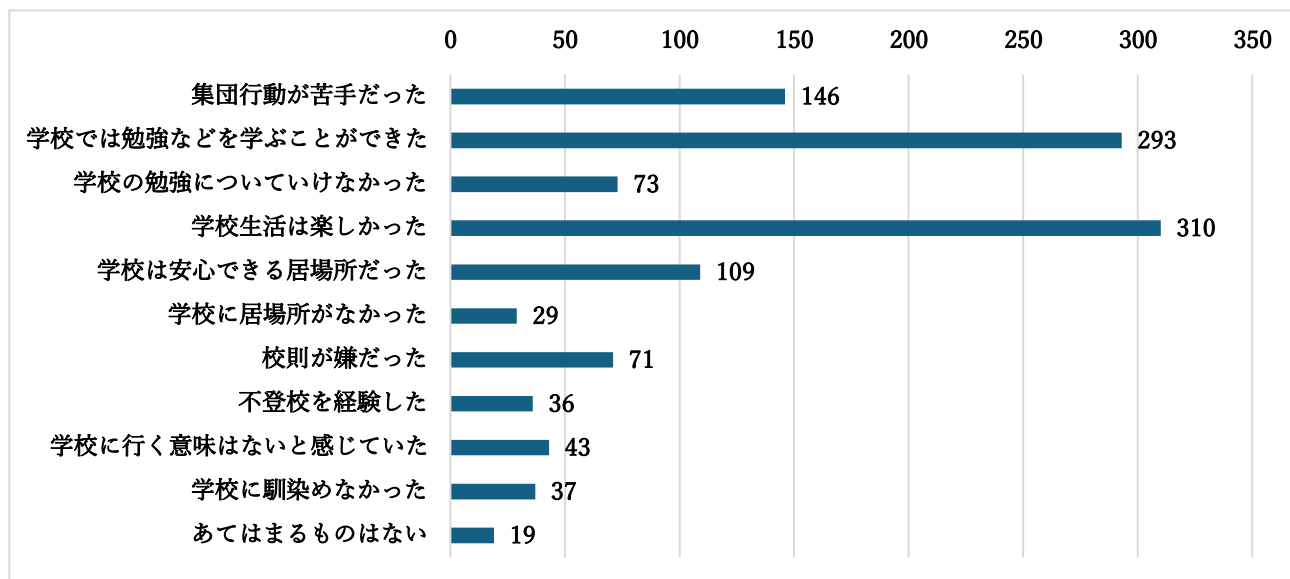
- ・子どもが大人になったときの社会が不安
- ・パートナーが同性だから
- ・相手が望んでいない
- ・自分自身子どもに好かれる自信がない
- ・高齢化のせいで、子どもに対する見方が厳しくなった。特にうるさい等言われるなど。
- ・そもそも子どもを作り、人生を押し付けることは親の身勝手ではなく、倫理的に悪と思うから
- ・子どもが好きではない

問13 子どもの頃の家庭生活で、あてはまるものはありますか。（複数回答）

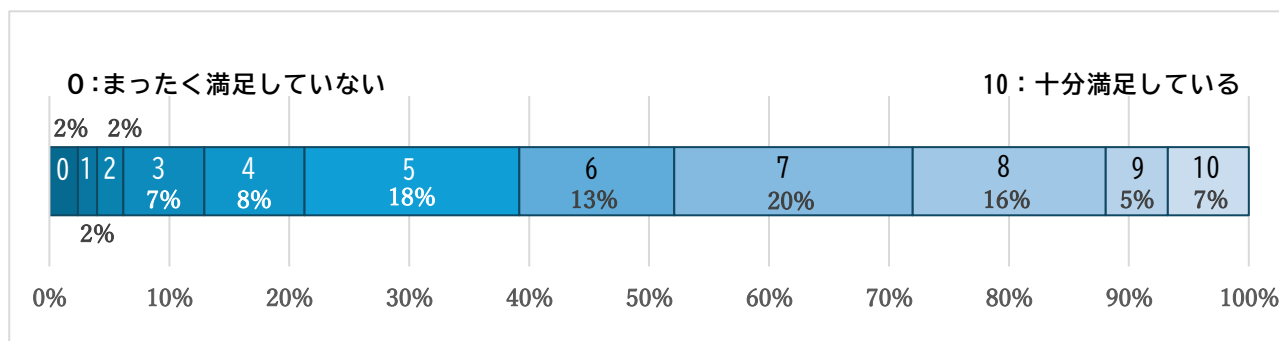


問14 子どもの頃の学校生活で、あてはまるものはありますか。（複数回答）



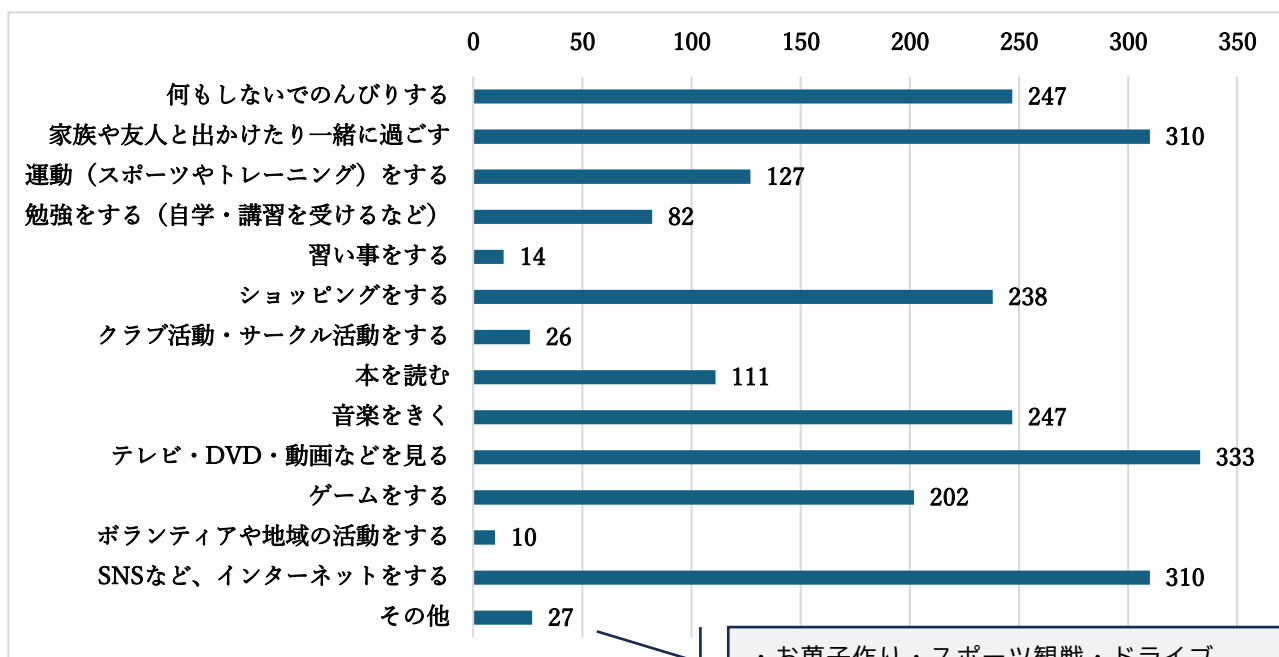


問15 全体として、最近の生活にどれくらい満足していますか。



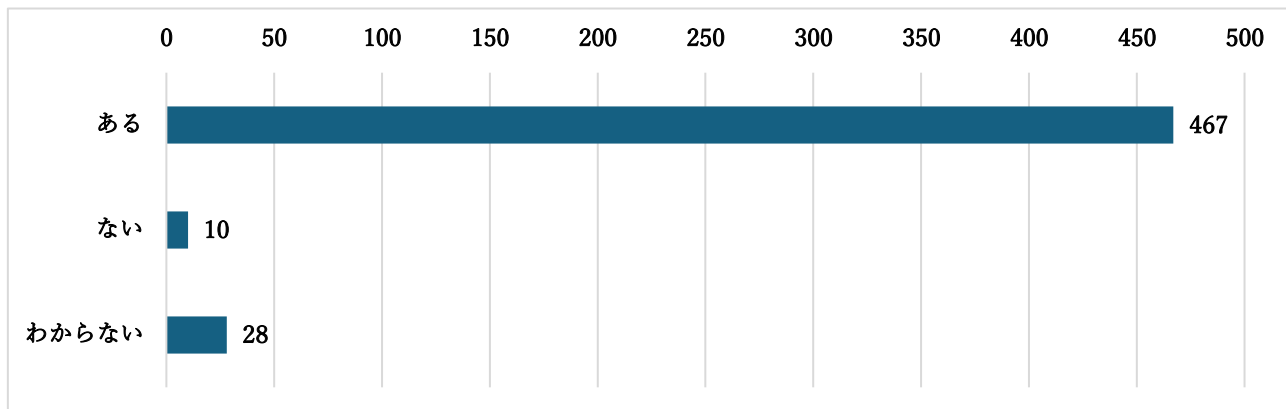
問16 あなたは自由な時間をどのように過ごしていますか。（複数回答）

※仕事や学校、家事など以外の過ごし方



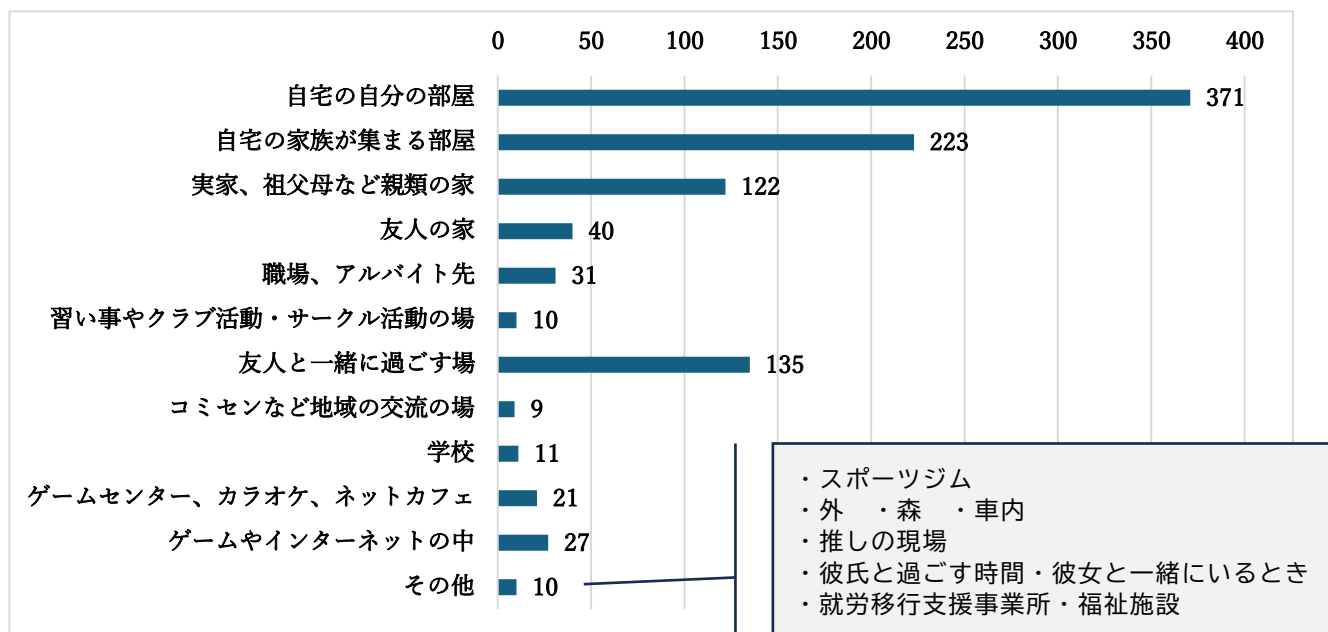
・お菓子作り・スポーツ観戦・ドライブ
 ・推し活・競馬・散歩・模様替えや片付け
 ・自宅で趣味の絵を描く・手芸・創作活動
 ・自由な時間はほとんどない
 ・温泉めぐり・ラジオを聴く
 ・哲学・数学・化学・芸術・歴史
 ・ツーリング・バイクいじり

問17 あなたは、安心して過ごせる場所がありますか。

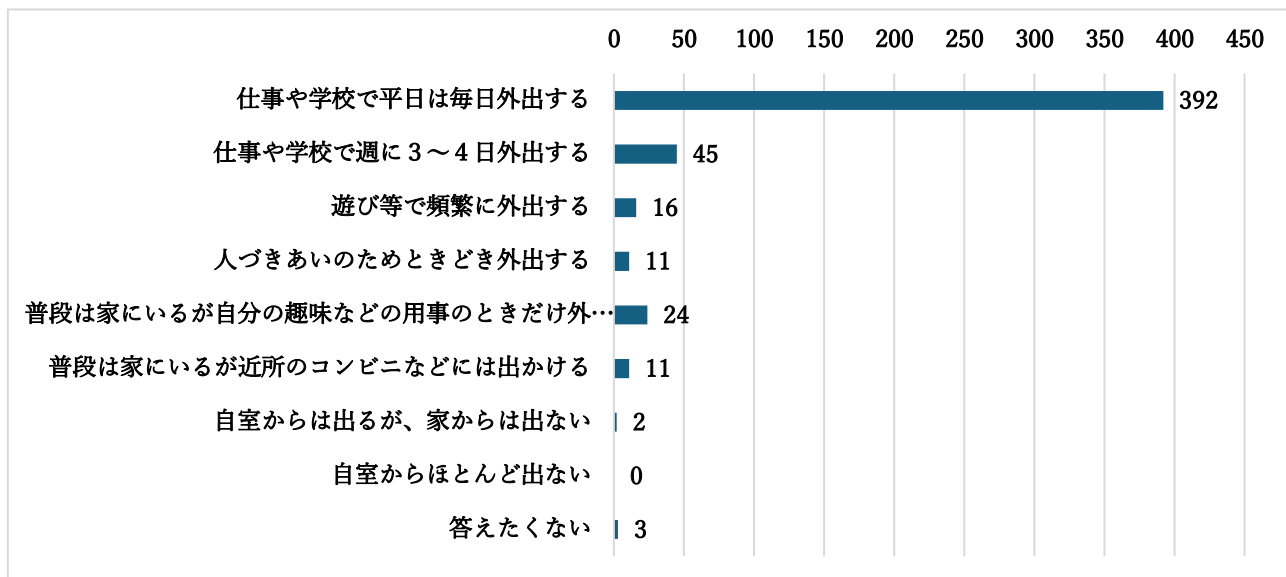


問17で「ある」と答えた467名について

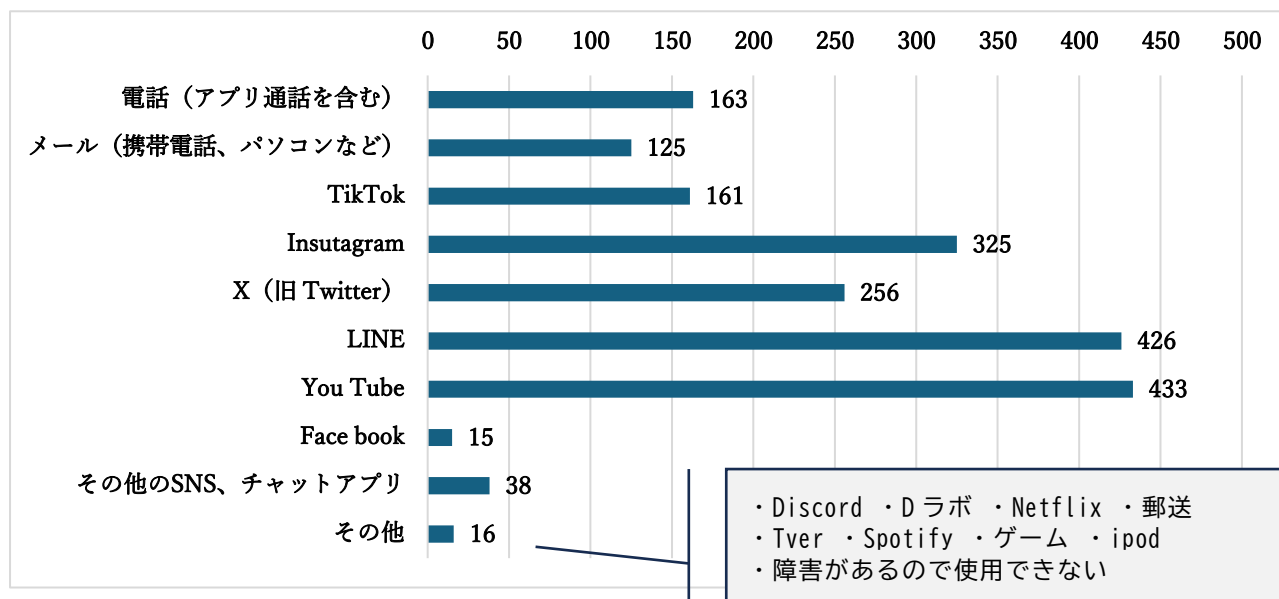
問18 安心して過ごせる場所はどこですか。(複数回答)



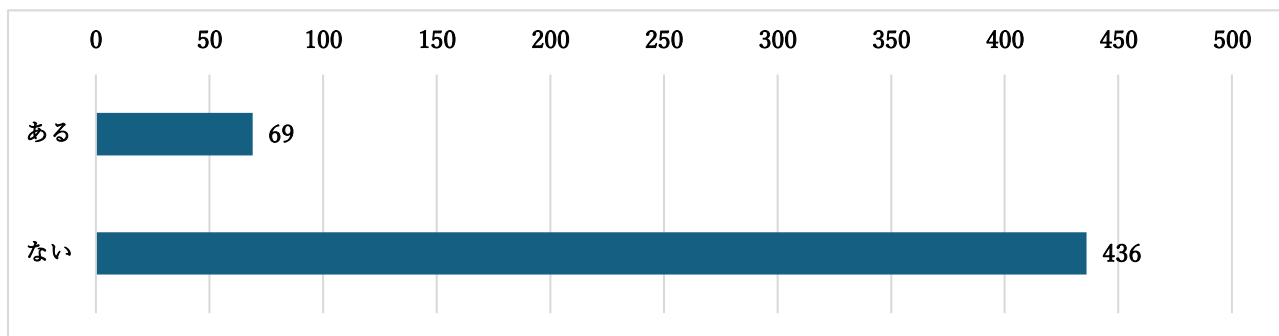
問19 あなたは普段どのくらい外出しますか。



問20 次のうち、あなたがよく利用しているものは何ですか。（複数回答）

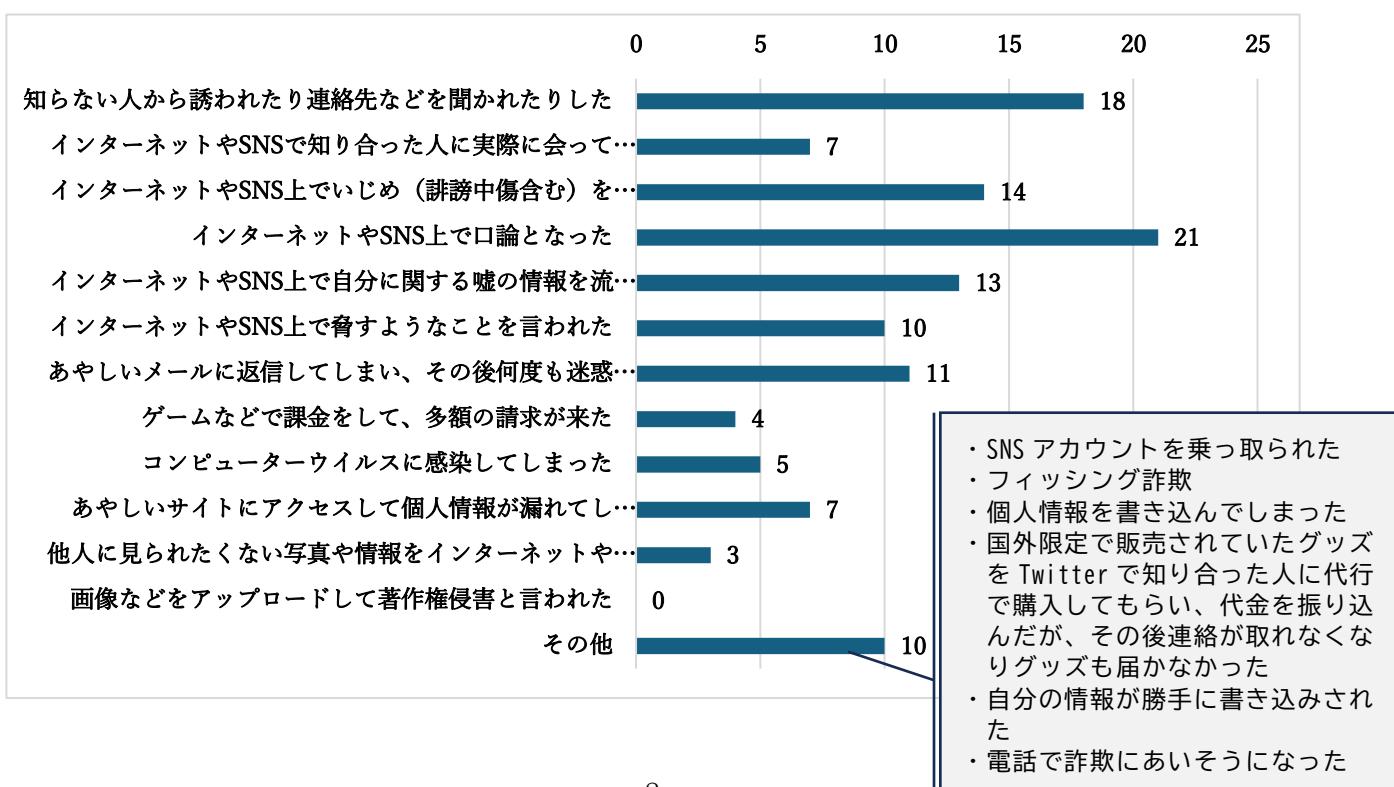


問21 インターネットや SNS でのトラブルの経験はありますか。

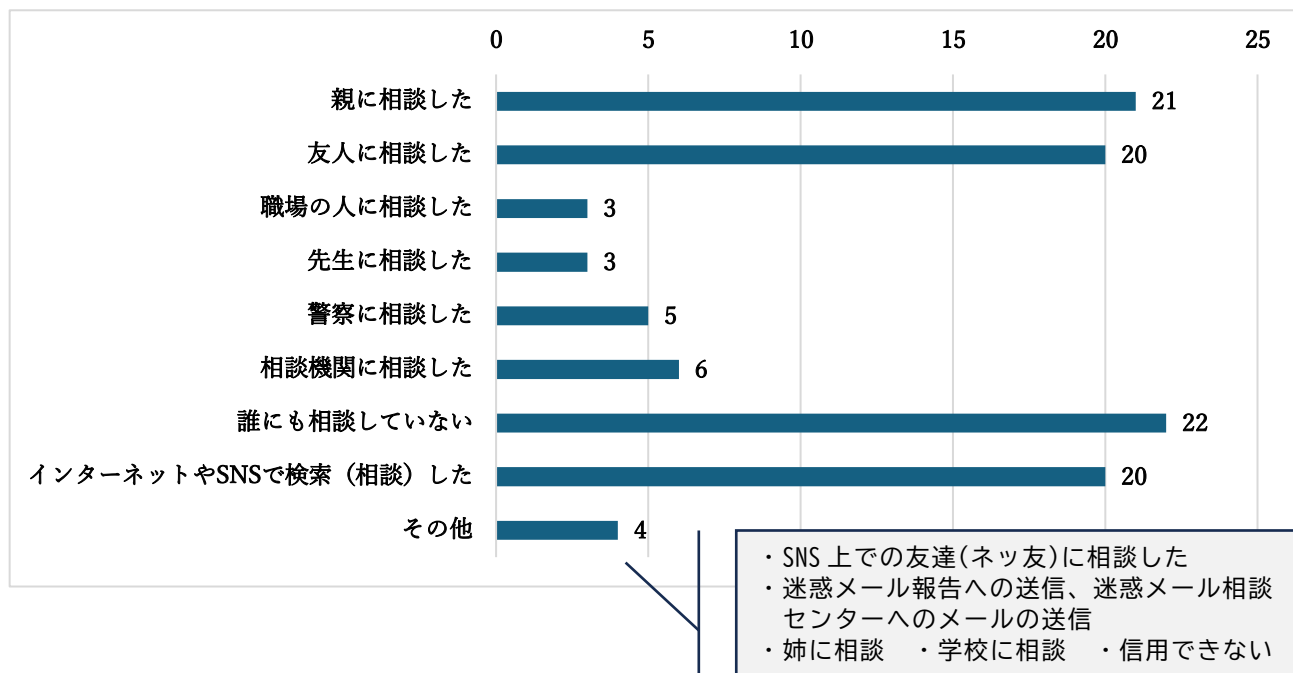


問21で「ある」と答えた69名について

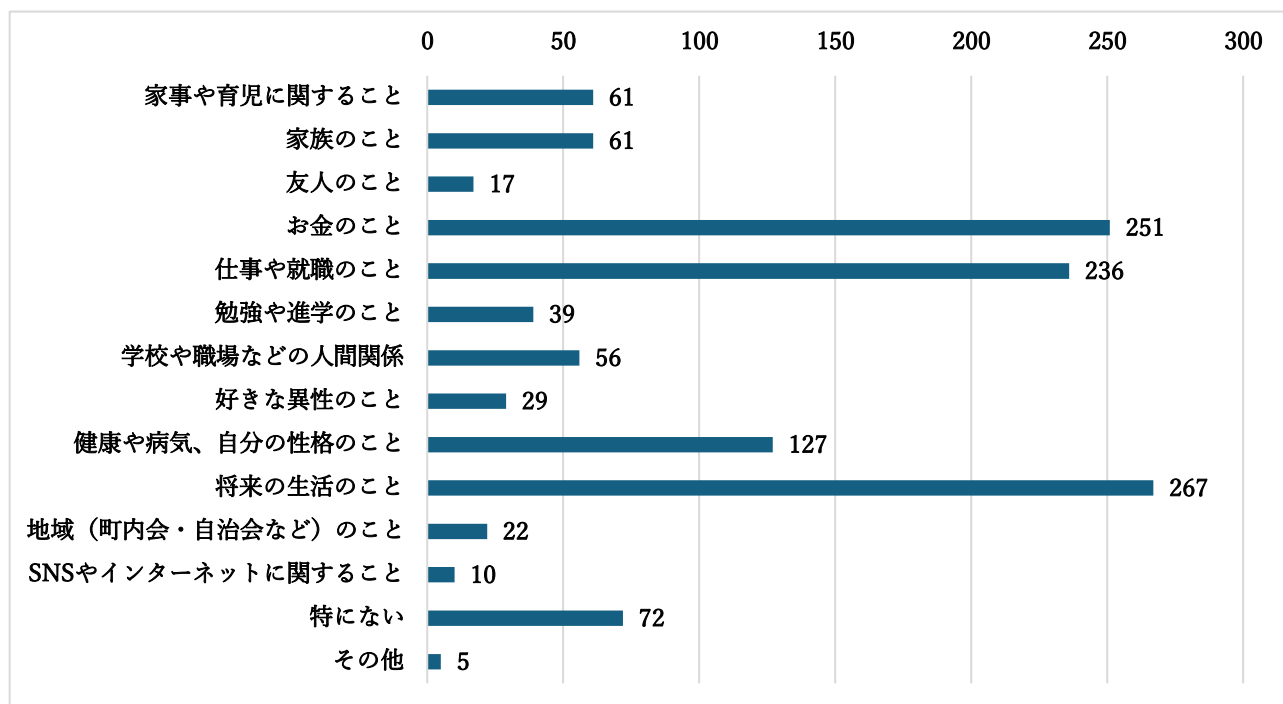
問22 それはどのようなトラブルでしたか。（複数回答）



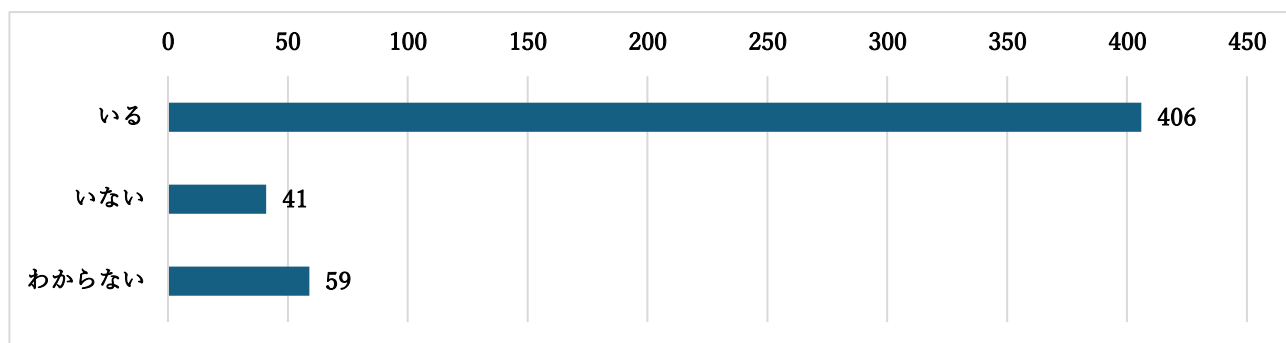
問23 トラブルがあったときにどのように対応しましたか。(複数回答)



問24 次の中で、困っていることや悩んでいることはありますか。(複数回答)

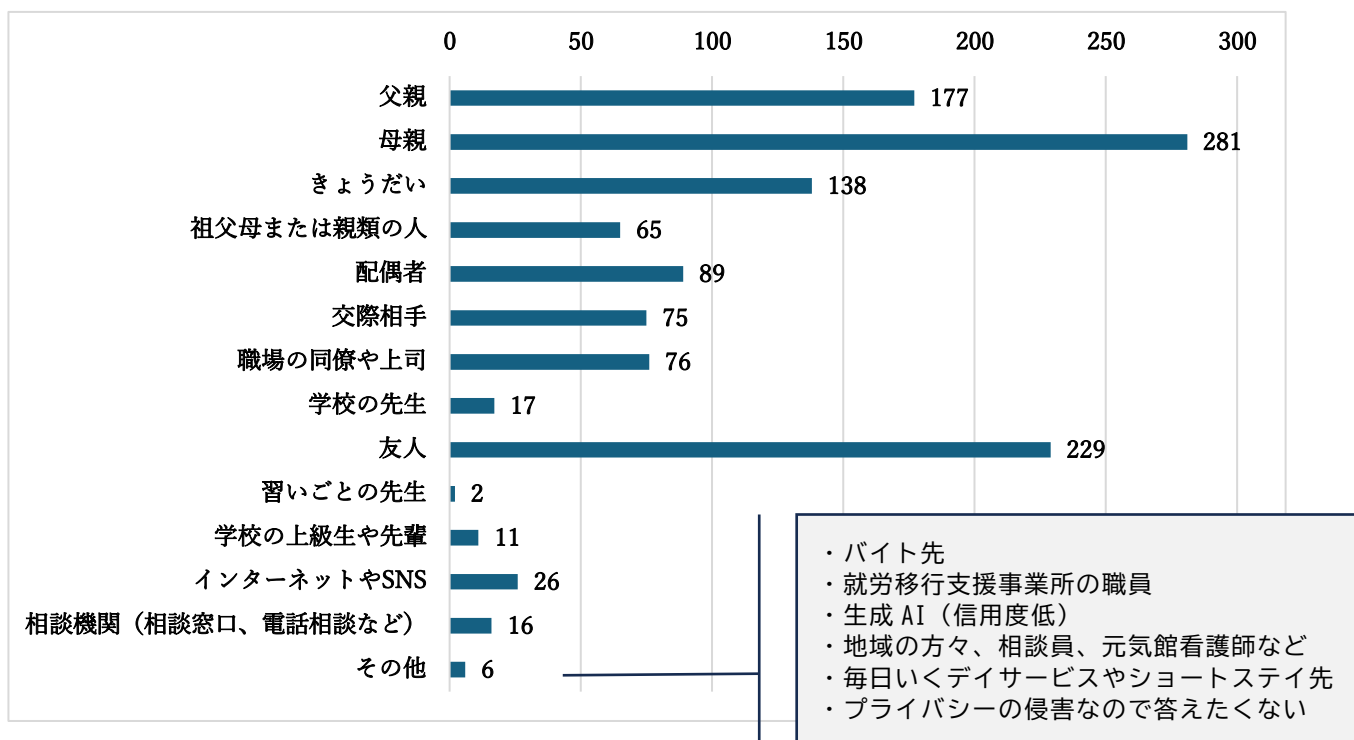


問25 あなたは、困りごとや悩みごとを相談できる人がいますか。



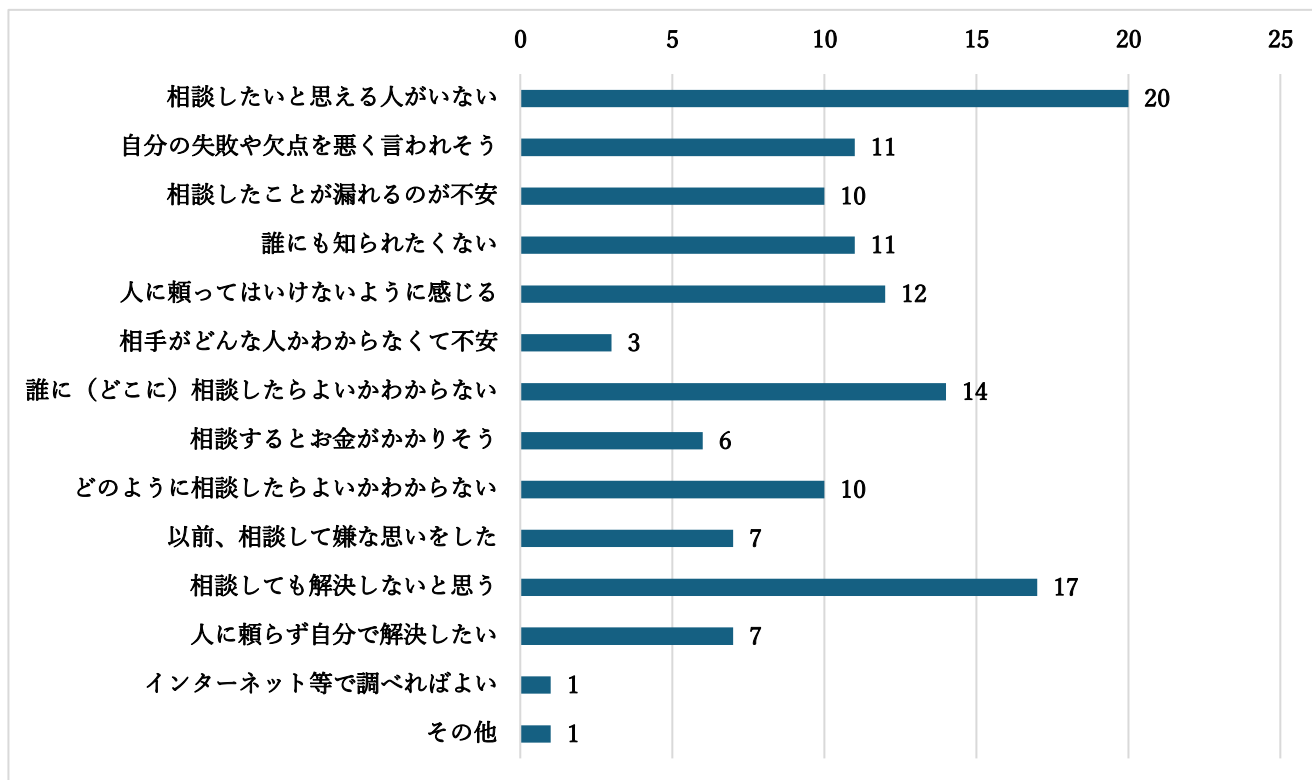
問 25 で「いる」を選択した 406 名について

問 26 あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

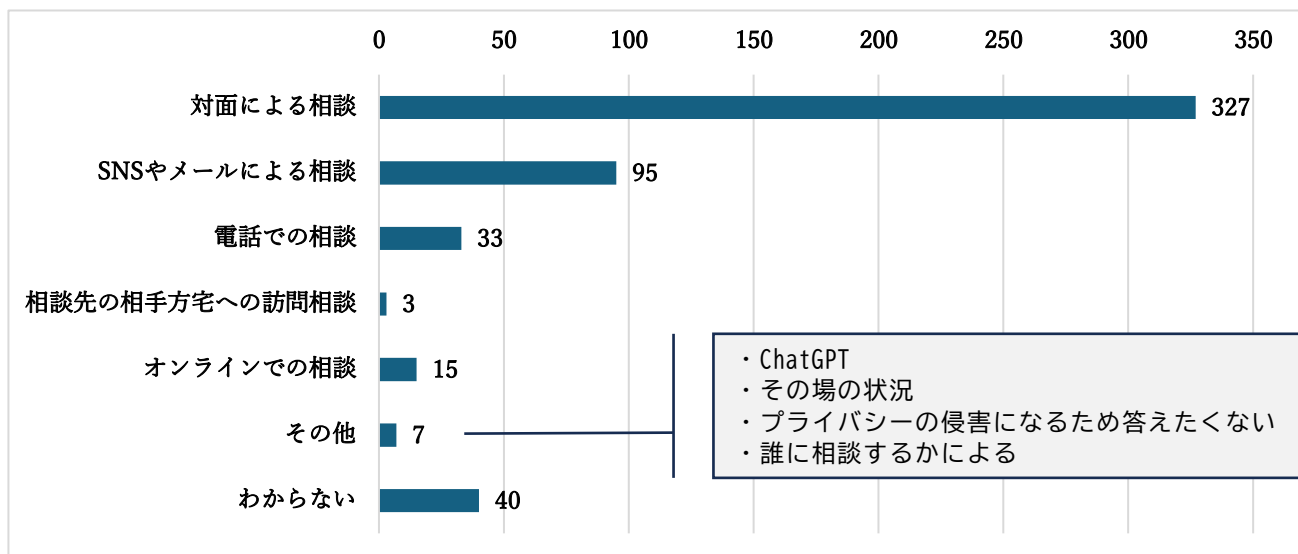


問 25 で「いない」を選択した 41 名について

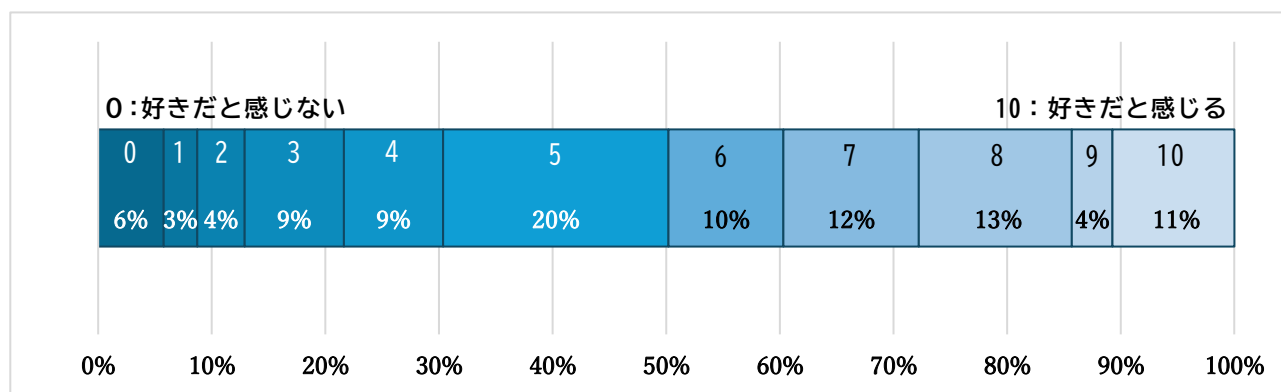
問 27 相談できると思う人がいないと考える理由は何ですか。(複数回答)



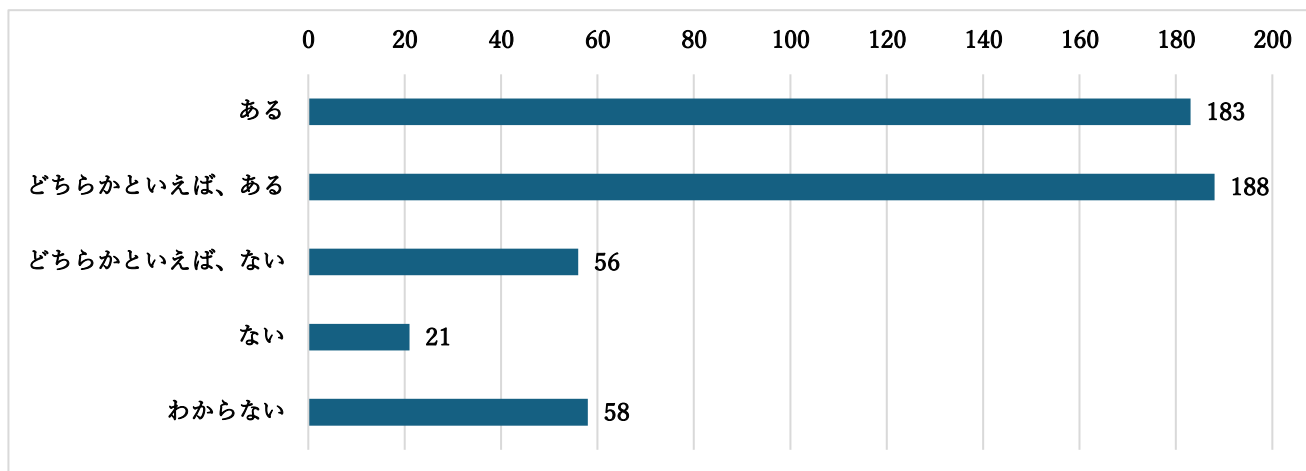
問28 相談するとしたら、最も相談しやすい方法は何ですか。



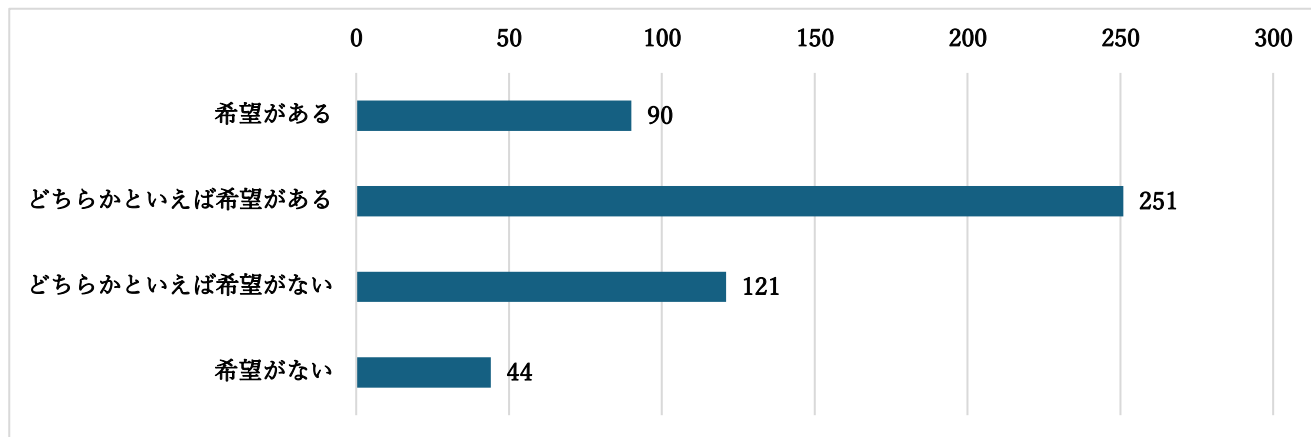
問29 全体として、あなたは自分のことが好きだと感じますか。



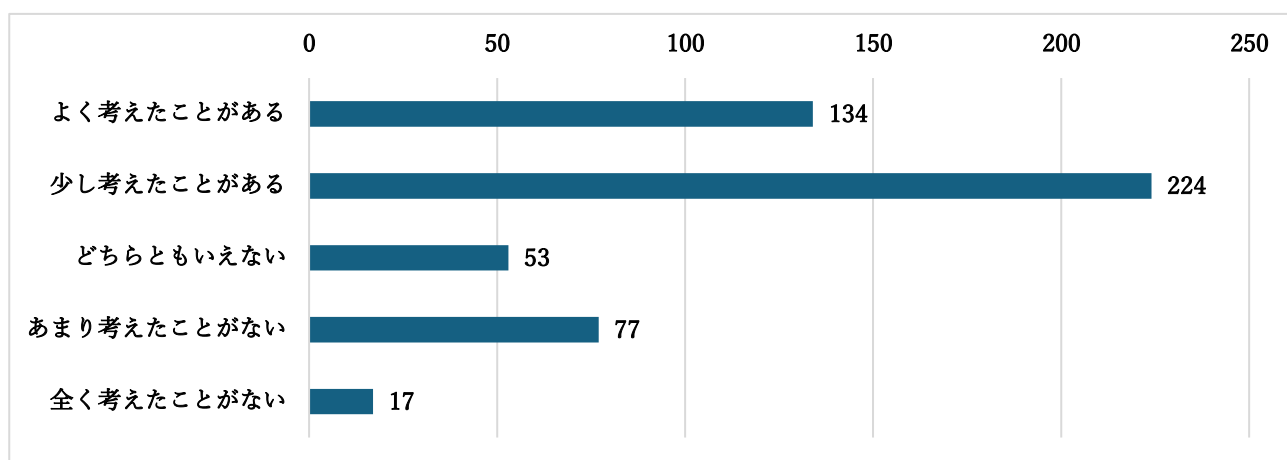
問30 自分には自分らしさというものがあると思いますか。



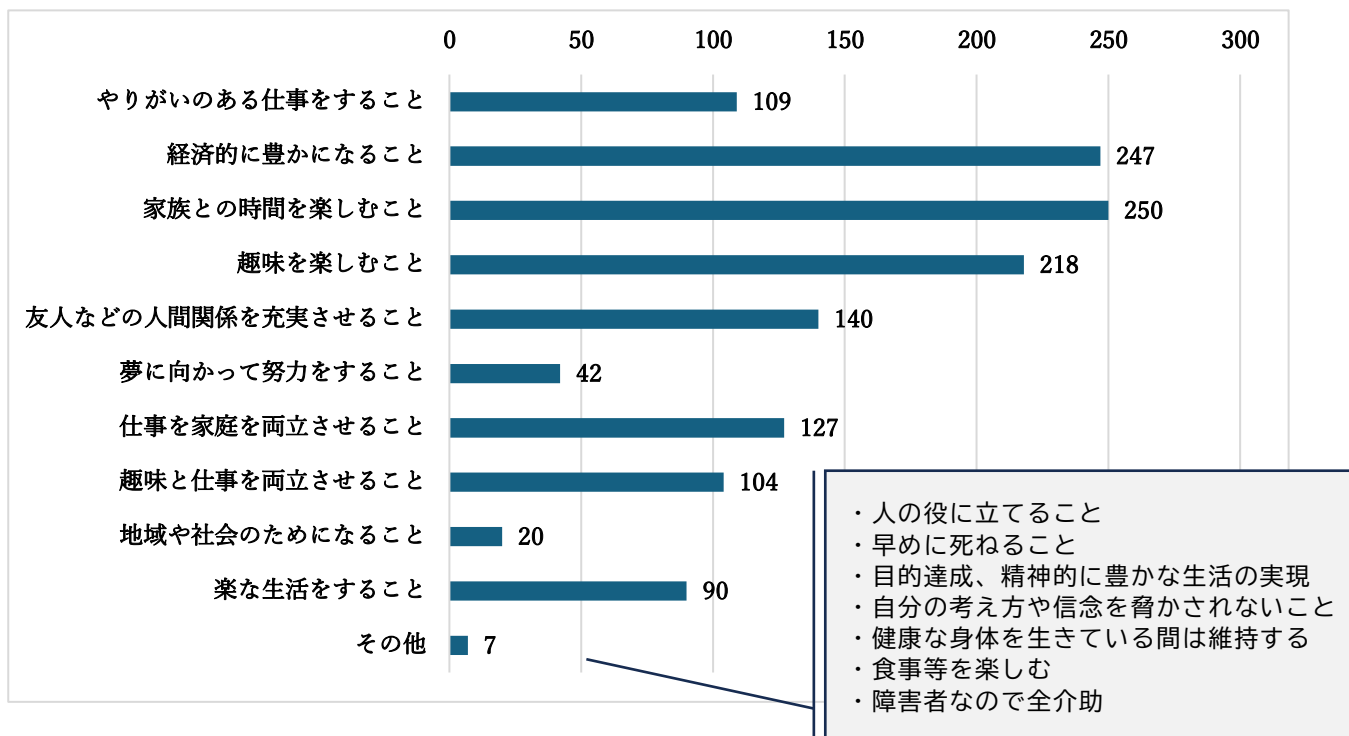
問31 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。



問32 自分の人生設計（ライフプラン）を考えたことがありますか。

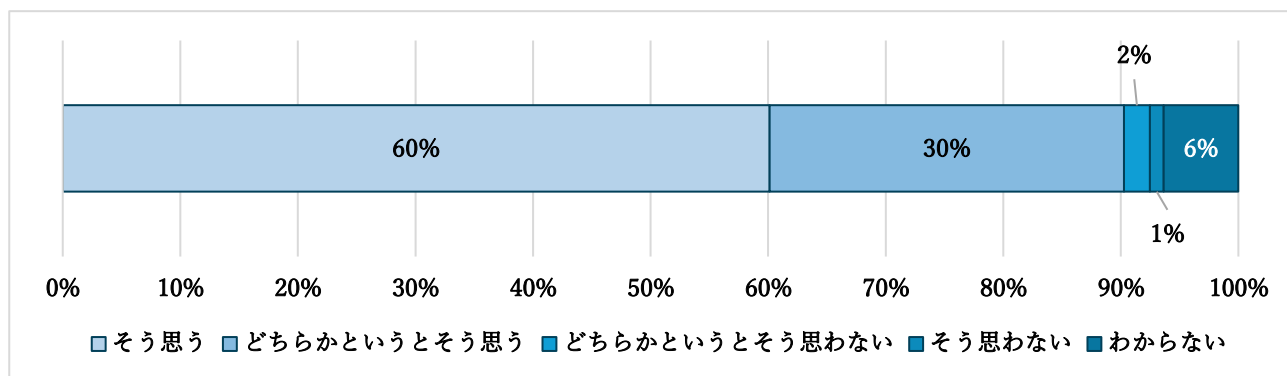


問33 あなたは、生きていくうえで、何を重視しますか。（3つまで回答）

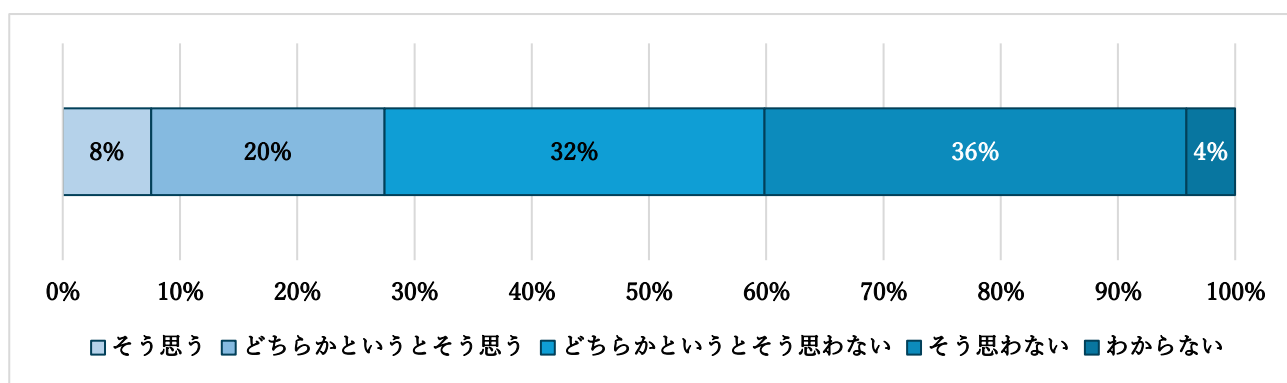


問34 子どもや若者について、次のうち、あなたの認識に近いものはどれですか。

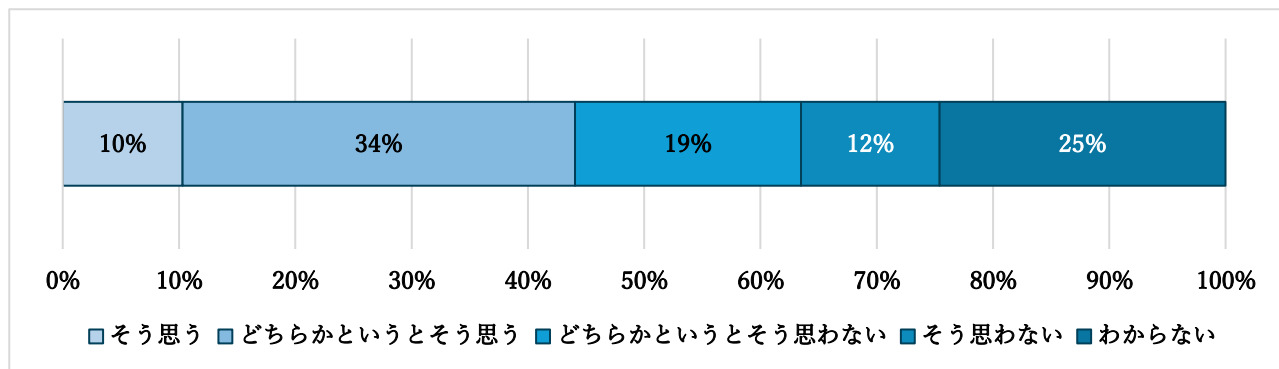
_1 子どもは権利の主体だと思う。



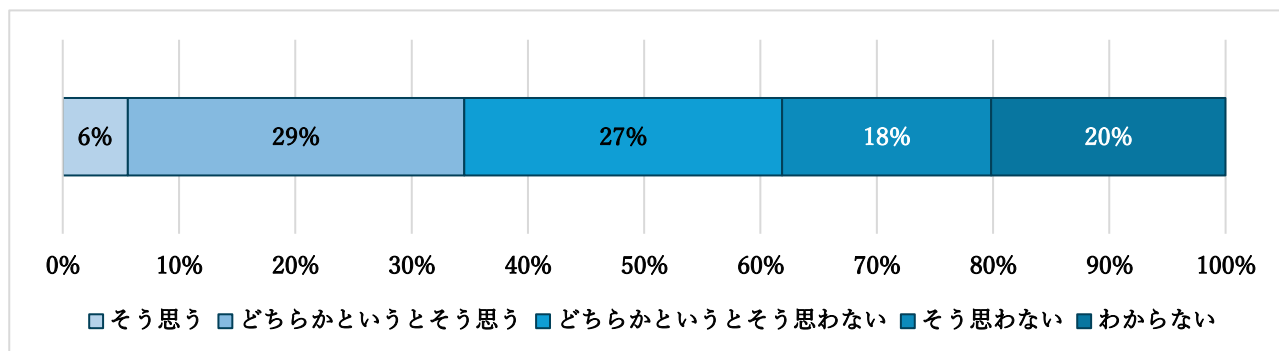
_2 子どもや若者の遊びや体験の場が身近に十分あると思う。



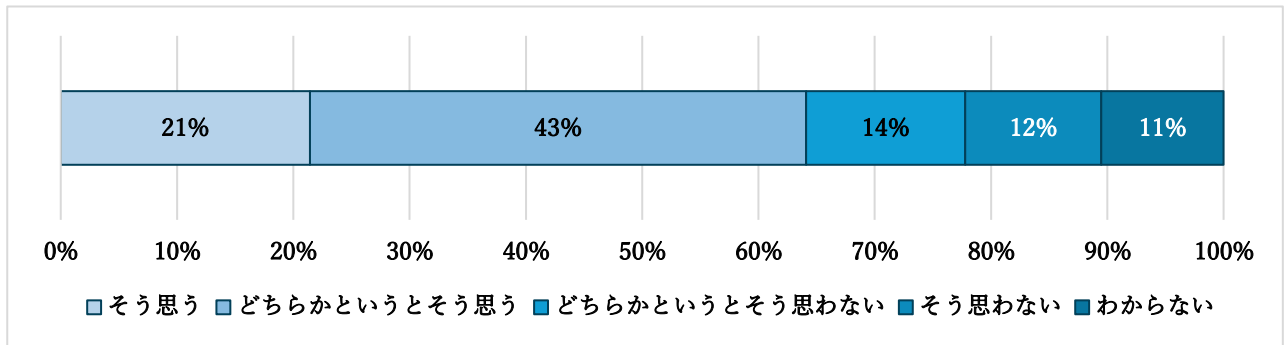
_3 学校でのインクルージョンが推進されていると思う。



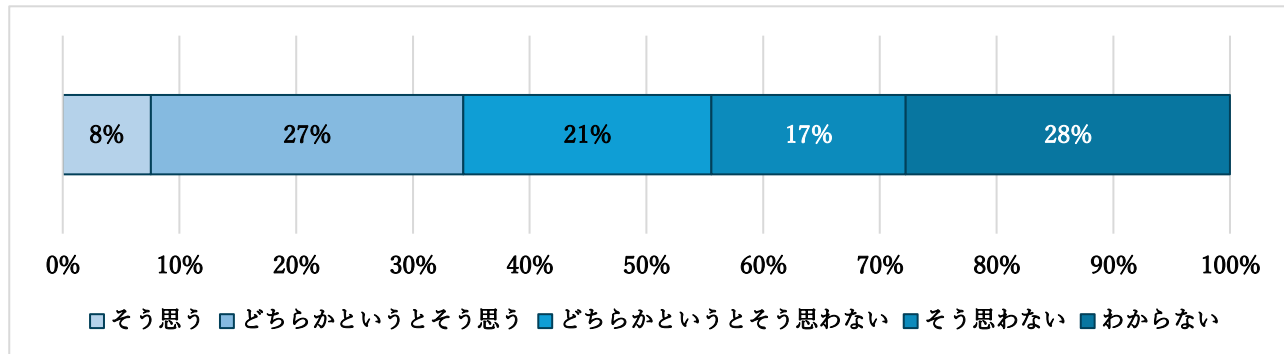
_4 障がいや発達特性があっても地域で暮らしやすいと思う。



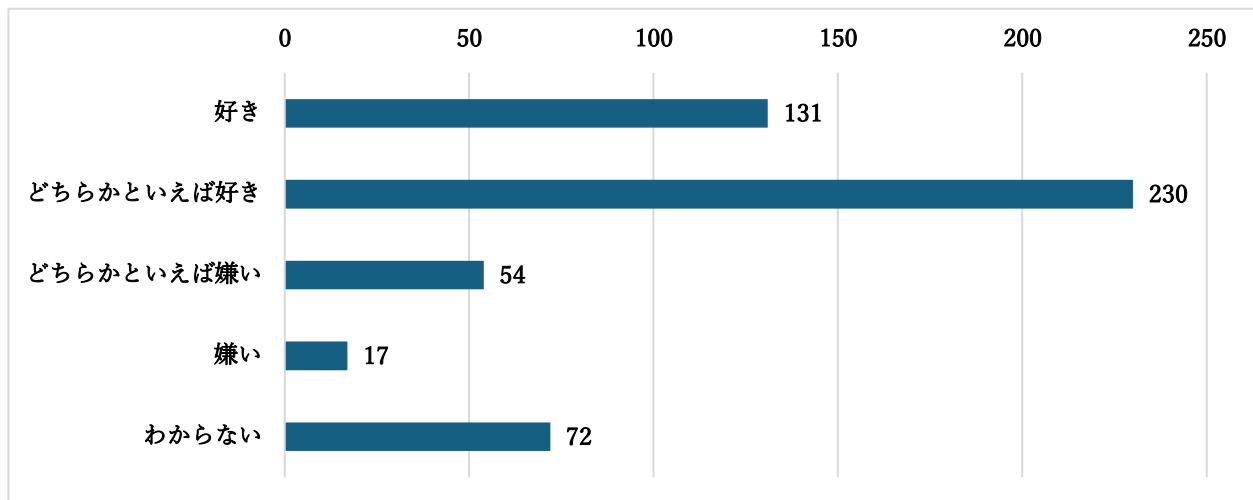
_5 学校は、安心して過ごせる大切な居場所の1つだと思う。



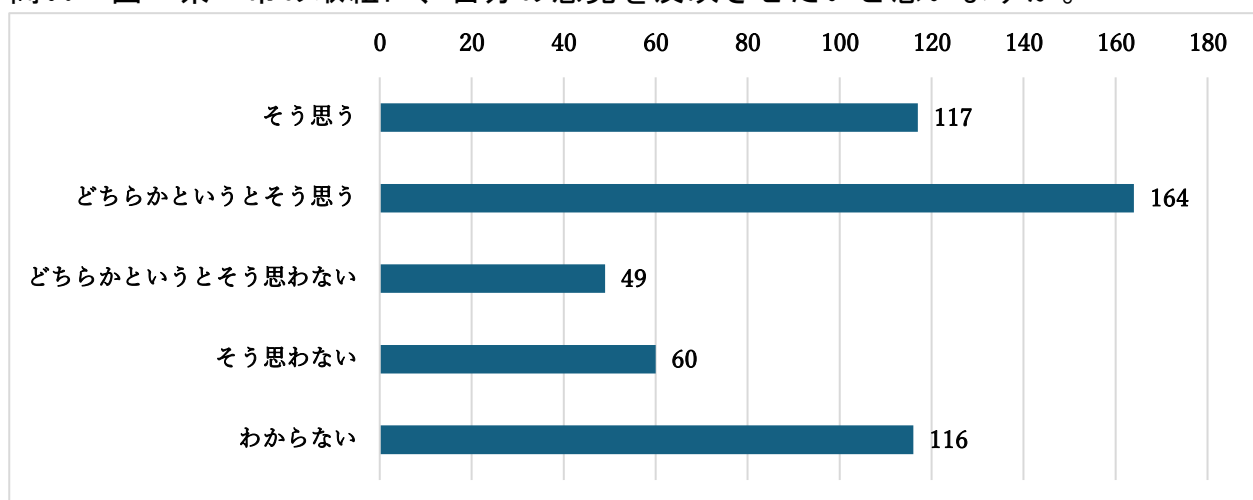
_6 こころのケアへの情報や支援が十分に整っていると思う。



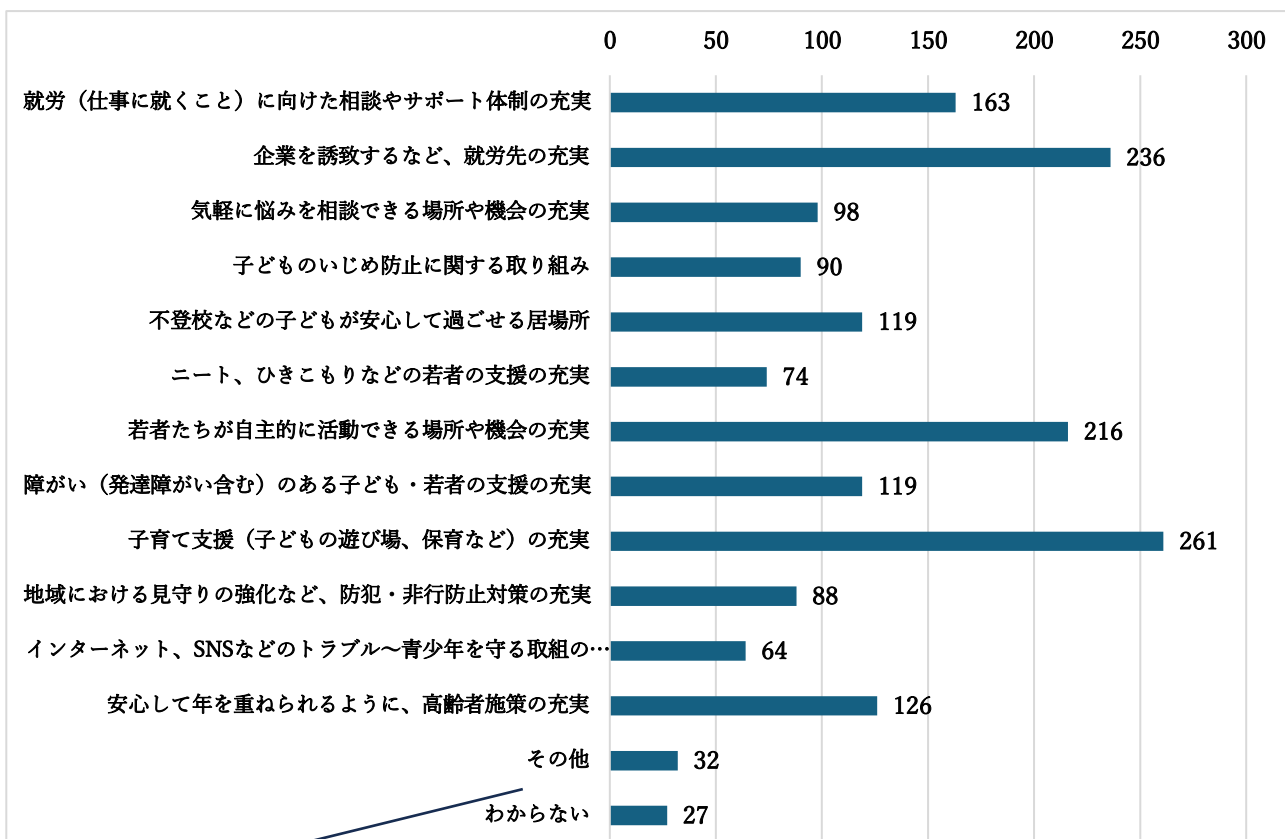
問35 あなたは、柏崎市が好きですか。



問36 国・県・市の取組に、自分の意見を反映させたいと思いますか。



問37 柏崎市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。（複数回答）



- ・お店が少なすぎる、潰れてばかり。 ・そもそも娯楽が無さ過ぎる。
- ・ネカフェや映画館など若者が遊べる場所を増やしてほしい。
- ・医学部生や研修医に奨学金を貸与して、柏崎で医師として働いてもらい医師を確保する。
- ・医療機関の充実 ・医療費無料化になると嬉しいです。
- ・教職員の業務量の改善、業務内容の検討(小学校しかわからないですが、19時半には仕事が終わりにきらず、毎週土曜日まで出勤する職員がかなりたくさんいます)。
- ・原発の安全性を高めること ・交通インフラの整備 ・公共交通機関（便の数）拡充
- ・郊外の子は図書館に行けないので、家庭環境が悪いと意欲があっても学習ができない。
- ・子育て支援より、まず結婚支援を打ち出したら良い。住居斡旋など若い人が定住する施策など
- ・若者が行ける場所を増やす。コストコや映画館、遊園地、喫茶店、サイゼリヤなど。柏崎はなんにも無いという声が多すぎる。遊び場を作る必要がある
- ・生活には不便はないが、余暇を楽しむ場所が少なすぎる。土地はあるのだから大型ショッピングモールやアウトレットパークなどの誘致をして、人が集まる街にして欲しい。
- ・地域全体の賃金向上に向けた支援の拡充 ・道路、歩道の保全
- ・柏崎市民が嫌い、悪い人を放っておかず、警察は捕まえて欲しい。警察にメールで相談しても意味ない。迷惑メールとか、身に覚えのない電話がかかってくる不安から、知っている電話番号以外から電話が来ると心配である。身近な人によるものではないかと思って、人間不信になる。
- ・遊ぶ場所がなさすぎる。友人とご飯を食べに行こうと思っても行ける場所がない。
- ・東京方面に行きやすい交通手段の増加を求めたい。
- ・安心して生活ができる環境が大切だと思う。安心して子育て、育児ができる体制を整備していかないとこれから先が不安。金銭面でもサポートしてもらえるシステムがあると良い。
- ・老若男女、生活に苦しむ人、障がいの有無に関係なくみんな平等に向き合ってほしい。
- ・子ども・若者が育っても大人になり出て行ってしまう。大学進学で戻ってこない人がほとんど。若者が戻ってきたいと思う遊び場、企業の誘致を早急にしないと人口減少に歯止めがきかなくなる。
- ・昔と比べると遊ぶ場所や公園、お店等が減ったと感じる。高齢化が進む中、車を手放す方も増えると思う。電車やバス、タクシーが身近にあればよいと思う。特に冬の期間が心配。家の雪下ろし等手伝ってくれるボランティアがあればよい（既にあつたらすみません）。
- ・できるなら全部をして頂きたいです。「高齢者施策の充実」はもう十分なのでは？
- ・楽しいイベントを企画してほしい。モールのような所があるといいと思います。
- ・障害を持つ子供・若者の親（高齢介助者）の心身の安定がとれる場所・医療的には病気予防・ワクチンの費用助成（年齢関係なく）。例えばコロナ、インフル、带状疱疹など65才以上からは納得がいけないです。障害児・者を介助毎日同居でしている人のワクチン費用はせめて高齢者対応と同じにしてほしいと思います。

問38 柏崎市に求めること・期待することなど（自由記載）

「子どもの遊び場」に関する記載

- ・赤ちゃんが土日遊ぶ広場が少ない。公園の遊具は3歳以上がほとんどで、それ以下の赤ちゃんの遊具をもう少し増やして欲しい（1箇所でもいいので）。
- ・休日に複数の親子が無料で過ごせる場所がもう1箇所くらいほしい。キッズマジックはとてもありがたいが、感染症が不安でなかなか利用できない。
- ・キッズマジックは広くはなりましたが、遊具が小さく幼児向けだと思います。思い切ってフロンジェ全体を子どもの遊び場にするとよいのではないのでしょうか。柏崎はすべてが中途半端な印象です。
- ・キッズマジックが新しくなってとても良かったと思います。休日の混雑状況など改善策を考えて欲しいです。
- ・雨天時冬期間の子どもの遊び場が少ない。キッズマジックだけでは不十分。キッズマジックは設備的に幼児向け、キャパも小さい。
- ・高齢化が進み老人ホーム等多くなってきていて、子供が遊べるような場所や安心して子供を預けられる場所が少ないと思います。
- ・子どもが安全に、楽しく遊べる施設が少なすぎる。
- ・子どもの遊び場の整備をお願いします。
- ・子どもや若者の遊び場が圧倒的に少ないと感じます。
- ・子供時代に、お店や遊び場・遊具のラインナップがしっかりある公園がどんどん減っていったので「遊びに行くといえばまずは長岡にいく」が前提となってしまった上に、子供だけで電車やバスを使って遠出することは保護者から止められることが多かったので休日に友人とどこかへお出掛けするといったことができなかった、遊ぶといえばゲームになってしまった、という印象があります。イベントなどの限られた期間の娯楽ではなく、子供達が行動できる範囲内に楽しいと思える遊び空間やお店が常にあるととても嬉しかったのに、と今でも強く思っています。
- ・子供が遊べる室内遊び施設をもっと増やしてほしい。公園に遊具を置いてほしい。子供が楽しめる場所が全然ないと思うので作ってほしい。
- ・子供が遊びやすいよう、公園など増やして欲しい。家の周りで親がついて見ているのに、危ないからと警察を呼ばれたので遊び場がないと思う。
- ・公園でボールが使えないのはいかがでしょうか。子どもの遊びに制限をかけ過ぎると思います。
- ・冬にボール（サッカー・野球・テニス）などができる場所がほしい。
- ・公園をもっとほしいです。
- ・駅前公園にももう少し遊具を入れて欲しいです。
- ・子どもや若者の遊び場の充実を図って欲しいです。例えば、公園などの友人と遊ぶ際に行ける場所が増えて欲しいです。
- ・子供達が楽しめ、体験できるイベント等を増やして欲しいです。
- ・子どもが遊べる場所がほしい。
- ・子どもの遊び場（室内）がもう1件くらい出来たら嬉しいです。
- ・このようなアンケートの取組、とても感謝いたします。柏崎は自然がたくさんあり、決して悪いところではないと思います。言うのは簡単かと思いますが、もっと海や山を売りにし、子供たちが遊べる施設がもう少しあると、少子化も改善されるかな、と思います。県外、市外からも人が移住したいと思われる様な柏崎を期待します。
- ・公園が充実すれば、外で遊ぶ機会が増えて、子どもや大人にとっても良いと思います。
- ・子どもたちが安心して遊べる場所を増やしてほしい。
- ・外で遊べる施設・公園の充実化
- ・こどもの遊ぶ場所が少ない。

- ・室内での遊び場が増えれば、運動不足の小中学生が減ると思う。
- ・遊び場が欲しいです！若者が少ないのもっと子どもが過ごしやすい街づくりをして少子高齢化を防いでいくべきだと思います！
- ・遊具等が充実した公園はいくつかあるが、人が多い日が多く子供をめいっぱい遊ばせることが出来ない時がある。
- ・発達障害の子を育てていますが待つことができず癇癪を起こしやすいです。平日に空いているだろうとキッズマジック行った際少し待たされることがありました。子が待つことができればいいのですが難しくパニックになってしまいました。そこで手帳持ちならスムーズに入れたり、スマホ等で混雑状況がわかったりすると嬉しいなと思いました。

「学校」に関する記載

- ・どの学校も子供の数が減って来ているため、掃除が大変そう。トイレ掃除は業者委託にするなど工夫をしてほしい。
- ・学校の冷暖房整備。夏は暑いし、冬はとても寒い。市役所の人は冬に薄着だと思ったが、学校の子どもは冬に屋内でも上着を着て過ごしていた。
- ・子どもたちが学ぶ場所は安全で安心した場所にしてほしい。気温に左右されて勉強に集中できないこともあると思う。
- ・学校教育の充実（教員数を増やす等）
- ・専門学校、大学等の学校を増やしてほしい。

「交流/活動の場」に関する記載

- ・若者が無料で集まれる場所を増やしてほしい。
- ・関東から柏崎市に来たが都内のように若者が集まるような店などが無さすぎる。これではみんな上京してしまうのがわかる。高齢者向けのような街になっていると感じるので新潟市のような人が集まる施設を作って欲しい。
- ・柏崎で交流を深める目的でも、公共交通機関を盛んに整備し、柏崎市内で運動などを通じて交流の場を作るべき。
- ・人口が減少すれば市民の生活を高い水準で維持することが難しいため、若者が集う場所を充実させ、ずっと住みたいと感じさせる必要があると考える。
- ・高校卒業や就職で市外へ出ていく人がいる一方、大学を終えてリターンしてくる人や市外から転入してくる人もいます。そのような柏崎にいる若者がつながることができる（もしくは集うことができる）場があっても良いと思います。
- ・若者が無料で集まれる場所を増やしてほしい。
- ・若者たちが活動できる場をふやしてほしい。
- ・若者が活発に意見交換できる居場所があるとよい。
- ・自然は豊かであるし、街の人も優しいと思うが、多くの人と触れ合うことや、人混み等に慣れることもひとつの社会経験であると思うので、安心して過ごすことはもちろんであるが、もう少し人が集まるような工夫をして欲しい。
- ・出会いの場が必要。

「子育て支援/出産支援」に関する記載

- ・教育費はこのままお金をかけてほしい。
- ・もっと子育て支援が充実して安心して子どもを育てられる環境が整ってほしいです。
- ・今の時代、子育ての支援が必要な世帯が多いし、年齢も若くなっている。
- ・子育て支援が充実しているのであれば、そのことを高校生、大学生などの学生にも広めてほしい。
- ・仕事をしながら子育てができるような環境をもっと整えてほしい。
- ・子どもを持つ家庭への支援や補助が少なすぎる。改善に期待する。
- ・子どもの将来まで考えて、安心して子育てしていきたいと思っていますが、金銭的に余裕がありません。
- ・子育て支援を今よりもさらに手厚くサポートし柏崎市に住みたいと思える人がもっと増えることを願っている。
- ・子育て支援を充実させて、住みたいと思わせることが必要だと思います。少子高齢化が進んで学校の統合ばかりなので、金銭面や子育てしながら働きやすい環境などにもっと目を向けてほしいです。
- ・子育て世帯にゴミ袋が給付されているが 14L タイプでは小さすぎるため使用できず溜まっていく一方だ。個数が現状より少なくなったとしても 25L タイプを給付して頂いた方がより多くの世帯で余ることなく使用しやすいのではないかなと思う。
- ・子供がいる家庭に送られるゴミ袋 S サイズ、小さすぎて使わないので M にして欲しい。もらえるだけありがたいけど、おむつのゴミは沢山出るの。
- ・子供を産んだり、育てたりすることに関する支援は近くの市に比べれば頑張っていると思います。私は今年第二子を出産するのですが、第一子を育てている中で、受けられる支援お金の面など特に、気づいて申請しなければ貰えないもの、知っている人だけ得することなど多いなと感じます。難しい言葉で説明されることも多いです。もっともっと世の中、楽に簡単にわかりやすくなるといいなと願っています。あとは産科などの医療の充実を期待します。個人病院では産めず、大きい病院も他の地域では産科がなくなるのでは？というニュースが出るなど、近くで産めなくなるのかと不安になります。贅沢かもしれませんが、医療センターも古いので新しくなると、なおいいな！と思います。最近は、病院食も（産科は？）美味しいところが増え、選ぶ基準になっているので充実するといいなと思います！柏崎市の話ではないかもしれませんが！期待しています！！
- ・柏崎市で子育てがしたいと思えるような子育て制度とその周知が必要。
- ・子育て支援の充実が必要だと思います。
- ・子育て支援を充実させて、子育てに強い町＝柏崎市と、みんなが思えるような町にしたいと思います。
- ・子育て支援や出生率向上に向けた活動はやめて欲しい。それらは支持できない（生むだけ生んでまともに育てられず育児放棄や虐待が増え、苦しむ子どもが増えてしまうから）（また、国全体も衰退しており、焼け石に水にしか思えず、その点でも無意味に思うのもあるから）。
- ・子育てをする上で金銭的な支援がもっと増えたら嬉しいです。
- ・子どもの病院費用を 0 円にしてほしい。特に小さい子どもはよく風邪を引くので、毎回お金がかかるときつい人もあると思う。実際に 0 円の県もあるので柏崎市もそうして欲しい。
- ・一人親の家庭だと、子どもが熱を出すとその分仕事に行けず（病児保育はあるが子どもは熱を出すとママがいいと言い出すから預けるのはかわいそう）、会社の人から冷たい目で見られて働きづらくなり、仕事を辞める人もいると思うので、一人親向けの企業があると安心して働けるのではないかなと思います（すでにあつたらすみません）。
- ・高齢者には、オムツ券があるのに子育て世帯には配布されていない。スターチケットがあるとはいえ、子育てには優しくないと感じる。ゴミ袋も「小サイズ」だけでなく「中サイズ」も欲しい。（オムツだけで袋を満タンにすることはないため、他のゴミと一緒に入れると中サイズが

好ましい。)現状、4人暮らしでゴミを出すのは「中(M)サイズ」の袋を使用している。妊婦検診(初期)の検診も全額助成が必要。安定期過ぎてからでは遅い。柏崎保育園の玄関と駐車場の距離が長いため、路面上の整備。駐車場がアクアパークと一緒に?のため、送迎の親が車を停めるスペースがない時がある。最低限5~7台くらい保育園専用スペースを確保した方がよい。子供達の安全につながると思う(保育園は直接関係ないと思うが、柏崎市立といっている以上、改善していただきたい)。

- ・子育てしやすいように、経済的支援をしてほしい。
 - ・子育てしやすい環境、状況になれば、子どもを安心して産んで育てられると思います。共働きが当たり前のこと時代に有給が足りず、子育てと仕事の両立が本当に難しいです。有給(子育て世帯)を市で少し負担していただけるととても助かります。
 - ・自分は住民票が柏崎にあるだけで、県外の大学に進学しているが、卒業しても柏崎に戻りたいとはあまり思っていない。柏崎はもっと子育てしやすい街づくりに力を入れるべきだと思う。そうでなければ帰りたいとは思わない。
 - ・子育て支援のサポートを手厚くする(←少子化対策)
 - ・今後、安心して柏崎で子供を育てていけるよう、支援(経済や物資など)サポートを充実させてほしい。産みたい・育てたいとなっても育てていける環境がまだうすく感じる。その点を踏まえて子供をきちんと育てていけるのか不安。
 - ・子育てするのにお金が足りなすぎる。もっと給付金を増やしてほしい。
 - ・保育所(未満児)の受け入れ拡大。
 - ・子どもを産む人が増えるように、出産できる病院が増えたらいいなと思います。
 - ・病児保育は、親が仕事の時しか預けられない。子供が体調不良を起こすと、基本的に親にも感染するため、仕事じゃなくても病児保育で預かってもらい、親も少し安静に療養したい。
 - ・他県からの移住者ですが、柏崎市は子育て支援に力を入れていて素晴らしいと思います。
 - ・出産をするためには、長岡まで計画入院などをしなければならないと、先輩から聞いた。子供がほしいと思っても、出産できる環境ではないかと思う。そもそも夫婦ともに両親が他県で、保育園に入園できるか。
 - ・産科が少ない。不妊治療がしづらい。
 - ・子育て支援を充実させてほしいと考えています。
 - ・妊娠(不妊治療)・出産・子育て支援を充実させてほしい。
 - ・柏崎市で結婚し、子どもを産み育てたいと思えるような施策を展開してほしい。
 - ・若い方たちが、「柏崎にすみたい」と思ってもらえる地域作りをよろしくお願いします。子育て世代の大変さをもっと理解して頂きたいです。
- (※再掲)・若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート(職場待遇改善)が必要だと感じます。

「仕事/就労」に関する記載

- ・人手不足の状況に対して正社員の求人が少ないと感じます。人が市外へ流出することを防ぐためにも雇用の場を増やしてもらいたいです。
- ・この度は若者をターゲットにしたアンケートありがとうございます。期待することですが、若者の就職・転職のきっかけとなる手厚いサポートを期待したいです。柏崎市の企業さんと連携をした企業説明会などを期待したいです。
- ・若者が働きやすい職場が増えることを期待しています。
- ・高校で、柏崎にある就職先の紹介や職業体験の機会（またはチラシなどでの周知）がもう少し欲しいと感じた。学生時代は地域のことで目がいかなかったのが最初から柏崎には就職先がないと諦めている友人が多く、高校の友人はほとんどが進学先の新潟市や関東でそのまま就職している。進学後にまた柏崎に戻ってきたいと思ってもらうためには就職や子育てなど若者に対する支援が充実していることを特に学生に広めてほしいと個人的には感じている。
- ・雇用の場を創出するために、シャッター街といった空き店舗や空き家を利用し、県外企業を誘致するなど、柏崎に住む魅力をより増やすことが大切だと思います。
- ・女性が、子どもがいることを理由に企業から採用してもらえず、仕事につけない実態について、検討願いたい。
- ・企業、就労先の選択が沢山あることが重要。
- ・休日が充分にとれない以上、家庭はもてません。市がどうにかできることではないと思いますが…。
- ・自分は大学を卒業して柏崎に帰ってきましたが、高校卒業を機に柏崎から離れる人も多く、大学卒業後に戻る人が僅かなことは、少し悲しい。言うことは簡単ですが、大卒や若い人材を惹きつける IT 等の企業の誘致、地場の企業の給料等待遇の改善を通して U・I ターンの促進を目指すべきかと思います。それが結果的に若者人口の維持だけでなく、市の持続的な発展につながり、より過ごしやすい柏崎になると思います。
- ・現代は、少子高齢化に進展しているので、高校を卒業する若者達が柏崎市で就職できるよう就職先が充実すると良いと思います。
- ・誰もが安心して働けるようにしてほしい。
- ・行政は、子ども・若者が安心して育ち、過ごせる柏崎市にしたいという事の基本的な事を全く認識していないといつも強く思っている。なぜ子どもが柏崎を出ていくのか、なぜ子供を産みたくないのか、こんな事がどうして分からないのか。どんなに良い子に育っても、どんなに子育てが充実していても、柏崎にいいと思わない。答えは簡単だ！！勤めようとする会社がない、大企業と言われる企業が全て撤退。この事の要因を考えないでこんなアンケートを行っても無意味！！勤めたいと思う企業、遊びたい場所、好きな買い物ができる。この充実こそが柏崎に求める全てと言っても過言ではない。なぜ大企業（魅力ある企業）が撤退したのか、もう一度皆で考えてほしい。
- ・もっと柏崎市に若者が残るように、大学卒業後に戻ってきてもらえるように、工場などだけではなく若者にも人気のありそうな会社も作ってほしい。色々なお仕事があることをもっと SNS などを使ってアピールしてほしい。
- ・柏崎独自の企業説明会をするなど、もっと柏崎にいる若者が、転職などで就職できる企業などを知れる機会が欲しい。大々的に広告を行ってもらわないと分からない。
- ・就職先を充実させて欲しい。
- ・柏崎に若者を増やしたいなら仕事を探しやすくすることです。私自身地元は神奈川で I ターン就職です。妻の実家が柏崎なので柏崎に住んでいます。その際に仕事探しにとっても苦労しました。そして柏崎では条件のいい就職先は見つからず長岡まで働きにでています。
- ・柏崎は給料が安い。やりがいがない。頑張ってもお金が安いならモチベーションも上がらない。
- ・働く場所が少なく、給与も少ないため、柏崎から出て行ってしまいう人が多いので、働く場所が増えてほしい。

- ・子どもに関わる職員の人員増及び賃金増。
- (※再掲) ・子育てしながら働きやすい環境などにもっと目を向けてほしいです。
- (※再掲) ・関東圏と同様の利便性(交通、遊び場、就職先の充実など)がほしいです。
- (※再掲) ・若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート(職場待遇改善)が必要だと感じます。

「商業施設/娯楽施設(若者の遊び)」に関する記載

- ・若い世代や子育て世帯が休日に出かける場所が限られているので、シネコンやショッピングモールなどを誘致していただけたら嬉しいです。
- ・大型の商業施設を増やしてほしい。
- ・日帰り温泉施設がほしい。
- ・老若男女問わずに楽しめる映画館付きのショッピングモールがほしい。
- ・アウトドア系ショップがあるとよい。
- ・お店やサロンの割引、クーポンを増やして欲しい。
- ・リバーサイド千秋やイオンモールのような複合施設、温泉施設などあれば年齢問わず人が寄り、すごしやすい。楽しめる場が増えると思います
- ・キッズマジックを新しくしたので、大勢の家族が集まるフオンジェ、その周辺をもっと有効活用して家族連れ(特に1~3歳の子供がいる)が遊んだり食べたりできるといいです。市外、県外から柏崎に遊びにきてくれた時、私たちはどこを案内したらいいかわかりません。今は友達を呼びたいとは思えません。
- ・柏崎から転居した友人(長岡在住)が、「キッズマジックに行っても他に行くところがないから行けない」と言っていました。
- ・店(飲食、遊ぶところ、買い物など)を増やしてほしい。
- ・映画観や美術館が欲しいです。
- ・学生が遊べるようなショッピングモールが欲しい。
- ・学生が遊べる場所を提供してほしい。
- ・休みの日に遊びに行くお店がなく、結局長岡や新潟まで行くことになっている(衣食住の服すらまともに買う場所がない)。
- ・娯楽施設が少なすぎると思います。周りの友人達も口を揃えて言っていますし、それが原因で離れていった友人も多いです。普通に暮らす分には不便なことはありませんが、やはり娯楽施設は増やしてほしいと思います。
- ・公園は充実しているが、それ以外の商業施設などが少ないと感じる。若者がもっと柏崎で楽しめる場所があるとほかの市町村まで行かなくてもいいのと思う。
- ・今後の柏崎市には、人口流失や過疎化を防ぐために政策を講じる必要があると思います。コストコやIKEAなど大型ショッピングモールを誘致し、市内だけでなく市外からも買い物客を呼び寄せる・柏崎に訪れる魅力を作る必要がある。
- ・若者の遊び場の整備をお願いします。
- ・子どもも大人もの遊べる大型商業施設を増やして欲しいです。柏崎にはあまりないので市外(長岡、上越、新潟)に出向いているのが現状です。
- ・大きいショッピングモールと海の近くに遊べる場所があるとよい。
- ・本町あたりにスーパーを作って欲しいです。
- ・若者が遊べるような施設を作って欲しいです。
- ・便利なショッピングモール、ジャスコみたいな所が欲しい。
- ・子ども・若者に限らず、多くの人が遊べる場所(テーマパーク等)を作ってほしいです。
- ・特筆すべきものが無いし、遊べる場所が少ないように感じます。若者の流失が激しいように感

じるので対策すべきだと思います。

- ・野外で遊べる場所、大型のショッピングモール、複合型施設の誘致が必要。
- ・店が少ない。潰れていくだけで、長岡市との差が広がっている。買い物する場所も少ないし、8号沿いしか店がない。
- ・買い物をする時、市外へ行く人が多く、柏崎市でお金を使う人が減っている。ショッピングエリア内の店舗の充実と柏崎市にどのようなお店があったら良いのか市民の声を聞いて、他の市からも訪れて貰える町づくりが必要。
- ・商業施設や娯楽の充実。
- ・映画館、ショッピングモールを作って欲しい。
- ・欲しい物(文具)を購入するために市内のお店を3件まわったが、結局なくてネットで買うことになりました。ささいなことですが、そういった事があると柏崎では用が足せなくて、最初から長岡や新潟へ行ってしまい悪循環だと思ってしまいます。
- ・ショッピング等、楽しめる店、商業施設が少ないため、長岡市、新潟市に外出することが多い。柏崎市にも同様の施設が欲しい。
- ・柏崎市は他の市に比べ娯楽施設が少なく、駅の近くがあまり賑やかではありません。土地などの問題もありますが映画館や大型スーパー、マンションなどが今の柏崎市には必要だと感じました。
- ・柏崎市街地に、とは言わないが長岡市に行くよりも近い距離にある程度のものが揃っているショッピングモールがあると生活がかなり充実すると思う。子連れでの買い物で複数のお店に行く場合チャイルドシートへの乗せ降ろし→抱っこ紐着脱(orベビーカー乗せ降ろし)の繰り返しで苦労しています。そのため、一日に複数の用事を済ますことができない日も多く1箇所に100均や薬局、スーパー、ファミレス、衣料品などが揃えられる場所があるといいなと常日頃思っています。
- ・柏崎市内で、若者が集う場所(遊び場)ってあるのでしょうか…？
- ・子ども、若者が遊べる施設が少なすぎる。キッズマジックを拡大したことは良いと思うが、フォンジェ内の施設が何もない為、とてもつまらない。フードコートやアカチャンホンポ、ゲームセンター等を入れると良いと思う。学校が密接している地区なのに、フォンジェ内にお年寄りかたむろして、朝イチで野菜を売っている状況を変えて欲しい。若者と子供の区域にして欲しい。駅前の廃れた商店街を全て変えて、柏崎を元気のある街にしてほしい。(全て屋台飲み屋にするとか…。)このつまらない柏崎を変えないと未来はないと思う。ありえないくらいの改革を絶対してください!!!
- ・長岡はリバーサイド千秋、上越はイオンモール、間の柏崎には何も無くデカイショッピングモールが存在しないから、買い物は隣市まで車で行くので柏崎にも欲しい!
- ・フォンジェの周辺にあった、マクドナルドや中にあった書店とかスーパーを復活させてほしい。
- ・大型の商業施設がほしい、上京しても帰ってきたくなくなるような町づくりをしてほしい。
- ・商業施設の充実、やる気のあるお店への支援(やる気のない既存商店街は淘汰されて当然と考える)。
- ・商業施設を誘致し、若者が集まりやすい街になってほしい。
- ・若者、特に大学生が大学以外に気軽に行けるような場所が少なく、柏崎市以外のところへ行ってしまう。
- ・若者にとっては遊び場が少ないのでラウンドワンやショッピングモールなど柏崎にできれば嬉しいと思います。
- ・道の駅建設の実現。
- ・市内に友達とあそべる場所が少ない。
- ・子供向けには、キッズマジックや元気館など、楽しく過ごせる場所がありますが、若者(高校〜20代)には遊ぶ場所がない(少ない)。
- ・飲食店を増やしてほしいです。
- ・家族や友人が柏崎に遊びに来たいと言ってくれているのに、行く場所がありません。関東圏と

同様の利便性（交通、遊び場、就職先の充実など）がほしいです。せめて長岡や上越と同じくらい街がにぎわってほしいなと切に願います。

- ・薬局が多いのでイオンや映画館、リバセンのような店がほしい。
 - ・コメダ珈琲、マツモトキヨシもあった方が良くと思う。
 - ・ショッピングモールを作って、若者を含め多くの人がショッピングを楽しめる場所を作って欲しい。
 - ・柏崎の自然を生かした遊歩道など景観を楽しめる場所がもっとあると嬉しい。
 - ・若者が安心して集まれる場所（ショッピングモールや飲食店）がほしい。現在遊びや買い物の際にはほとんど出かけているので大変。Iターン移住者にとって利用しやすい施設を期待している。
 - ・駅前を中心に市街地がさびれている。企業誘致などを積極的に行い、一生住める街作りをしてほしい。
 - ・ショッピングを楽しめない。服屋さんが全くなくて、結局、市外に行くことが多い。
 - ・活気がある街になってほしい。柏崎から引っ越す若者が多いため、都会に出た後も戻りたくなるようになってほしい。観光地、ショッピングセンター等作ると魅力的になると思う。
 - ・昔に比べ若者が遊びに行くような施設が減っていて柏崎の施設で遊ぶ若者が少なくなった様な気がします。
 - ・もっと観光スポットや若者が遊べる場所を増やしてほしい。柏崎で遊べる場所やショッピングできるところを増やしてほしい。駅前のシャッター街を活性化させてほしい。
 - ・柏崎市にイオンなどの誰もが通えるショッピングモールを作ってほしい。
 - ・隣接する市町村に比べ、柏崎市は若者の遊ぶ場所とショッピングセンターが少ないと感じます。
 - ・若者が過ごしやすい環境や様々な人が楽しめる大型商業施設作りなどをしてほしいです。
 - ・若者が集まれる場所が少ないと思うので遊び場や飲食店を増やして欲しいです。
 - ・若者が遊べる場所をもっと増やして欲しい。その為、若者が柏崎市を離れる要因の1つだと思う。
 - ・カフェや映画館など、交流やリフレッシュの場を増やすことで、若者の暮らしに活気を与えられると思う。
 - ・道の駅の件は非常に残念でした。フィッシャーズが閉まっているのも残念です。
 - ・道の駅や商業施設の充実。
 - ・何よりも柏崎の周りの市（長岡市をはじめとして上越市も十日町市も小千谷市も南魚沼市も）には全てイオンがあるのに柏崎にはないことが納得いかないです。ブルボンに関しても駅前に社屋があるわけなのでカフェが駅などにあるならば知名度も上がるし盛り上がりそうだと思います。この通り是非よろしくお願いします。
- （※再掲）・勤めたいと思う企業、遊びたい場所、好きな買い物ができる。この充実こそが柏崎に求める全てと言っても過言ではない。

観光/イベント

- ・柏崎市は海の街なのでもっと、イベントや観光に力を入れて、お金を動かして街を活性化させてほしいです。
- ・海のまちなので海をもっと活用して（イベント施設を使ってあつまれる場所にしてほしい。
- ・たる仁和賀をもっと盛り上げてほしい。
- ・イベントを増やしてほしい。
- ・若者や子供が楽しめるような施設やイベントをたくさん作って欲しいです！
- ・人が少ないので町おこしのようなことをして経済を回してほしい。例えば、南魚沼のまじ井みたいなのを柏崎でもしたらいいと思う。

「お金/経済的支援」に関する記載

- ・アパートの家賃補助
- ・給与の手取りが少なくほとんど貯金できない(ローンを組んでも返済できない)為、車や家を買う余裕が無いので経済的な支援を検討して欲しいです。
- ・減税
- ・何かを充実させるというよりも、ここに住んでいたらお金がかからないよね、と思いたい。「税金少なくて助かるよね」「子供産んでもお金使わないね」「無料でこんなことしてくれるんだね」と思える事をしてほしい。何かを与えるために税金を使わないで、市民の手元のお金が減らないようにして、人生の安心感を得るために税金を使ってほしい。
- ・若者への経済的支援を期待する。
- ・経済面でとても助けられています(助成金等)。他市から来ましたが、来てよかったと思います。いつもありがとうございます。
- ・原発やブルボンなど大手の会社があり、税収がうるおっているにもかかわらず、市民に還元されておらず、住民税や電気代、水道代、ガス代などが高すぎる。給料は安いまま上がらない。
- ・若者は物価高や給与が安い事もあり、子どもを授かっても、今の状況では育てられないと思う。地域商品券とかあれば、少しは生活が楽になると思う。

住宅関係

- ・安価で質の高い住宅の整備が重要である。
- ・支払い易い家賃の住宅を増やして欲しい。
- ・柏崎は一人暮らしをするには家賃の相場が高く単身用のアパートが少ないため、そのうち一人暮らしするとしたら柏崎からは出ていくと思います。妙に安い怪しいアパートを選べば住めるとは思いますが、女の一人暮らしでは危険すぎるため現実的では無いです。単身者用のアパートがもう少し増えたらいいのにと考えています。

「情報発信」に関する記載

- ・おすすめのレストランやサロン、新しいお店などを SNS やホームページで発信して欲しい。
- ・観光地のアピールが必要。
- ・SNS で話題になるような観光スポットなどを発信する。
- ・高齢者や、小さい子供への支援は様々あると思うが、20 代くらいへの支援が少ないと感じる。奨学金の支援もやっているが、やっているという情報が出回っていないように感じる。こういう支援をやっていますということを分かりやすく伝えるべきだと思う。
- ・若い世代が自分で調べ、他の自治体と比較できるよう、わかりやすい情報発信をしてほしい。
(※再掲)・子育て支援が充実しているのであれば、そのことを高校生、大学生などの学生にも広めてほしい。
(※再掲)・柏崎市で子育てがしたいと思えるような子育て制度とその周知が必要。

「交通インフラ」に関する記載

- ・公共交通機関の充実。
 - ・休日にバスが1本もないのでどこにも行けません。
 - ・見通しの良い道路を作って欲しい。夜間の運転のしやすさを充実して欲しい。
 - ・市街地の郊外に住んでいる子どもが移動手段で非常に不便しています。財政的に厳しいかと思いますが、電車やバスの本数を増やしてほしいです。
 - ・新規にお店（給料の少ない）を建設するのは、現実的ではないので、若い人が出掛けやすいような、交通機関の補助などがあるとありがたい。
 - ・通勤に使っていたバスがなくなった為、歩きか自転車で通わなければならない。あいくるさえ使えない。
 - ・夜のタクシーを増やしてほしい。
 - ・新幹線の最寄りが長岡・上越妙高と少し遠いので、1本で東京へ行けるようにしてほしい。
 - ・交通機関も充実しておらず、車がないと何もできないという現状がある。
 - ・交通の利便性やWi-Fi環境など、移動や仕事をしやすいインフラの整備も重要視すべきである。
 - ・公共交通機関を充実させて欲しい。
 - ・バス・電車の時間を増やして欲しい
- （※再掲）・柏崎で交流を深める目的でも、公共交通機関を盛んに整備し、柏崎市内で運動などを通じて交流の場を作るべき。
- （※再掲）・関東圏と同様の利便性（交通、遊び場、就職先の充実など）がほしいです。

「障がい支援等」に関する記載

- ・（母親から）重度身体障害者（車いす生活の人対象）の入所施設を柏崎市として新しく1つ、近い将来作ってもらえたら本当にありがたい。1人1人の障害や特性は異なりますが、現在の新潟病院・長岡療育園が我が子の場合は選択肢なのですが、現時点では、満床、足りない、待ちの状態だと思います。できれば柏崎に入所させたい。
- ・障がい者の働く場所（会社）を多くしてもらいたい。
- ・障がい者雇用の充実化。
- ・障害者雇用をもっと推進して欲しい。ハローワークのインターネットサービスにて障害者雇用枠で検索するとたった数件しか出て来ない。通勤しての就職が人によっては不可能なのでそのあたりをどうか改善して欲しい。
- ・小中学校で、発達支援教室に通っていました。学校での授業のサポートはありましたが、医療機関との連携がなく残念でした。
- ・私は障がい者なのですが、人と関わる点で困って生きづらくなってしまうことがあるので、困っている人同士が集まれるコミュニティをもうけてほしいです。
- ・身体的、精神的に支援が必要な方たちに向けての市民のみなさまの視線や対応等、良くない目を向けてくることも見受けられます。環境が良くなっても市民全体、ひとりひとりが受け入れ方を改善していかないと何も変わらないと思っています。

「原子力発電」に関する記載

- ・ 原発に頼らずとも持続的な収入源があるといい。
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働。
- ・ 原発稼働に関する決定に、市民の意見をもっと取り入れてほしい。
- ・ 原発に関しては、柏崎市に限らず日本全体で管理・運用ができる資質はないと思うので廃止の方向へ進んでほしい。
- ・ 刈羽原発の永久停止、有事の際の被害が想定される範囲内住居者への手当等。
- ・ 就職とともに新潟県へ移住し結婚しました。まず思うところは、原子力発電所の安全性についてです。再稼働したとして、事故が起きたときに守ってもらえるのでしょうか。また事故が起きないようにチェック体制が整っているのでしょうか。正直、私は原発が再稼働をしたら県外へ移住しようと考えています。本当に安全が確保されるのか、有事の際の対策は万全か今一度検討していただきたいです。

「治安/犯罪/道徳」に関する記載

- ・ 柏崎市に住んで1か月しかたっていないのであまり求めることなどは思い浮かばないが交通安全のため、みまわりをなるべくしてほしいです。
 - ・ 柏崎市では、特殊詐欺被害が多発している為各家庭が騙されない様に意識を高めて欲しい。子ども・若者が誰にでも親切に出来る関係を作って欲しい。
 - ・ 道路にゴミが落ちていない、みなが交通ルールを守る、地域活動を企画して住民のつながりをつくる、空き家をなくす、街灯を増やす。
 - ・ 通報しやすい環境を整えてほしい。総合体育館の利用料金を支払う際、身分証明書等で、高校生か、中学生かをわかるように提示してほしい。公共の場で人の嫌味を言うと、周囲にいる人が不愉快であるなど、道徳をしっかりとしてほしい。柏崎市民に対してだけでも人間不信、恐怖心をなくしたい。私が住む家に対して嫌がらせをしないでほしい。
 - ・ 年々、整備された公園が増え小さな子ども達が遊びやすい環境が構築されていると感じます。ありがとうございます。ですが、明るい街灯が少なく、暗くなってくると危ないなと思う場面もあります。一気に増やすことは出来ないと思いますので、通学路など子どもの通行が多い箇所を中心に改善していくのはどうでしょうか？
 - ・ ポイ捨てゴミ・タバコがある、誰かが嫌がる行為が形を変えて状態化するのをみて、安心して暮らせると思うだろうか。柏崎市で生まれ育ったなら、学校に通っていた頃には厳しく指導されていたと思うが、大人になって日本全国的な報道ニュースでも流れそうな真似をしているのだろうか。夜、うるさいバイクは走っているし。
- (※再掲) ・ 見守り体制などが充実することを願っています。

「その他：感想/要望」記載

- ・とにかく男尊女卑な体制があればしっかり改善して欲しい。しかし子育て世帯ばかりを甘やかせばいいわけではなく、女性が単身でも安心して暮らせる社会を目指して欲しい。
- ・金銭的支援は感じていますが環境が悪いから離れる人が多い。若者が生きやすい環境を作って欲しい。
- ・虫が出てくるので虫が嫌がる対策をして欲しい。森林伐採や壁の作成など。
- ・かしわざきの食育5箇条の歌が早口で子どもに伝わらないと思うので、改善してほしい。
- ・除雪をしっかりとやってもらいたい。
- ・新発田市がももクロを招致したように、人を呼び込み、地域でお金を使ってもらえるような取組があると、若者が地元のよさを再確認する機会になるのではないかな。
- ・行政のみならず民間の力を借りて、幅広い視点で施策立案、実行して欲しい。
- ・考える事、思う事は、正直誰でも出来る事だと思う。市の代表として市民に選ばれた方々には、行動で示してもらいたい。正直国も同様に当選するまでは、綺麗事を並べ当選してからは、税金が…など言い訳が多い。そんな事は当選前の下準備時点でいくらかでも考えられた事。昔の日本は、税率が少ないのに普通に国民は、生活できた。税率が8.10%と上がっているこの時代で何故少子高齢化、物価の高騰、ガソリンの補助の値下げ等が起きるのがよく分からない。そんな国自体に不安を抱えているのは、自分だけではないと思います。それを踏まえて、柏崎市ではこれを行っています！と自信を持って言える行動・施策を頑張ってもらいたい。市に人が増えれば必然的に経済も良い方へ進んで行きます。それに伴うリスクもあると思いますが、リスクを恐れずに強気の姿勢で何事も取り組んでももらいたいと期待しています。よろしくお願いします！
- ・老人ばかり増えていき、このままではまずいと危機感を感じています。柏崎が好きなのに、このままでは結婚して子供ができた時には柏崎では不安で他の市に行きそうです。若者に優しい街づくりを期待しています。
- ・イベントの開催→県外からの集客、商業施設の有地→空地・空きテナントの増加、商店街の活性化→シャッター街増加、空き家問題→景観の改善、高齢者のためのスーパー（薬局以外）
- ・柏崎市に住み続けたいと思えるような柏崎ならではの魅力がほしい。
- ・安心して長く住んでいたいと思える町づくり。
- ・「子ども、若者が安心して育ち過ごす」という事は、その親を支えるための仕事を市がしてほしい。高齢者も、若者も、は無理だと分かった方がいい。正直、高齢者にはもう少しガマンして頂く必要がある。これからの世代に重点を置くべきだと思う。
- ・病院への支援だけでなく、医師への支援・看護師など医療専門職への支援を拡充してほしい
- ・柏崎市に住む一人一人を大事にしてほしい。
- ・柏崎市が教育面でも経済面でもさらに発展することを期待します。施設を改善し、地域社会が社会でより活発になるように組織化します。
- ・町内の海岸掃除などボランティアでやっている所を市が進んでやってほしい
- ・私は幼い頃から家族とうまくいかず、学校でも上手く居場所を作れませんでした。その中でも、ある方からカウンセリングをしてもらったり、居場所として学びの場に参加することで、自分に自信を持ち、自分を少し好きになることができました。家庭に、学校に居場所がない、自分なんて…と思っている人はたくさんいると思います。そんな子たちにぜひ、自分を少しでも好きになって欲しいと思います。今も相談することが多く、日々学び続けています。もし可能であれば、その方の力を使いながら、子どもたちに明るい未来があるということを伝えてほしいなと思います。
- ・子どもがいる家庭ばかりの支援ではなく、若者への支援も増やしてほしい。
- ・老若男女過ごしやすい環境を整えてほしいと思います。インフラやレジャー施設、見守り体制などが充実することを願っています。
- ・フォンジェ内のコツコツ貯金体操はさっさと別の場所にすべき。

- ・西山に子どもが勉強できるスペースや塾を作ってほしい。
- ・私は保育の仕事をしていますが、柏崎、のんびりと子供と歩ける場所が少ないと思います。昔は交通公園、野外ステージがあったと聞いています。今は柏崎全体がなにか動きがバラバラという感じ。スジを通した柏崎がほしいです。皆で楽しめる、これぞ柏崎！！という場所（旧市役所のアト地）を。
- ・友人は揃って県外の大学に進学し、その後ほとんどの人が関東で就職し柏崎に帰ってくる見込みがありません。冬は風が強く、雪も降るこの街は、関東と比べると住みやすさという面では劣ってしまうのは仕方ないと思いますが、お店ができては閉店し、外国人はその店舗を廃品回収の拠点にしてしまうような街は若者が住みたいと思える街では無く、離れてしまうのも納得がいきます。若者が戻ってきたくるような、居場所を提供してほしいです。これからの企業の誘致に期待します。
- ・市自体が最新の技術に対して他県の水準よりも先進的な知見を持ち、今後の動きや発展にも活かせるようになってほしい。
- ・私は県外や市外で生活をしていた時期もありましたが、柏崎へ帰ってきました。仲間内で今現在柏崎にいるのは片手で数えるくらいしかいません。もっと柏崎へ帰ってきたいと思える街になったらいいと期待しています。
- ・次回以降、二次元バーコードの背景色を白にしてください。黒っぽい色だと端末やアプリの種類によっては読み取りにくく、簡単に読み取れない事で回答率が下がると思われます。
- ・若い世代が暮らしやすい環境。同級生とかは半数くらいが進学を機に県外に行ったままなので若い世代がまた戻ってきたいと思うような支援があって欲しい。
- ・若者としては自分達への支援もそうですが、将来の自分達が支援を受けられるかも見ています。目先にとらわれて高齢者支援をおざなりにすることの無いようにお願いいたします。
- ・地域にある小中高大が、連携したことも支援の体制作り。
- ・地方都市のモデルケース
- ・小さな子でも一人で行ける場所に安全な学習場所が必要。万が一の避難所にもなるような。
- ・いつも市民の暮らしを支えてくださり、ありがとうございます。子育て支援や公共施設の整備など、日々の生活の中で市の取り組みを実感する場面が多く、安心して暮らせる環境に感謝しています。特にこれからの地域を担う若い世代や子どもたちへの支援について、今後さらに力を入れていただけたら嬉しいです。教育、仕事、子育てなど、将来に希望が持てるような取り組みが広がっていくことを期待しています。限られた体制のなかでのご対応、本当にお疲れさまです。今後も市民と一緒に、よりよいまちづくりを進めていただければと思います。
- ・まず、そういった子供や若者に対する考えを持ち、こういったアンケートを実際に実施している点は大きな一歩であり、素晴らしい取り組みかと思います。
- ・そもそも若者が少ない。進学等で出て行ったきり帰ってこない。生活する分には不自由はないし、住み良い環境だと思うが、魅力がないから出て行ってしまうのだと思う。今の中学生、高校生からも、将来柏崎に住みたいと思わないという声がよく聞く。子どもが安心して育つ環境が作れても、子どもや若者がいなくては意味ないのでは？と思ってしまいます。日本全体の少子化が進んでいるので、どこの自治体も同じかもしれませんが。
- ・柏崎市に住みたいと思わせる魅力を作ること・住むメリットを作ること・それを発信することが今、必要だと思います。
- ・こどもの時代館跡地らへんに太陽光を敷設するべく調査に入るらしい。1年数カ月前の再整備計画では「遊びと学び、楽しみを創出するエリア」とか謳っていたと思うのだけど。いろいろ頓挫しているのもわかるけど、結論それ？電源立地地域で補助金もらえるから、それを活用すべくコンサルが絵を描き、太陽光敷設してってあまりにも市民にとってプラスのない流れ。売電して、利益はまちづくりにという話はいつ実行されるのかな？そんなに電源立地の補助金をまた使って（多分）、太陽光発電設備を作るべく調査をしなきゃいけないのか、意味不明なのだけど…コンサル以外誰が得するの？で、1年ちょい前の道の駅「風の丘米山」再整備基本設計中間報告とはなんだったの？誰か責任取らないのかな？夢がないシムシティだったらつまらんま

ちだよ。

- ・ Kashiwazaki is the best place
- ・ 高校入試の倍率も定員割れが多くなっており競争心が育たず、大学進学や就職してから周りとの差に苦しむ人が増えるのではないかと。このような暮らしにくさから若者の人口流出が進んでいくと思う。私は就職で市外から来た人間だが、ずっと柏崎にいる人は時間感覚がのんびりしているように感じている。
- ・ 結婚を機に柏崎市に来て楽しく過ごしているが、将来出産、育児を考えると不便さを感じてしまう。普段の買い物をはじめ、子どもの進学先や交通の便など、選択肢の多い場所への移住を考えている。
- ・ 行政に期待することはない。期待できるほどの成果があれば生活はもっと豊かだと思う。
- ・ 子どもに関する支援は本当に充実していると思います。公的施設も綺麗で充実しており、市役所の職員も柔軟に対応してくださるので、住みやすいです。この部分は今の状態を維持してくださると嬉しいです。
- ・ 市外や、県外へ流れる若者に休暇の帰省などのタイミングで「ここでも良いかな」という安心感を与えることができる場所になれば、若者は帰ってくるのではないかと思います。
- ・ 柏崎の消防職員が全国的に給与がたかいのはなぜ？
- ・ 若者が県外などに進学・就職をする選択もあると思います。柏崎市がもっと魅力的な町になって、残りたいと思えるようになると良いです。
- ・ 結婚を機に県外から移住してきた者です。移住者支援が都内在住や勤務者に限られていて残念でした。
- ・ 柏崎市は自然が多く魅力的な市だと思います。ただ、若年層が柏崎市にとどまらない、移住が少なくどこも働き手がいな印象を受けます。そのため、商業施設の運営が難しく、また従業員 1 人あたりの業務量が増えるといった状況があると思います。若年層が柏崎市で生活することを選択したくなるような学習、子育て支援、就業サポート（職場待遇改善）が必要だと感じます。
- ・ 大好きなこの町をそのままに。
- ・ 駅を降りて隣接するところに葬式をするところを置くのは観光に来た人からしてどう感じるだろう。
- ・ 卓上でしか考えることが出来ないのなら今のままでいいと思います。無駄金だけ使わんようにお願いします。
- ・ 柏崎の LINE で公園の遊具損傷を通報しました。直していただきありがとうございました。子供も安全に遊んでいます。と担当した人に伝えて欲しいです。

柏崎市こども・若者計画の体系【骨子案】

〔基本理念〕

すべてのこども・若者が尊重され、安心して住み続けたいと思えるまち・柏崎

〔基礎調査等から見える若者の意見抜粋〕

※基礎調査結果等から抜粋（6/18集計時点）

- ◆子ども・若者の交流の場・集える場がない（問 37・38 より）
- ◆子どもや若者の遊びや体験の場がない（日常生活以外の余暇的な買い物をするお店がない）（問 34-2・38 より）
- ◆学校や職場での人間関係の構築が難しい（問 24・34-3, 4 より）

- ◆仕事（企業）の選択肢が少ない（就職先の充実・誘致）（問 24・37・38 より）

- ◆若者がやりがいを持って働ける就職先・職場環境の整備（問 33・37 より）

- ◆若者の市外流出が止まらない（問 33・35・37・38 より）（柏崎市に住み続けたいと考える子ども・若者が少ない）

- ◆結婚・子育てに対するイメージの偏り（自分の時間がなくなる、育児への負担増・経済的不安）（問 12 より）

- ◆子育て支援（子どもの遊び場、保育など）の充実（問 37・38 より）

- ◆複合的な困難な課題を有する子ども・若者の増加（問 37 より）

- ◆情報発信力の不足（子ども・若者に情報が伝わらない）SNS 等の活用促進（問 27・34 の 6・37 より）

- ◆インターネット・SNS 等のトラブルがあった際に、相談に繋がりにくい（対応等の情報発信・啓発が必要）（問 25・27・28・37 より）

〔基本方針〕

基本方針 1

こども・若者の豊かな
人間力と社会を生き抜く力の育成

(1) 交流・活動の場の充実/居場所づくり（余暇の充実・交流の場の充実）

(2) 多様なこども・若者のチャレンジの促進

基本方針 2

こども・若者の夢や希望が
かなえられる環境づくり

(1) 若者の就労支援・働きやすい職場環境づくりの推進

(2) 結婚・子どもを産むことを希望する若者への支援

基本方針 3

困難を有するこども・
若者やその家族への支援

(1) 複合的な課題を有するこども・若者への重層的支援の充実（いじめ、不登校、貧困、ひきこもり、ヤングケアラー等）

(2) 非行・ネットトラブル等の予防・啓発

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
1	第5章1 P35～ 教育・保育給付	①施設型給付 幼稚園・認定こども園・保育園 【概要】 幼児期の学校教育と、保育の必要性のある子どもへの保育を、対象者に提供するサービスです。 施設型給付の対象事業は、認定こども園、幼稚園、認可保育所の教育・保育施設です。市から事業者に対して施設型給付費等を支給します。	【取組状況・予定】 ・施設型給付により、教育、保育の需要量を満たす。 ・保育園等の整備を行う（田尻保育園）。 ・公立保育園の民営化等に伴う社会福祉法人等との意見交換会を行う。 ※市全域及び中学校区毎の令和6（2024）年度の推計ニーズ量と入園児童数の比較は「別紙1」のとおり。	【取組状況】 ・教育区分（定員：525人） 令和6（2024）年 4月1日現在在園児数：195人 令和6（2024）年11月1日現在在園児数：225人（+30人） ・保育区分（定員：2,621人） 令和6（2024）年 4月1日現在在園児数：1,800人 令和6（2024）年11月1日現在在園児数：1,869人（+69人） ※別紙1参照「市全域の令和6（2024）年度の推計ニーズ量と入園児童数の比較」 ・市内私立保育園、認定こども園、幼稚園、小規模保育事業所に対して、委託費及び施設型給付費等を支給し、市内保育ニーズに対応できる職員体制を維持している。 ・保育園等の整備（予定） 田尻保育園改築工事監理業務委託 1,316万4,800円 田尻保育園改築工事 11億1,960万900円 田尻保育園職員駐車場・公園整備工事 8,965万円 田尻保育園太陽光発電設備設置工事 4,244万9,000円 ・公立保育園の民営化については、現時点において社会福祉法人等から具体的な申し出なし。	【実績】 ①園児数（令和7（2025）年3月1日現在） ・教育区分（定員：525人） 令和6（2024）年4月1日現在在園児数：195人 令和7（2025）年3月1日現在在園児数：214人（前年同期比+19人） ・保育区分（定員：2,621人） 令和6（2024）年4月1日現在在園児数：1,800人 令和7（2025）年3月1日現在在園児数：1,878人（前年同期比+78人） ※別紙1参照「市全域の令和6（2024）年度の推計ニーズ量と入園児童数の比較」 ②保育園等の整備 田尻保育園改築工事監理業務委託 1,316万4,800円 田尻保育園改築工事 11億1,960万900円 田尻保育園太陽光発電設備設置工事 4,268万2,200円 田尻保育園職員駐車場・公園整備工事 1億280万7,100円（工期延長により、繰越事業となったため、R7年度支払い） 【評価】 ・市内私立保育園、認定こども園、幼稚園に対して、委託費及び施設型給付費等を支給し、 <u>保育ニーズに対応できる職員体制を維持している</u> 。 ・田尻保育園の改築工事が完了し、新園舎での保育を開始した。 【次年度の取組】 ・様々な保育ニーズに対応できる <u>職員体制を維持</u> していく。 ・保育園等の整備を行う（旧中鯖石保育園解体）	A	保育課
2	第5章1 教育・保育給付	②地域型保育給付 小規模保育・家庭的保育・ 居宅訪問型保育・事業所内保育 【概要】 制度では、定員が19人以下の保育事業について、市による認可事業として実施することを認めています。 地域型保育給付の対象事業は、小規模保育事業（定員6～19人）、家庭的保育事業（定員5人以下）、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の4種類です。	【取組状況・予定】 ・対象の施設に地域型給付費を給付し、安定した運営を確保する。 ※市全域及び中学校区毎の令和5（2023）年度の推計ニーズ量と入園児童数の比較は「別紙1」のとおり。	【取組状況】令和6(2024)年11月末現在 定員:12人 令和6(2024)年 4月1日現在在園児童数:11人 令和6(2024)年11月1日現在在園児童数:12人(+1人)	【実績】 ・保育部分(定員:12人) 令和6(2024)年4月1日現在在園児童数:12人 令和7(2025)年3月1日現在在園児童数:12人 【評価】 ・小規模保育事業により、働きながら安心して <u>子育てできる環境を確保</u> することができた。 【次年度の取組】 ・対象の施設に地域型給付費を給付し、 <u>安定した運営を確保</u> する。	A	保育課
3	第5章2 P64～ 地域子ども・子育て支援事業	(1)一時預かり事業 【概要】 保護者の出産、病気、冠婚葬祭、習い事、ショッピング、美容院などのほか、リフレッシュ（保護者の育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消）のために一時的に子どもを預かります。	【取組状況・予定】 ・公立6園、私立6園で実施する。	【取組状況】令和6(2024)年11月末現在 ・公立6園、私立6園で実施 ・11月末現在の利用実績 延べ892人(前年同期比 △175)	【実績】 ・公立6園、私立6園で実施(うち私立2園は自主事業) ・利用実績 令和6(2024)年3月末現在:延べ1,690人 令和7(2025)年3月末現在:延べ1,391人(前年同期比 △299人) 【評価】 ・計12園で実施することで、 <u>保護者の需要を満たす</u> ことができた。 【次年度の取組】 ・引き続き、公立6園、私立6園(うち私立2園は自主事業)で実施する。	A	保育課
4	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(2)延長保育事業 【概要】 保育園で、通常の保育時間（保育所によって異なる）を超えて子どもを預かります。	【取組状況・予定】 ・保育時間（標準時間保育：11時間、短時間保育：8時間）を超えて、公立13園、私立13園で保育を実施。	【取組状況】令和6(2024)年11月末現在 ・保育時間（標準時間保育:11時間、短時間保育:8時間）を超えて、公立13園、私立13園で保育を実施。 ・11月末現在の利用実績 延べ2,480人(前年同期比 △527人)	【実績】 標準時間の11時間を超えて、公立3園、私立10園で保育を実施。 ・利用実績 令和6(2024)年3月末現在:延べ4,309人 令和7(2025)年3月末現在:延べ3,545人(前年同期比 △764人) 【評価】 ・保護者が <u>就労しやすい環境を整えた</u> 。 ・園児数の減少が延長保育利用実績17.7%減の要因である。 【次年度の取組】 ・引き続き保育時間（標準時間保育:11時間、短時間保育:8時間）を超えて、公立13園、私立13園で保育を実施。	A	保育課
5	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(3)病児保育事業 【概要】 病児保育 病気の始まりから治るまでの子どもを預かります。 イ 病後児保育 病気の回復期にあって、集団保育、生活ができない子どもを預かります。	【取組状況・予定】 ・引き続き、国立病院機構新潟病院と柏崎総合医療センターに病児保育事業を委託し、実施する。	【取組状況】令和6(2024)年11月末現在 ①病児保育室ムーミンハウス ・国立病院機構新潟病院に事業委託 1,203万7,000円(年間) ・11月末現在の利用実績は、延べ374人(前年同期比 △17人) ②病児保育室びっころ ・柏崎総合医療センターに事業委託 903万7,000円(年間) ・11月末現在の利用実績は、延べ131人(前年同期比 △39人)	【実績】 ①病児保育室ムーミンハウス ・国立病院機構新潟病院に事業委託1,444万3,000円 ・利用実績 令和6(2024)年3月末現在:延べ554人 令和7(2025)年3月末現在:延べ534人(前年同期比 △20人) ②病児保育室びっころ ・柏崎総合医療センターに事業委託1,044万3,000円 ・利用実績 令和6(2024)年3月末現在:延べ229人 令和7(2025)年3月末現在:延べ181人(前年同期比 △48人) 【評価】 ・保護者の <u>子育てと就労の両立を支援</u> できた。 ・利用延べ人数は前年と比較すると68人の減となっているが、お断りしている人数は前年より増加していることから、常に一定のニーズがある。 【次年度の取組】 ・引き続き、 <u>国立病院機構新潟病院と柏崎総合医療センターに事業委託し</u> 、実施する。 ・2病院との情報交換を密にし、人材確保等の対策を検討する。	A	保育課

【報告事項(1)】第二期柏崎市子ども・子育て支援事業計画総括表の更新について(令和6(2024)年度 年度末実績・評価)

資料2

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
6	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(4) 子ども家庭センター利用者支援事業(母子保健型) 【概要】 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と児童虐待防止を目的として、母子保健機能と児童福祉機能を一体的に行うことを目的としています。概ね、母子保健機能の運営に係る職員として、保健師の他、利用者支援専門員として助産師と精神保健福祉士を配置しています。 利用者支援専門員は専門性をいかした相談支援を行い、母子保健を中心としたネットワークを構築し、医療機関、療育機関等の関係機関につなげていきます。	【取組状況・予定】 ①保健師の全件面談による母子健康手帳交付を継続する。 ・「出産・子育て応援交付金事業(伴走型相談支援)」の面談時に、子育てガイド【妊娠時】を説明する。 ・いわゆるパパ育児事業である「柏崎市男性の育児休業取得促進事業奨励金」を説明し、父親の育児参加を勧奨する(商業観光課、人権啓発・男女共同参画室と協働)。 ②妊産婦支援会議(会議名の変更:従来の子育て世代包括支援センター事業(母子保健機能)と子ども家庭総合支援拠点事業(児童福祉機能)の連携会議)を継続し、新規ケースの検討と継続ケースの進捗管理を行う(月1回)。 ③継続支援が必要な対象者に、助産師および保健師がサポートプランを作成する。 ・妊産婦に対しては助産師が、子育て期は保健師がプランを作成する。 ・支援事業の利用がある場合等は、サポートプランを作成し、対象者との手交をめざす。 ・保健所が開催する妊産婦等支援ネットワーク会議(柏崎総合医療センター6回/年)で妊産婦健診で配慮が必要な対象者の情報共有を行い、産後うつ傾向がある場合等、助産師がサポートプランを作成し、医療機関と連携して支援する。	【取組状況】 ①利用者支援専門員の活動 ・助産師 465件(訪問、面談、電話相談、支援室巡回分は除く) ・精神保健福祉士 325件(訪問、面談、電話相談、ケース会議等) (精神保健福祉士の活動:困難事例対応として多職種によるアウトリーチ支援及び、要対協との連携強化等) 母子健康手帳交付時の保健師全件面談:224人(転入者10人含む) ②妊産婦支援会議を月1回定例実施した(8回)。継続支援の検討49人(特定妊婦:6人、ハイリスク妊婦:12人、気になる妊婦:15人) ③継続支援のサポートプラン作成 30件(計画目標:50件) ④産婦健康診査結果からの要支援者の連絡 13件 産婦健康診査結果からサポートプランを作成して継続支援を実施 6件 ※産婦健診で配慮が必要な対象者やエジンバラ産後うつ病問診票がハイスコア(9点以上)の対象者について、柏崎総合医療センターとタイムリーに情報共有ができています。 ⑤助産師のオンライン相談 1件 ⑥地域子育て支援室助産師巡回相談 子育て支援室巡回相談51回 延べ187人 ※利用者支援専門員の助産師のほか、2名の助産師が担当。	【実績】 ①利用者支援専門員の活動延件数:958件(助産師)498件(精神保健福祉士) 母子健康手帳交付時の保健師全件面談:326人(転入者10人含む) ②連携会議を月1回定例実施した(12回)。継続支援の検討87人(特定妊婦:10人、ハイリスク妊婦:19人、気になる妊婦:22人) ③継続支援のプラン作成 48件(計画目標:50件) ④助産師のオンライン相談 2件 ⑤地域子育て支援室助産師巡回相談77回 延人数296人(R5年間347人) 【評価】 医療機関と時期を逃さず情報共有を行い、必要な支援につなげることができた。精神保健福祉士の専門的な視点が加わり、就学後の困難事例についてもより良い支援をすることができた。 【次年度の取組】 多職種における支援の方向の確認体制の整備とサポートプラン(支援プラン)の作成をする。	A	子育て支援課
7	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(5) 妊産婦健康診査 【概要】 母体や胎児の健康を守るために必要な妊婦健康診査を医療機関に委託し、安心して出産が迎えられるよう支援します。 また、出産後も産婦健康診査および産後ケア事業を医療機関に委託し、産婦の健康を守り、安心して子育てが行えるよう支援します。	【取組状況】 ①妊婦健診(14回)及び産婦健診(2回)を医療機関に委託実施することにより、妊娠中から出産後の経済支援につなげる。 <u>産婦健診時の産後うつ病問診票等により、必要に応じて産後ケア事業につなげ、産後の初期段階における産後うつの予防とともに母子支援を強化する。</u> ②産後ケアは、市内1か所、市外2か所の医療機関における宿泊型の利用に加え、 <u>新たに市外の1医療機関で通所型の利用が可能となったので、必要な方に利用を促していく。</u> 【予定】 ・妊婦健診 令和5(2023)年度と同様の内容で助成する。 助成内容:1人14回分 5月まで最大11万8,290円 6月から最大11万9,420円(※診療報酬改定による) ※ 里帰り出産等で、県外で受診の場合は、償還払いで対応する(扶助費)。 ・産婦健診:令和5(2023)年度と同様の内容で助成する。 (助成内容:1人2回分 5,000円を上限とする)	【取組状況】 ①妊婦健診 県内受診:延べ2,750人受診、助成額 2,300万130円 県外受診の償還払い:延べ68人受診 助成額 39万4,010円 ②産婦健診 県内の医療機関受診:延べ345人、助成額 172万5,000円 県外の医療機関受診の償還払い:延25人、助成額 11万8,940円 ・償還払いの対象にも、元気館窓口でエジンバラ産後うつ問診票を実施し、産後うつの早期発見に努めている。 ③産後ケア事業 利用者数 実3人、利用日数 延べ13日、助成額 23万4,000円	【実績】 ①妊婦健診について 県内受診:延べ4,067人受診、助成額 3,385万6,960円 県外受診の償還払い:延べ87人受診 助成額 50万9,110円 ②産婦健診について 県内の医療機関受診:延べ509人、助成額 254万5,000円 県外の医療機関受診の償還払い:延29人、助成額 13万7,440円 ・産婦健診時の産後うつ病質問票等により、医療機関からリスクの高い方の情報提供を受け、支援に生かす体制が確立している。 ③産後ケア事業について 利用者数 実6人、利用日数 延べ24日(宿泊型23日、通所型1日) 助成額 44万4,000円 【評価】 産後ケア事業では、産婦からの利用希望により、里帰り先の医療機関と年度途中で契約を結び、利用につなげることができた。 【次年度の取組】 妊産婦健康診査費用の助成は、継続して実施する。 産後ケア事業は、 <u>宿泊型の利用料を1日5,000円から1日3,000円に引き下げ、必要な方が利用しやすい環境を整備する。</u>	A	子育て支援課
8	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(6) 妊産婦・新生児訪問及びこにちは赤ちゃん事業 【概要】 ア 妊産婦・新生児訪問(助産師による訪問) 概ね、生後1か月までの乳児のいる世帯に助産師が訪問し、産婦の健康相談と乳児の成長の確認を行います。 イ こにちは赤ちゃん事業(地域の主任児童委員による訪問) 生後4か月までの乳児の世帯に主任児童委員が訪問し、相談窓口等、子育て支援情報を提供するとともに様々な不安や悩みを聞き、必要に応じて子育て世代包括支援センターと連携して支援します。訪問時に地域で子育てを見守りますとメッセージすることで、家庭と地域社会をつなぐきっかけとし、乳児家庭の孤立化を防ぎます。	【取組状況・予定】 ①助産師訪問と主任児童委員の訪問について、令和5(2023)年度と同様に実施し、支援者による切れ目のない見守り支援を行う。 ②入院中にうつ傾向のスコアが高かった産婦については、利用者支援専門員(助産師)が、訪問して継続支援を行う。	【取組状況】 ①主任児童委員の訪問を、産後概ね2か月までに訪問を実施。市外や訪問依頼時の状況により、2か月までに訪問できない場合には、4か月までに訪問を実施した。(訪問件数:161件※10月末時点) 実施率(訪問数/出生数):84.7%(10月末現在。※出生数が10月末現在のため訪問数も10月末に調整) 主任児童委員からの訪問後の要支援者情報提供:4件(保健師・助産師が電話及び健診時に状況確認:4件) ②産婦・新生児訪問(助産師による訪問) ・活動実績 産婦:延218件 新生児等:延べ232件 計450件(市外へ依頼含む) ③利用者支援事業専門員の訪問活動(助産師) ・活動実績 実51件 延べ81件	【実績】 ①主任児童委員の訪問:訪問件数275件 ・訪問実施率(訪問数/出生数):87% ・主任児童委員からの訪問後の情報提供:8件 (保健師・助産師が電話及び健診時に状況確認:5件、既に助産師又は保健師が継続支援:3件) ②助産師による産婦・新生児訪問 産婦延べ322件、新生児等延べ315件、計647件概ね産後3週間(産婦健診の間)に訪問した。 ③利用者支援専門員(助産師)訪問 実69件、延べ107件 入院中にうつ傾向のスコアが高かった産婦や、妊娠中から継続支援しているハイリスクの産婦については、利用者支援専門員が継続支援を行った。 【評価】 産婦健康診査、助産師の訪問、主任児童委員の訪問を組み合わせて行うことで、必要な方に支援を行うことができた。また、訪問時の情報が、その後の支援に継続された。 【次年度の取組】 ・今後も継続して実施する。	A	子育て支援課
9	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(7) 乳幼児健康診査 【概要】 乳幼児の健やかな成長発達を目指し、疾病の早期発見や早期の療育支援を行います。また、育児不安等に対する相談支援も行います。	【取組状況・予定】 ・乳幼児の疾病の早期発見や早期の療育支援を行う。 ①乳幼児健診後のフォローについて進捗管理会議(年間3回)を行うとともに、支援の平準化を図る。 ・医療機関での精密検査の受診勧奨の強化。 ・健診後に、早期療育の視点で経過観察が必要な児に対して、継続支援を行う。 ・育児不安や育児ストレスの負担感が強い場合の支援を行う(国:すこやか親子アンケート参照)。 ②1か月児健診の公費助成を開始し、保護者の負担軽減を図る。 ③これまでの10か月健診に加えて、 <u>1歳6か月児健診と3歳児健診の会場で栄養士による栄養指導の場を設ける。</u>	【取組状況】 ①幼児健診後進捗管理会議 2回実施した(1回目 57人検討 終了15人、継続フォロー42人、2回目 82人検討 終了27人 継続フォロー55人)。 ・経過観察が必要な児に対して早期療育に係る相談会の参加を促し、保護者への電話連絡などで経過観察を継続して実施した。 ②1か月児健診の公費助成を令和6(2024)年4月1日から開始した。(192件、助成額118万2,485円) ③栄養士が、肥満度15%以上の児の保護者に栄養指導を実施した(15〜20%未満は希望者)。1歳半健診は対象4人中4人に実施。3歳児健診は対象13人中10人に実施。	【実績】 ・4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査を集団会場で、1か月児健診、6か月児健診を医療機関委託(個別健診)で実施した。受診者1,891人 平均受診率95.1% ・1歳6か月児、3歳児健診に継続して臨床心理士が従事。フォローが必要な児の進捗管理を継続して実施した(年3回)。 ・5歳児健診の実施に向け、医師会や関係各課と協議を行った。 【評価】 ・令和6(2024)年4月から1か月児健診の公費助成を開始し、保護者の経済負担の軽減につながった。 ・1歳6か月児、3歳児健診に栄養士が従事することで、子どもの食についての相談と情報提供をより丁寧に実施することができた。 【次年度の取組】 ・5歳児健診を、7月から集団方式で5歳3か月児を対象に実施し、4か月児、10か月児健康診査は、対象者が減少していることから月2回の実施を月1回とする。 ・臨床心理士は、3歳児健診と5歳児健診に従事する。 ・健診後進捗管理会議を3回/年程度実施する。 ・健診後のフォロー体制を整備する。	A	子育て支援課

【報告事項(1)】第二期柏崎市子ども・子育て支援事業計画総括表の更新について(令和6(2024)年度 年度末実績・評価)

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
10	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(8) 児童虐待防止事業 【概要】 児童虐待の発生予防、早期発見及び保護を図るため、柏崎市要保護児童対策地域協議会を中心として、関係機関との情報共有や啓発活動を行い、円滑な連携体制の構築に取り組んでいます。	【取組状況・予定】 ・児童虐待の予防や早期発見及び保護を図るため、 <u>子ども虐待対応のフローチャートと手引を高等学校、小・中学校、保育園・幼稚園に配布し、全職員が内容を理解し活用できるよう周知する。</u> ・ヤングケアラーについて市内小・中学校は学校教育課、市内高等学校は担当校を窓口、県が実施する調査結果を基に、 <u>実態把握を行い課題を整理し、支援を展開するための支援フローチャートを作成する。</u> ・児童虐待予防の啓発活動として、支援者向け研修会と、市民向け講演会を実施する(11月に予定)。 ・児童虐待防止の相談窓口のポスターと啓発カードを、関係機関に配布・設置する。 ・ケース管理会議(週1回実施)に、家庭児童相談員、女性福祉相談員、担当保健師が参加して事例を共有することで多職種によるチーム支援を目指す。 ・定例の事例検討会(年3回)の実施により、ソーシャルワーク力の向上を目指す。	【実績】(令和6(2024)年11月末現在) ①児童虐待の早期対応を図るため、子ども虐待対応のフローチャートと手引を市内高等学校、小・中学校、保育園・幼稚園に配布した。配布の際、全職員が活用するよう依頼し、緊急対応の必要性について説明した。 ・児童相談の状況:虐待件数82件、その他の養育相談164件。 ・外部機関との支援会議:52件。 ②ヤングケアラー対策については、市内小・中学校は学校教育課を窓口、市内高等学校には各校へ直接聞き取りをし、県が実施する調査結果を基に実態把握を行った。また、「ヤングケアラー」支援対応フローチャートを今年度中に作成する予定。 ③児童虐待防止の啓発活動として、支援者向け研修会を実施した。 ・教職員向け研修 8/29開催 21名参加「こどもの『変』をキャッチしたら」 ・園職員向け研修 11/16開催 23名参加「子どもを見守るとは～「何となく気になる」への対応～」 ・市民向けとして児童虐待防止・人権講演会「STOP! イライラ 感情的にならない子育て～パパママも輝く!家族が笑顔になる子育て術～」を11/30に開催し、111名の参加があった。 ・ソーシャルワークの向上を目指し、係内で2回(1/20、2/28)研修を開催し、事例検討及びアセスメント・プランニングシートの活用研修を実施した。 【評価】 ・虐待対応フローチャートの活用や支援者研修会、虐待防止講演会を開催することで、虐待対応に対する意識が高まり、新規、再相談として相談を受けるケースが増えた。 ・ヤングケアラー支援対応フローチャートを作成したこと支援のポイントや対応のあり方について理解を得ることができた。今後は周知・啓発をしていく必要がある。 【次年度の取組】 ・引き続き虐待対応フローチャートを広く周知し、早期介入と予防の取組を強化する。 ・教職員、園職員向けの研修は引き続きを実施し、より多くの方が参加できるような日程を検討する。 ・ヤングケアラー支援対応フローチャートを周知し、ヤングケアラーについての共通理解を図る。また、県・学校教育課と連携し、普及啓発事業に取り組む。	A	子育て支援課	
11	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(9) 家庭児童相談事業 【概要】 家庭で子どもを育てる際の様々な悩みや心配ごとに関することの相談窓口を設置し、家庭児童相談員が、電話相談や家庭訪問等、必要に応じて対応しています(対象は概ね18歳未満)。	【取組状況】 ・児童虐待や養育力の低下により支援が必要な世帯に対して、家庭で子どもが安定した生活ができるよう、電話や来所相談、家庭訪問、関係機関との連絡・調整や事例検討会等を通して、継続的な支援を行う(家庭児童相談員3名)。 【予定】 ・ケース管理会議時に事例検討を重ねることで、ソーシャルワークのスキル向上を目指す。 ・増加傾向にある不登校相談や発達障害相談等は、必要に応じて学校教育課や子どもの発達支援課と検討の場を持ち、連携して支援を行う。	【取組状況・予定】 ・児童虐待や養育力の低下により支援が必要な世帯に対して、家庭で子どもが安定した生活ができるよう、電話や来所相談、家庭訪問、関係機関との連絡・調整や支援会議等を通して、継続的な支援を行っている(家庭児童相談員3名)。 ・活動状況(支援状況) 令和6(2024)年11月末現在 実 210人、延べ 2,631人 ・家庭の養育力の未熟さや経済的な問題、子育ての孤立化等、相談支援を行う家庭が抱えている課題が多様化、複雑化しているため、引き続き事例検討会等を重ねてソーシャルワークのスキル向上を目指し、関係機関との連携を強化し支援を行っていく。	【実績】 ・児童虐待や養育力の低下により支援が必要な世帯に対して、家庭で子どもが安定した生活ができるよう、電話や来所相談、家庭訪問、関係機関との連絡・調整や支援会議等を通して、継続的な支援を行っている(家庭児童相談員3名)。 ・活動状況(支援状況) 実 249人、延べ 4,223人 関係機関との個別ケース検討会議:91回 【評価】 ・必要時に個別ケース検討会議を開催し、各機関の支援状況の共有、支援を検討することで、各機関の役割を明確にし、こどもの安定した生活に向けた支援を行うことができた。 ・係内で事例検討会を実施し、支援のスキルアップにつなげられた。 【次年度の取組】 ・家庭の抱える課題の複合化に対応するため、支援世帯の課題の整理、支援方針が明確化できるスキルを高め、継続的な支援を実施する。	A	子育て支援課
12	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(10) 養育支援訪問事業 【概要】 養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保するため、保健師等がその居宅を訪問します。	【取組状況・予定】 ・乳幼児健診後、早期療育支援や育てにくさ(すこやか親子のアンケート参照)を感じている保護者に対する継続支援を行う。 ・定期的に進捗管理を行い、タイムリーな支援を行う。	【取組状況・予定】 ・乳幼児健診終了後、カンファレンスの場で今後のフォローについて検討を行い、早期療育支援や育児への不安、負担感を感じている保護者に対し、継続的な養育支援を行った。(実:59人、延べ:176人) ・ケース管理会議や進捗会議等の場で支援方針の確認を行い、タイムリーな支援を行った。	【実績】 ・乳幼児健診終了後、カンファレンスの場で今後のフォローについて検討を行い、早期療育支援や育児への不安、負担感を感じている保護者に対し、継続的な養育支援を行った。(実:79人、延べ:296人) ・ケース管理会議や進捗会議等の場で支援方針の確認を行い、タイムリーな支援を行った。 【評価】 ・昨年度より実、延べ人数は増加し、訪問支援が必要なケースに対し、適切に訪問が実施できた。 ・ケース管理会議や進捗管理会議(4回/年)の場で支援方針を確認し、継続的に支援を行うことで児童虐待予防につなげた。 【次年度の取組】 ・事例について定期的な進捗管理を行い、タイムリーな支援を継続実施する。	A	子育て支援課
13	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(11) 養育支援事業(育児支援ヘルパー) 【概要】 双子、三つ子などを養育している人や、身体的、精神的な事情等によりお子さんの養育が困難な人、日中、家事や育児の協力者がいない人等、育児負担が大きい場合に、子どもの世話や家事援助サービスを事業者が提供し、利用料の一部助成を行う事業について継続実施します。現在、シルバー人材センターに事業委託しています。	【取組状況・予定】 ・児童福祉法の一部改正に伴い、事業対象者の要件を妊婦及び18歳未満の児童を養育している家庭へと拡大した。 ・母子健康手帳交付時と、助産師の新生児訪問、保健師の健診や講座、訪問活動等から対象者を把握し、タイムリーな支援につなげる。 ・申請時に、対象者の背景等を具体的に把握するためのアセスメントを実施する。 ・必要なサービスを提供できるようサービス内容を精査する。 ・委託事業者と年1回、研修会を行い、情報共有を行う。	【取組状況】 ・育児不安や養育するうえで困難な状況や支障をきたす恐れがある保護者に対し、サービスを提供した。(認定証交付数18件、利用世帯数8世帯、延べ回数41回) ・利用内訳をみると、全て家事手伝いであった。 ・認定証交付理由内訳は、日中、家事・育児の協力者なしが15件、身体的精神的事情により家事・育児が困難が2件、双子・三つ子など養育するうえで育児困難が1件だった。 ・委託先であるシルバー人材センターと現状を共有し、次年度の内容について相談した。 【予定】 ・今年度中にシルバー人材センターと次年度のサービス内容等について検討するとともに、研修会(情報交換会)を実施する予定。	【実績】 ◇認定証交付数 新規交付数23件、更新交付数1件:計24件 ◇利用世帯数 実数9件、延数42件 ◇サービス利用内容 家事手伝い42件 ◇サービス利用理由 双子・三つ子などの養育をする上で育児が困難なため1件、保護者の病気2件、日中家事・育児の協力者なし21件 ・育児支援ヘルパーの研修や利用者負担についてシルバー人材センターと協議した。研修の機会として、ファミリーサポートセンター主催のAED研修を案内し、2名のヘルパーの参加があった。 【評価】 ・前年度と比較すると認定証交付数、利用世帯数が増加した。妊娠期からの相談の中で事業について紹介し利用につながった事、継続利用する世帯が増えた事が増加要因としてあげられる。しかし、依然として認定証交付者数に対して利用者数が少ないことが課題である。 【次年度の取組】 ・利用者負担額を減額し、利用の促進を図る。 ・「子育て世帯訪問支援事業」として事業実施する。国のガイドラインに基づき、育児支援ヘルパーの要件や研修実施等、事業内容の見直しを図る。	A	子育て支援課
14	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(12) 子育て短期支援事業 【概要】 保護者の病気や、その他の理由で、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、宿泊を伴う児童の一時預かりを行う事業です。育児の負担感が大きい等、保護者のレスパイトケアとして利用する、広義の児童虐待防止の目的を持つ事業です。	【取組状況】 ・令和3(2021)年8月以降、事業は一旦中止している。 【予定】 ・子育て短期支援事業の今後の方向に向けて関係機関と、引き続き協議する。	【取組状況】 ・事業検討に向け、上越市の24時間保育施設の視察を実施した。 ・今後も、県内自治体の実施状況などを情報収集し、実施に向けた継続検討を行う。	【実績】 ・令和3(2021)年8月以降、事業は一旦中止している。 【評価】 ・事業検討に向け、24時間保育施設の視察や県内自治体の実施状況等の確認を行ったが、事業実施可能な施設や人員の確保が難しく、次年度の実施は難しい状況である。 【次年度の取組】 ・国の情報発信に注視し実施に向けた継続検討を行う。	B	子育て支援課

【報告事項(1)】第二期柏崎市子ども・子育て支援事業計画総括表の更新について(令和6(2024)年度 年度末実績・評価)

資料2

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
15	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(13)ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業） 【概要】 地域において、子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者から成る会員組織で活動を行っています。	【取組状況・予定】 ・小児科医の研修及びAEDの研修に加え、 <u>子どもの栄養、遊びについて、栄養士と保育士を講師とした養成研修会を実施する。</u> ・事業の理解と利用促進を目的として、提供会員の養成研修を、すくすくネットに掲載する。	【取組状況】 ・活動状況 延296件 ＜提供会員向け研修会＞ ①7月10日 子育て支援室職員向け研修を提供会員に案内（提供会員9名参加） 講師：絵本専門士 「絵本の楽しさをもっと知ろう」 ②11月18日（参加者：提供会員11名、子育て支援室22名、わらびサポートセンター1名） 講師：独立行政法人国立病院機構新潟病院地域小児科学研究室長 穂吉医師 「発達特性のあるお子さんの対応」 ※子育て支援室や病児保育室の職員にも呼びかけて実施した。 今後、「子どもの栄養と食生活」「子どもの事故予防」をテーマに、2回研修会を実施予定。	【実績】 ・活動状況 延410件(依頼会員212人、提供会員35人、両方会員6人) 新規提供会員：3人 【評価】 ・会員のスキルアップを目指し、昨年度3回実施していた研修会を、今年度は4回実施した。 ・小児科医による研修会は、発達特性のあるお子さんの対応をテーマに、最新の知識を得ることができ、大変好評であった。今後も、小児科医による研修を継続実施する。 【次年度の取組】 ・依頼会員の利用料1時間あたり700円は据え置き、 <u>提供会員には1時間あたり900円が支払われるよう、差額を市が補助する体制とする。</u>	A	子育て支援課
16	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(14)地域子育て支援拠点事業 【概要】 就学前児童とその保護者等が集まり、一緒に遊びながら交流するふれあいの場を提供するとともに、子育てに関する情報を提供するほか子育て講座等を開催し、子育てに関する悩みについての相談・助言等を行います。 元気館ジャングルキッズのほかに保育園、幼稚園で実施します。	【取組状況・予定】 ＜子育て支援室＞ ・公立・私立保育園、幼稚園の子育て支援室合わせて17か所で実施する。 ＜元気館＞ ・ <u>元気館内ジャングルキッズ</u> で実施する。	取組状況】 ・市内17か所の公立・私立保育園、幼稚園、認定こども園の子育て支援室および元気館ジャングルキッズにおいて実施した。 ＜子育て支援室＞ ・令和6(2024)年11月末現在の利用実績は、5,380組11,061人 (前年同期比 517組 △1,191人) ＜元気館ジャングルキッズ＞ 令和6(2024)年11月末現在の利用実績は2,137組4,459人 (前年同期比 85組 △144人)	【実績】 ・市内17か所の保育園、幼稚園、認定こども園の子育て支援室および元気館ジャングルキッズにおいて実施した。 ＜子育て支援室＞ 令和7(2025)年3月末現在の利用実績は、8,860組18,207人 (前年同期比 △845組、△1,940人) ＜元気館ジャングルキッズ＞ 令和7(2025)年3月末現在の利用実績は、3,121組6,493人 (前年同期比 △408組、△812人) ＜子育て支援室及びジャングルキッズ＞ 令和7(2025)年3月末現在の利用実績は、11,981組24,700人 (前年同期比 △1,253組、△2,752人) 【評価】 <u>未就園児とその保護者が交流する場や子育て情報を提供し、支援員による子育て相談への助言を行い、子育てへの不安軽減につなげることができた。</u> 【次年度の取組】 <u>田尻子育て支援室を開設し、市内18か所の子育て支援室および元気館ジャングルキッズにおいて子育て支援を行う。(このうち、比角支援室は改築のため休室)</u> また、子育て相談の窓口を広げるため、 <u>ジャングルキッズおよび公立子育て支援室の利用対象を未就学児とする。</u>	A	保育課
17	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(15)放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 【概要】 保護者の就労などにより、昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かります。	【取組状況】 ・市内23か所の児童クラブを開設し、計画どおり運営する。 ・23か所全てのクラブを運営委託している（社会福祉協議会22か所・西山福祉会1か所）。 ※登録者の状況等は「別紙2」ののとおり 【予定】 ・引き続き、市内23か所に児童クラブを開設する。 ・ <u>荒浜児童クラブの新築工事について、2か年継続事業の第2期工事を実施する。完成は、令和7（2025）年1月19日</u> を予定している。	【取組状況・予定】 ・荒浜児童クラブの新築工事について、2か年継続事業の第2期工事を実施しており、令和7(2025)年1月19日に完成予定である。荒浜小学校の新校舎への引っ越しの日程に合わせ、令和7(2025)年2月12日からの使用を予定している。 ※登録者の状況等は「別紙2」ののとおり	【実績】 ・市内23か所に児童クラブを設置し、計画どおり開設することができた。 (全クラブを運営委託：社会福祉協議会22か所・西山福祉会1か所) ※登録者の状況等は「別紙2」ののとおり ・高柳町は、児童クラブの設置はないが「放課後子ども教室」を実施した。 ・荒浜児童クラブの新築工事について、2か年継続事業の第2期工事を行い、令和7(2025)年1月17日に完成した。荒浜小学校の新校舎の供用開始に合わせ、2月11日に引っ越しを行い、2月12日から供用を開始した。 【評価】 ・市内23か所に児童クラブを開設し、利用申請に対し受入れを行うことができた。 ・適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることに加え、保護者の就労や介護等の支援に寄与することができた。 ・荒浜児童クラブの新築工事について、2か年継続事業の第2期工事を予定どおり実施することができた。 【次年度の取組】 ・引き続き、 <u>市内23か所に児童クラブを開設する。</u> ・令和8(2026)年4月1日の日吉小学校と中通小学校の統合に伴い、児童クラブの利用者数の増加が見込まれることから、 <u>日吉児童クラブの増設の準備を行う(学校の食堂の一部をパーティションで仕切り、占用場所を設置する)。</u>	A	子育て支援課
18	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(16)子どもの遊び場整備事業 【概要】 健全な遊び場を整備することにより、子どもの路上遊び、体力の向上、福祉の向上を図ることを目的とし、子どもの遊び場を管理する町内会等地域関係者を対象に、屋外遊び場の整備に係る経費を補助します。	【取組状況】 ● <u>遊具の入替などの子どもの遊び場整備に資する事業に対して補助金を交付予定である。</u> ・補助金交付申請件数：17件（17町内会） ・補助金交付決定額：554万4,000円 ・ <u>主な整備の内容</u> 水飲み場の新設、遊具の入替（滑り台）、遊具の修繕など ・整備予定町内会（前年度計画時から1件追加） 矢田町内会、剣野町内会、上方町内会、半田町内会、古町町内会、比角10区町内会、ゆりが丘町内会、平井町内会、伊毛町内会、米山台町内会、両田尻町内会、佐藤池新田町内会、さくらニュータウン町内会、山本町内会、畔屋町内会、上田尻町内会、長嶺町内会 【予定】 ・各工事完了後、現地検査を行い、 <u>補助金を交付する。</u> ・整備が完了した町内会：2件（5月末時点） ・ <u>10月頃に全町内会に周知を行い、次年度事業の仮申し込み(社会費の提出、金交付開始)をする。</u>	【取組状況・予定】 ・町内会などが管理する公園の遊具の撤去、修繕及び新設などの整備計画に対し、19町内会の事業が完了し補助金を交付した。 【実績】 ・事業完了件数 19件 ・補助金交付済額 598万9,000円 【その他】 ・来年度の整備予定について、304町内会に確認を行い、10町内会から整備計画の提出があった。	【実績】 ・町内会などが管理する公園の遊具の撤去、修繕及び新設などの整備計画について、全ての事業が完了し補助金を交付した。 ・事業完了件数 19件 ・補助金交付済額 598万9,000円 【評価】 ・ <u>計画された全ての整備計画が実施され、遊具の撤去、修繕及び新設など、安全に配慮した遊び場の環境整備に寄与することができた。</u> 【次年度の取組】 ・ <u>10町内会の整備補助を予定している。</u> ・補助金予定額：398万9,000円(緊急修繕用の予備を含む)	A	子育て支援課

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
19	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(17)子育て応援券事業 【概要】 子育てしやすい環境づくりを推進するため、乳幼児がいる家庭に対し、子育て世代を応援する利用券を配布します。	【取組状況・予定】 ・前年度と同様に0～3歳の子どもがいる世帯に1人当たり1万円(有効期限：発行年度の翌年度末まで)を支給。 ・4月下旬に令和6(2024)年度分の電子チケットの応援券を発送。初回発送後の出生者や転入者に対しては、毎月末に対象者を抽出し、順次送付する。また、紙チケット希望者に対しては、個別に電子チケットと引き換えに紙チケットを交付する。 ・電子チケット未取得者への周知を行い、電子チケット取得率を向上させるとともに、電子チケット取扱い事業者を増やすことで、電子決済の環境整備を推進する。 【実績】 ※令和6(2024)年5月末現在 ●かしわ★ざ★キッズ！スターチケット ・登録事業者数：91件(新規登録3件) うち、電子チケット対応事業者：74件、未対応事業者：17件 ＜令和5(2023)年度発行分＞・・・初回 令和5(2023)年4月24日発送 ・発行済み対象者数：1,509人 ・利用金額／発行金額(全体)：1,393万3,649円／1,509万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：93万3,149円／104万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：1,300万500円／1,405万円 ・利用率：92.34%(全体)、89.73%(電子チケット分)、92.53%(紙チケット分) ＜令和6(2024)年度発行分＞・・・初回 令和6(2024)年4月22日発送 ・発行済み対象者数：1,278人 ・利用金額／発行金額(全体)：925万804円／1,278万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：875万7,804円／1,200万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：49万3,000円／78万円 ・利用率：72.39%(全体)、72.98%(電子チケット分)、63.21%(紙チケット分)	【取組状況・予定】 ・初回発送後の出生者や転入者に対して、毎月末に対象者抽出し、順次送付。 ・令和5(2023)年度分の電子チケットの未取得者に対し、チケット取得の案内を促した結果、11月末時点で電子チケットの取得率が94.23%となった(令和6(2024)年度分：89.75%)。 【実績】 ※令和6(2024)年11月末現在 ●かしわ★ざ★キッズ！スターチケット ・登録事業者数：90件(新規登録2件、登録抹消3件) うち、電子チケット対応事業者：73件、未対応事業者：17件 ＜令和5(2023)年度発行分＞・・・初回 令和5(2023)年4月24日発送 ・発行済み対象者数：1,509人 ・利用金額／発行金額(全体)：1,393万3,649円／1,509万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：93万3,149円／104万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：1,300万500円／1,405万円 ・利用率：92.34%(全体)、89.73%(電子チケット分)、92.53%(紙チケット分) ＜令和6(2024)年度発行分＞・・・初回 令和6(2024)年4月22日発送 ・発行済み対象者数：1,278人 ・利用金額／発行金額(全体)：925万804円／1,278万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：875万7,804円／1,200万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：49万3,000円／78万円 ・利用率：72.39%(全体)、72.98%(電子チケット分)、63.21%(紙チケット分)	【実績】 ●かしわ★ざ★キッズ！スターチケット ・登録事業者数：90件(新規登録2件、登録抹消2件) うち、電子チケット対応事業者：76件、未対応事業者：14件 ＜令和5(2023)年度発行分＞・・・初回 令和5(2023)年4月24日発送 ・発行済み対象者数：1,509人 ・利用金額／発行金額(全体)：1,476万8,551円／1,509万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：101万2,551円／104万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：1,375万6,000円／1,405万円 ・利用率：97.87%(全体)、97.36%(電子チケット)、97.91%(紙チケット) ＜令和6(2024)年度発行分＞・・・初回 令和6(2024)年4月22日発送 ・発行済み対象者数：1,427人 ・利用金額／発行金額(全体)：1,122万5,628円／1,427万円 ・利用金額／発行金額(電子チケット)：1,046万3,628円／1,339万円 ・利用金額／発行金額(紙チケット)：76万2,000円／88万円 ・利用率：78.67%(全体)、78.15%(電子チケット)、86.59%(紙チケット) 【評価】 ・前年度発行したスターチケットは、電子・紙チケットともに利用率が95%を超え、例年同様高い利用率であり、利用者の満足度の高さが伺える。 ・電子チケット未対応事業者に対して、個別ヒアリングを実施したり、電子決済の状況を周知した結果、事業者電子化率を84.27%(昨年度末：79.55%)に引き上げることができた。 【次年度の取組】 ・今年度と同様に0～3歳の子どもがいる世帯に1人当たり1万円を支給。 ・現状、簡易書留で送付している子育て応援券の通信運搬費について、電子化を活かした経費削減案を検討する。	A	子育て支援課
20	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(18)医療費助成事業 【概要】 病気の早期発見・早期治療につなげることや、経済的支援のために次の事業を行っています。 ①②妊産婦及び子どもの医療費助成事業 妊産婦及び子どもの医療費の一部を妊産婦本人又は子どもの保護者に医療費の一部を助成します。 ③不妊治療助成事業 子どもが欲しいと望んで不妊治療を受ける夫婦へ治療費の一部を助成します。 ④ひとり親家庭等医療費助成事業 18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童を監護養育するひとり親家庭等に対して、医療費の一部を助成します。 ⑤未熟児養育事業 出生時の体重が2,000g以下又は2,000gを超えていても医師の診断により、生活力薄弱であって一定の症状を有している乳児に対し、養育医療指定医療機関において入院養育を必要と認めた場合に医療費の一部を助成します。	【取組状況・予定】 ・病気の早期発見、早期治療につなげることや、経済的支援のため、事業を継続して実施している。 ・不妊治療費の助成は、令和5(2023)年度から一般治療も対象に加え、いわゆる保険適応分は全て対象としている。 ・子どもの医療費助成については、令和4(2022)年度診療分から、入院、通院ともに高校卒業までを対象としている。 ①妊産婦医療費助成事業 妊産婦の医療費の一部を助成し、経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。 ②子どもの医療費助成事業 子どもの医療費の一部を助成し、経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。 ③不妊治療助成事業 令和5(2023)年度と同様に実施し、不妊治療の経済的負担の軽減を図る。 ④ひとり親家庭等医療費助成事業 18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童を監護養育するひとり親家庭等に対して、医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進を図る。 ⑤未熟児養育医療給付事業 未熟児の医療費負担の軽減を図るとともに、医療費助成をきっかけに、入院中から医療機関と情報共有を行い、退院後も切れ目ない支援を行う。	【取組状況・予定】 ※括弧内は前年同期比 ①妊産婦医療費助成事業 資格証交付件数 :220件 (+6件) 助成申請件数 :1,884件 (△66件) 助成総額 :1,135万8,498円 (+57万6,121円) 1件当たり助成額 :6,029円 (+500円) ②子どもの医療費助成事業 受給者数 :8,906人 (△269人) 助成件数 :6万9050件 (△1,464件) 医療費等助成額 :1億2,799万4,495円 (△71万7,431円) 1件当たり助成額 :1,853円 (+28円) ③不妊治療費助成事業 助成申請件数 :57件 (+17件) 助成総額 :332万9,400円 (+135万7,400円) 1件あたり助成額 :5万8,410円 (+1万2,249円) ④ひとり親家庭等医療費助成事業 受給者数 :1,029人 (△63人) 助成件数 :6,782件 (△740件) 医療費等助成額 :1,656万9,166円 (△57万5,648円) 1件当たり助成額 :2,443円 (+164円) ⑤未熟児養育医療給付事業 受給者数 :8人 (+5人) 助成件数 :18件 (+11件) 助成総額 :169万8,766円 (+85万8,590円)	【実績】 ※括弧内は前年同期比 ①妊産婦医療費助成事業 資格証交付件数 :326件 (△4件) 助成申請件数 :3,130件 (△52件) 助成総額 :1,905万1,974円 (+190万8,074円) 1件当たり助成額 :6,087円 (+699円) ②子どもの医療費助成事業 受給者数 :8,933人 (△329人) 助成件数 :11万9,856件 (△661件) 医療費等助成額 :2億1,843万954円 (△73万7,353円) 1件当たり助成額 :1,822円 (+3円) ③不妊治療費助成事業 助成申請件数 :67件(+23件) 助成総額 :392万3,900円 (+144万5,700円) 1件あたり助成額 :5万8,566円 (+596円) ④ひとり親家庭等医療費助成事業 受給者数 :1,055人 (△61人) 助成件数 :1万1,919件 (△782件) 医療費等助成額 :2,955万7,289円 (+73万1,640円) 1件当たり助成額 :2,480円 (+210円) ⑤未熟児養育医療給付事業 受給者数 :13人 (+4人) 助成件数 :28件 (+21件) 助成総額 :299万3,321円 (116万5,842円) 【評価】 ・各医療費助成を行うことで、病気の早期発見、早期治療、経済的負担の軽減に寄与することができた。 【次年度の取組】 ・医療費助成事業は、次年度も同様に継続する	A	子育て支援課 (①③⑤) 福祉課 (②④)

【報告事項(1)】第二期柏崎市子ども・子育て支援事業計画総括表の更新について(令和6(2024)年度 年度末実績・評価)

資料2

No.	実施事業等	事業内容	取組状況・予定	取組状況・予定(令和6(2024)年11月末現在)	R6(2024)年度実績(令和7(2025)年3月末現在)	R6評価	担当課
21	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(19)実費徴収に係る補足給付を行う事業 【概要】 保護者の世帯所得の状況等を勘案して、教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成します。	【取組状況・予定】 ・引き続き、国の動向や他市の状況を確認しつつ検討する。	【取組状況・予定】 ・引き続き、国の動向や他市の状況を確認しつつ、実施に向け準備を進める。	【実績】 ・国の動向や他市の状況を確認し、 次年度から実施するために要綱を制定した。 【評価】 ・次年度の実施に向け、体制を整えることができた。 【次年度の取組】 ・保育の利用において必要な日用品・文具等の購入に係る費用や、行事への参加に要する費用等について、補足給付を行う事業を実施する。	A	保育課
22	第5章2 地域子ども・子育て支援事業	(20)多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 【概要】 教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究や、その他の多様な事業者の能力を活用した教育・保育施設等の設置又は運営を促進します。	【取組状況・予定】 ・他業種からの参入や小規模保育・事業所内保育などについては、ニーズや計画の実行性等を精査しながら相談に応じていく。 ・公立保育園の民営化等は、引き続き社会福祉法人と意見交換を行う。	【取組状況】 ・他業種からの参入については市内での実施なし。小規模保育・事業所内保育などについては、ニーズや計画の実行性等を精査しながら引き続き相談に応じていく。 ・公立保育園の民営化について、現時点で社会福祉法人等から具体的な申し出なし。引き続き意見交換を継続して行う。	【実績】 ・3月13日に私立保育園を運営する法人と市との意見交換会を開催した。 【評価】 ・ 意見交換会を初めて開催 し、少子化の現状を確認し、今後の園運営等についての意見交換を行うことができた。 【次年度の取組】 ・他業種からの参入や小規模保育・事業所内保育などについては、ニーズや計画の実行性等を精査しながら、 引き続き意見交換を行う。 ・私立保育園理事長会において、課題の共有、意見交換を行う。	A	保育課
23	支援事業計画記載なし	出産・子育て応援交付金事業 【概要】 全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の充実を図るため、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施します。 ※交付申請児に面談を実施し、妊娠時5万円、出産後5万円を支給	【取組状況・予定】 ・妊娠届出時の面談を実施するとともに、妊婦1人当たり5万円を支給。 ・出産後、助産師訪問等で面談を実施するとともに、出生児1人当たり5万円を支給。	【取組状況・予定】 ・新年度からは、出産・子育て応援交付金(10万円)については、子ども・子育て支援法の「妊婦のための支援給付」として、伴走型相談支援については、児童福祉法の「利用者支援事業(こども家庭センター型)」として実施する予定。 【実績】 (1)伴走型相談支援 ※令和6(2024)年11月末現在 ・妊娠8か月時訪問(希望者等):33人 ・出産後の訪問:202人 (2)経済的支援(出産・子育て応援交付金) ※令和6(2024)年11月末現在支払分 ・出産応援交付金 対象件数:198件、交付金額:990万円 ・子育て応援交付金 対象件数:193件、交付金額:965万円 ・合計 対象件数:391件、交付金額:1,955万円	【実績】 (1)伴走型相談支援 ・妊娠8か月時訪問(希望者等): 41人 ・出産後の訪問: 310人 (2)経済的支援(出産・子育て応援交付金) ・出産応援交付金 対象件数: 312 件、交付金額: 1,560 万円 ・子育て応援交付金 対象件数: 310 件、交付金額: 1,550 万円 ・合計 対象件数: 622 件、交付金額: 3,110 万円 【評価】 ・伴走型相談支援及び経済的支援の実施により、 妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担の軽減を図ることができた。 ・全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与することができた。 【次年度の取組】 ・次年度からは、「 妊婦のための支援給付事業 」に名称を改め、これまで同様、妊婦等への経済的支援と伴走型相談支援を、効果的に組み合わせる実施し、妊婦への総合的な支援を図っていく。	A	子育て支援課
24	支援事業計画記載なし	家庭養育応援券事業 【概要】 家庭でお子さんを保育している世帯を応援券する利用券を配布します。	【取組状況・予定】 ・1歳児から小学校就学前児童のうち、保育料無料化の対象となっていない家庭へ、1人当たり月5千円(有効期限:発行年度の翌年度末まで)を支給。 ・初回、7月中旬に令和6(2024)年4月～6月の対象者を抽出し発送。 ・4半期毎に対象を抽出し、順次送付。 ・既存の子育て応援券(かしわ★ざ★キッズ!スターチケット)の同様の仕組みを採用し、電子チケットを交付する。(希望により紙チケット対応) ●チケット名称 「かしわ★ざ★キッズ!スターチケット@ホーム」 ※@ホームは「アットホーム」と読みます	・初回、7月中旬に令和6(2024)年4月～6月の対象者を抽出し発送後、4半期毎に対象を抽出し、順次送付。 ・チケット取得率は、11月末現在で81.7%となった。 【実績】※令和6(2024)年11月末現在 ●かしわ★ざ★キッズ!スターチケット@ホーム ・登録事業者数及び電子チケット対応事業者数等については、No.19のかしわ★ざ★キッズ!スターチケット実績を参照 <令和6(2024)年度発行分>・・・初回発送 令和6(2024)年7月19日 第2四半期発送 同年10月18日 ・発行済み対象者数:延べ257人 実145人 ・利用金額/発行金額(全体):181万599円/361万円 ・利用金額/発行金額(電子チケット):175万6,599円/330万円 ・利用金額/発行金額(紙チケット):5万4,000円/31万円 ・利用率:50.16%(全体)、53.23%(電子チケット)、17.42%(紙チケット)	【実績】 ●かしわ★ざ★キッズ!スターチケット@ホーム ・初回、7月中旬に令和6(2024)年4月～6月の対象者を抽出し発送後、4半期毎に対象を抽出し、順次送付した。 ・チケット取得率は、 3月末現在で88.52% となった。 <令和6(2024)年度発行分>・・・初回発送 令和6(2024)年7月19日 第2四半期発送 同年10月18日 第3四半期発送 令和7(2025)年1月17日 第4四半期発送 令和7(2025)年4月17日 ・発行済み対象者数:延べ 372 人 実151人 ・利用金額/発行金額(全体): 375万1,715円/526万円 ・利用金額/発行金額(電子チケット): 332万5,215円/468万円 ・利用金額/発行金額(紙チケット): 42万6,500円/58万円 ・利用率 71.33% (全体)、 71.05% (電子チケット)、 73.53% (紙チケット) 【評価】 事業取組み初年度であるが、かしわ★ざ★キッズ!スターチケットで得たスキームを活かし、比較的スムーズに事務を進めることができた。 保育園等を利用していない子のいる世帯への経済的負担軽減を図ることができた。 【次年度の取組】 チケット取得率を向上させるべく、未所得の方へ個別に取得等への働きかけを行う。また、現在、簡易書留で送付しているチケット取得案内を効率化する方法を検討する。	A	子育て支援課 保育課
25	支援事業計画記載なし	子どもの屋内遊び場施設整備事業 【概要】 既存の屋内遊び場施設を拡張し、遊具等の全面入替を行います。	【取組状況・予定】 ・プロポーザルを実施し、受託候補者を決定。 ・ <u>既存遊び場(柏崎ショッピングモールフォンジェ内キッズマジック)を約2倍に拡張し、遊具等を全面入替する。</u> ・令和6(2024)年度内に新規オープンを目指す。	【取組状況・予定】 ・プロポーザルを実施し、受託候補者を決定。 ・ <u>既存遊び場(柏崎ショッピングモールフォンジェ内キッズマジック)を約2倍に拡張し、遊具等を全面入替する。</u> ・11月4日 旧キッズマジックを閉鎖、整備工事開始 ・11月9日 柏崎ショッピングモールフォンジェ地下に仮設の遊び場を設置 ・令和6(2024)年度内に新規オープンを目指す。	【実績】 ・令和6(2024)年11月整備工事開始、令和7(2025)年3月15日竣工、3月20日プレオープン、4月1日 グランドオープン 。 【評価】 ・ 柏崎産木材 を使用し、かつ、滑り台、ボルダリング、ネットトランポリンなど、子どもたちの声を取り入れた新たな遊びの空間を生み出すことができた。 ・面積をこれまでの約2倍に拡張し、 県内トップクラスの広さの屋内遊び場 になった。 ・ 乳幼児から小学生までが、区分されたエリアで安全に遊ぶ、保護者も安心して子どもたちを見守ることのできる施設 になった。 【次年度の取組】 ・整備後の屋内遊び場を広く周知し、利用促進を図る。	A	子育て支援課

資料3

【報告事項(2)】

第三期柏崎市子ども・子育て支援事業計画の体系と対象事業について

【計画の概要】

- 令和7(2025)年3月策定
- 計画の期間:令和7年度～11年度(5年間)
- 「子ども・子育て支援法第61条」及び「次世代育成支援対策推進法第8条第1項」に基づき策定
- また、「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第10条第2項」の内容も包含
- 計画の対象:
0歳から18歳までのこどもとその家庭(妊娠・出産期を含む)を中心とする



【第三期子ども・子育て支援事業計画】 計画の体系

基本理念

基本目標

施策の方向性

支援事業

「いづれはみんなの宝物」
安心して子どもを産み育てられるまち・柏崎

1. 質の高い乳幼児期の教育・保育の安定的な提供

2. 妊娠前からの切れ目ない子育て支援

3. 地域社会全体で子育て支援

(1) 教育・保育サービスの充実
関連事業: ② ④ ⑪ ⑲

(2) 相談支援体制の充実
関連事業: ① ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

(3) 子育て環境の充実
関連事業: ⑤ ⑥ ⑨ ⑩ ⑫ ⑲

(4) 多様な遊びや学び体験、活躍できる
機会づくり・居場所づくり
関連事業: ⑤ ⑨

(5) 充実した保険の提供と医療との連携
関連事業: ⑦ ⑪ ⑬ ⑭

(6) 経済的支援の充実(貧困対策を含む)
関連事業: ③

(7) 配慮が必要な方への支援
関連事業: ④ ⑥ ⑧ ⑩ ⑭ ⑮ ⑰ ⑱

(8) 児童虐待防止対策と
ヤングケアラーへの支援
関連事業: ⑧ ⑮ ⑯

(9) ひとり親家庭への支援
関連事業: ⑧ ⑮ ⑯

- ①利用者支援事業
- ②延長保育事業
- ③実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ④多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業
- ⑤放課後児童健全育成事業
- ⑥子育て短期支援事業
- ⑦乳児家庭全訪問事業及びこんには赤ちゃん事業
- ⑧養育支援訪問事業
- ⑨地域子育て支援拠点事業
- ⑩一時預かり事業
- ⑪病児保育事業
- ⑫ファミリー・サポート・センター事業
- ⑬妊婦健康診査
- ⑭産後ケア事業
- ⑮子育て世帯訪問支援事業
- ⑯児童育成支援拠点事業
- ⑰親子関係形成支援事業
- ⑱妊婦等包括相談支援事業
- ⑲乳児等通園支援事業

子ども・子育て支援事業

① 利用者支援事業

取組内容	妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援を行う。		
関連する 施策の方向性	(2) 相談支援体制の充実	担当部署	子育て支援課

② 延長保育事業

取組内容	○保護者の就労を支援するため、延長保育を継続実施する。 ○保護者のニーズを確認しながら、延長保育の実施園や延長時間等を検討する。		
関連する 施策の方向性	(1) 教育・保育サービスの充実	担当部署	保育課

③ 実費徴収に係る補足給付を行う事業

取組内容	低所得で生計が困難な世帯の子どもが、円滑に教育を受けられるよう支援する。		
関連する 施策の方向性	(6) 経済的支援の充実(貧困対策を含む)	担当部署	保育課

④ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

取組内容	○他業種からの参入や、地域型保育給付は、ニーズや計画の実効性を精査しながら、相談に応じていく。 ○公立保育園の民営化は、社会福祉法人と意見交換を行いながら進める。 ○認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築するための事業は、園からのニーズを踏まえて、検討を進める。		
関連する 施策の方向性	(1) 教育・保育サービスの充実 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	保育課

⑤ 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

取組内容	○児童の健全育成と、保護者の就労や介護等を支援するため、放課後における適切な遊びと生活の場の提供を継続する。 ○必要に応じて、施設・遊具等の更新や修繕を行う。		
関連する 施策の方向性	(3) 子育て環境の充実 (4) 多様な遊びや学び体験、活躍できる機会づくり・居場所づくり	担当部署	子育て支援課

⑥ 子育て短期支援事業

取組内容	保護者の疾病その他の理由により家庭においてこどもを養育することが一時的に困難となった場合等に、一定期間、養育・保護を行う本事業の実施について検討する。		
関連する 施策の方向性	(3) 子育て環境の充実 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	子育て支援課

⑦ 乳幼児家庭全戸訪問事業(新生児訪問指導事業)及び こんにちは赤ちゃん事業

取組内容	○助産師訪問は産後うつに留意し、リスクが高い場合は継続支援を行う。 ○主任児童委員を対象に定期的な研修を行い、地域における子育て・見守り意識の醸成を図る。		
関連する 施策の方向性	(5) 充実した保険の提供と医療との連携	担当部署	子育て支援課

⑧ 児童虐待防止事業

取組内容	○要保護児童の発生予防、早期発見及び保護を図るため、要保護児童対策地域協議会において情報交換、啓発活動などを行う。 ○子育てに不安や悩みを抱える保護者を対象に親支援講座などを開催する。 ○児童虐待防止活動などに関わる市民への周知及び関係者の資質向上のための研修会を実施する。		
関連する 施策の方向性	(7) 配慮が必要な方への支援 (8) 児童虐待防止対策とヤングケアラーへの支援 (9) ひとり親家庭への支援	担当部署	子育て支援課

⑨ 地域子育て支援拠点事業

取組内容	○元気館のジャングルキッズ、保育園・認定こども園・幼稚園の子育て支援室18か所において、保護者同士が交流する場の提供や子育て相談を行う。 ○地域子育て相談機関を整備し、子育てに関する不安解消や状況把握に努める。		
関連する 施策の方向性	(3) 子育て環境の充実 (4) 多様な遊びや学び体験、活躍できる機会づくり・居場所づくり	担当部署	保育課

⑩ 一時預かり事業

取組内容	○子育て中の保護者の育児による疲労・ストレスからのリフレッシュや、子どもを連れて行けない用事などに対応するため、本事業を継続する。 ○また、保護者ニーズを確認しながら、事業の柔軟な運用方法を検討する。		
関連する 施策の方向性	(3) 子育て環境の充実 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	保育課

⑪ 病児保育事業

取組内容	国立病院機構新潟病院及び柏崎総合医療センターで実施している病児保育の支援を継続する。		
関連する 施策の方向性	(1) 教育・保育サービスの充実 (5) 充実した保健の提供と医療との連携	担当部署	保育課

⑫ ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)

取組内容	○提供会員の知識やスキルの向上を図るため、小児科医や栄養士、保育士による研修やAED研修などを実施する。 ○「すくすくネットかしわざき」などで事業の概要を周知し、本事業の理解と利用促進を図る。		
関連する 施策の方向性	(3) 子育て環境の充実	担当部署	子育て支援課

⑬ 妊婦健康診査

取組内容	妊婦の健康状態と胎児の発育状態を定期的に確認し、安全・安心な出産を迎えるため、妊婦健康診査14回分の公費負担を継続する。		
関連する 施策の方向性	(5) 充実した保健の提供と医療との 連携	担当部署	子育て支援課

⑭ 産後ケア事業

取組内容	○出産後の回復や育児等に不安を持つ母子が、母体管理、沐浴、授乳等の育児相談など、心身のケアやサポートを行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。 ○また、医療機関と連携し、不安や困難を抱える家庭への支援体制の充実を図る。		
関連する 施策の方向性	(5) 充実した保健の提供と医療との 連携 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	子育て支援課

⑮ 子育て世帯訪問支援事業(育児支援ヘルパー事業(旧養育支援事業))

取組内容	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を支援員が訪問します。不安や悩みを傾聴するほか、家事・子育て等の支援するなど養育環境を整えることで、虐待リスクの低減を図る。		
関連する 施策の方向性	(2) 相談支援体制の充実 (7) 配慮が必要な方への支援 (8) 児童虐待防止対策とヤングケアラーへの支援 (9) ひとり親家庭への支援	担当部署	子育て支援課

⑯ 児童育成支援拠点事業

取組内容	家庭や学校に居場所がない児童等に対して、生活習慣の形成や学習サポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行う、対象児童の居場所となる施設の開設を検討する。		
関連する 施策の方向性	(2) 相談支援体制の充実 (7) 配慮が必要な方への支援 (8) 児童虐待防止対策とヤングケアラーへの支援 (9) ひとり親家庭への支援	担当部署	子育て支援課

⑰ 親子関係形成支援事業

取組内容	子育てに悩み・不安を抱えた保護者が、親子の関係性や発達に応じた児童との関わり方等の知識や方法を習得するため、講義、グループワーク、個別のロールプレイなどを内容としたペアレント・トレーニングを実施する。		
関連する 施策の方向性	(2) 相談支援体制の充実 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	子育て支援課

⑱ 妊婦等包括相談支援事業

取組内容	妊娠時から妊産婦に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や、継続的な情報発信を行い、必要な支援につなぐ伴奏型相談支援の推進を図る。 (①及び⑦の事業と一体的に取り組んでいく)		
関連する 施策の方向性	(2) 相談支援体制の充実 (7) 配慮が必要な方への支援	担当部署	子育て支援課

⑱ 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

事業概要	○保育園等に在籍していない生後6か月から満3歳未満の子どもを、月一定時間までの利用枠の中で、就労等の要件を問わず、時間単位で柔軟に受け入れるための体制整備を行う。 ○令和7年度から、一部の保育園で事業を試行実施し、令和8年度から本格実施する。		
関連する 施策の方向性	(1) 教育・保育サービスの充実 (3) 子育て環境の充実	担当部署	保育課

【報告事項(3)】屋内遊び場施設「キッズマジック」の利用状況について

○令和7年4月1日に拡充リニューアルオープン。

○施設面積は約2倍に拡張（868 m² ⇒ 1,585 m²）し、遊具も全面入れ替えを実施。



【来場者数の状況】

年月		来場者数	対 R5	対 R6
R5(2023)年 民営（有料）	4月	1,304 人	—	—
	5月	1,755 人	—	—
	計	3,059 人	—	—
R6(2024)年 4月：市営化・無料化 11月～：リニューアル整備	4月	2,290 人	1.76 倍	—
	5月	2,694 人	1.54 倍	—
	計	4,984 人	1.63 倍	—
R7(2025)年 4月：拡充リニューアルオープン	4月	7,781 人	5.97 倍	3.40 倍
	5月	7,528 人	4.29 倍	2.79 倍
	計	15,309 人	5.00 倍	3.07 倍

※R7（2025）年4月・5月の来場者割合 市内51%、市外県内45%、県外4%